

MOT/PBX シリーズ

ユーザー設定画面マニュアル

第 4.0 版

2023 年 4 月 28 日

株式会社バルテック

目次

1. はじめに.....	5
2. USR 設定画面の起動方法	6
3. 設定画面詳細.....	7
4. 通話履歴を確認する.....	12
1. 通話履歴を確認する	12
■通話履歴の表示項目.....	13
■通話履歴から発信/電話帳の登録.....	16
2. FAX 送受信履歴	17
5. 留守番電話や転送を設定する.....	18
1. アナウンスや留守番電話を電話機から手動設定する	18
2. 留守番電話に吹き込まれたメッセージを確認する（留守録再生）	25
3. 指定した時間にアナウンスや留守番電話を自動設定する	27
3-1. パターン設定	28
3-2. 基本設定	32
3-3. スケジュール設定	35
4. 各種応答メッセージの内容を設定・変更する	38
5. スケジュール設定を初期化する	45
6. スケジュール設定を保存・復元する	46
6. 留守番メール送信設定を行う.....	47
1. 留守電をメールで通知する	47
2. 留守録（相手が録音したメッセージ）を一括削除する	49
7. 電話帳を登録、反映する.....	50
1. 電話帳の追加登録・編集・削除	51
■電話帳を手動で登録する.....	51
■電話帳を CSV インポートで登録する.....	53
■電話帳を編集、削除する.....	56
■「電話帳編集」の画面説明.....	57
2. 電話機へ電話帳を反映する	58
3. iPhone・Android 側で最新の電話帳に更新する	60
4. 反映確認.....	62
8. SIP 電話機（ナカヨ・サクサ）の設定	63
1. ナカヨ電話機の設定を変更する	63
2. サクサ電話機の設定を変更する	66

9. 着信拒否/発信規制を設定する	69
10. 着信拒否時間を設定する	74
11. コールバック機能を使って発信する	79
12. 音声会議を利用する	81
13. 聴話・囁きを利用する	83
1. USR 画面で聴話・囁きを利用する	84
2. 特番ダイヤルで聴話・囁きを利用する	86
14. 内線の登録状況を確認する	87
15. 顧客情報表示機能（CTI）が参照する顧客データについて	88
1. 顧客情報を登録する	89
2. 登録済みの顧客情報を確認・編集・削除/CSV 出力する	92
3. 顧客情報を CSV ファイルで一括取り込みする	93
16. チャット機能（MOT/Cha）を利用する	98
1. チャットを利用するユーザを登録する	98
2. チャット利用設定の解除、パスワードの変更をする	102
3. 番号の移行（チャット携帯認証ユーザを PBX 認証へ移行する）	104
17. チャット機能で FAX を利用する	106
1. FAX 受信用の MOT/Cha グループにユーザを追加する	106
2. FAX で利用する送付状を設定する	107
3. 設定した送付状を削除する	109
18. 解錠機能について	110
1. 解錠ユーザの登録方法	111
2. 解錠履歴を閲覧する	113
19. 退勤アラートコール履歴を確認する	114
20. メッセージ、コード一覧	115
1. 留守番電話アナウンス一覧	115
2. アナウンスサービスメッセージ一覧	115
3. 着信拒否アナウンス一覧	116
4. エラーコード内容	116
21. 転送時の特番（コマンド）について	117

22. 統計管理について	119
1. 通話集計(年間)画面	119
2. 通話集計(月間)画面	121
3. 通話集計(日間)画面	123
23. ログインパスワードを変更する	125
24. 通話録音対象から除外する	126
25. 内線番号の一覧について ※VALTEC PC のみ閲覧可メニュー ..	129
1. 「内線番号一覧」画面へのアクセス	129
2. 内線番号一覧の各項目	129
3. 内線名称、パスワードを編集する	130
4. サーバーアドレスを確認する	133
5. 不正発信のブロック通知・解除方法	134
ご質問・お問い合わせは.....	135

1. はじめに

本書では、MOT/PBX の USR 設定画面について説明しています。

USR 設定画面はご利用中のお客様が設定変更・設定情報の確認ができる画面です。

USR 設定画面で設定が可能な項目は、以下の通りです。

《登録/変更》

- ・ 電話帳の登録 ※CSV ファイルでのインポート/エクスポート機能搭載
- ・ 顧客情報の登録（CTI 連動用）※CSV ファイルでのインポート/エクスポート機能搭載
- ・ ワンタッチボタンの登録

《機能設定》

- ・ タイマースケジュール機能設定
- ・ 留守録メール通知機能設定
- ・ コールバック機能設定
- ・ 着信拒否/発信規制設定
- ・ 着信拒否時間の設定
- ・ チャット（MOT/Cha）利用設定
- ・ 音声会議利用設定

《情報確認》

- ・ 通話履歴の確認
- ・ 通話中の番号情報の確認
- ・ 内線登録状況の確認
- ・ FAX 送受信履歴の確認（MOT/FAX）
- ・ 解錠履歴の確認（エントランス解錠）
- ・ 退勤アラートコール履歴の確認

2. USR 設定画面の起動方法

USR 設定画面にアクセスし、各種設定（初期設定や発着信設定など）を行う方法を説明します。

※推奨ブラウザの Google Chrome をご使用ください。

1. ブラウザ画面にて URL 欄に半角でアクセス用 URL を入力し、設定画面のトップにアクセスします。



URL は【[http:// \(MOT/PBX の IP アドレス\) :18080/USR](http://(MOT/PBXのIPアドレス):18080/USR)】です。

↑
USR は大文字

例：MOT/PBX の IP アドレスが 192.168.10.200 の場合は

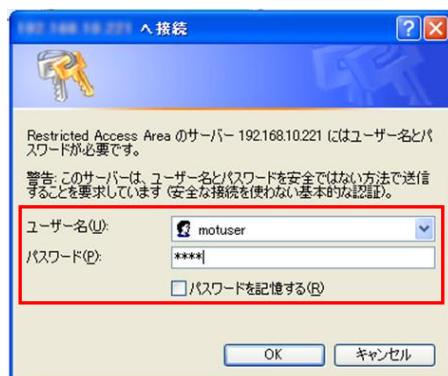
<http://192.168.10.200:18080/USR>

と入力します。

※IP アドレスはお客様の環境ごとに異なります。

※IP アドレスが不明な場合は管理者にお問い合わせください。

2. 認証画面が開きます。



以下の項目を入力後、「OK」ボタンを押下して、ログインしてください。

- ・ユーザー名：motuser
- ・パスワード：user

3. 設定画面が開きます。

3. 設定画面詳細

メニューフレーム

管理メニュー

- ▼ 電話設定
 - ▶ 電話機登録情報
 - ▶ 着信拒否時間の設定
 - ▶ 発信拒否設定
 - ▶ コールバック機能設定
 - ▶ 留守番メール送信設定
 - ▶ 会議通話の設定
 - ▶ セッション制御
 - ▶ 通録除外番号の設定
- ▼ 顧客情報
 - ▶ 情報一覧
 - ▶ 新規登録
 - ▶ CSVインポート
- ▼ 電話機編集
 - ▶ ナカヨ電話機設定
 - ▶ サクサ電話機設定
- ▼ 電話帳管理
 - ▶ 電話帳の反映
 - ▶ 電話帳編集
 - ▶ 電話帳インポート
 - ▶ 電話機管理
- ▼ MOI/CTI管理

設定フレーム

通話履歴

対象内線: 指定なし

番号検索(先頭一致):

対象日付: 3月13日

不応答/不在履歴: ☐ 表示する

表示 出力 全て出力

テキストボックス
値を入力します。
不正な文字を入力するとエラーが出力されます。

リストボックス
リストから適切な値を選択します。

発信者	通話時間	呼出時間	通話時間

- ※ 1. 画面が表示されない場合はセキュリティソフトのセキュリティレベルを下げるなどを行ってください。
- ※ 2. 設定画面は JavaScript を利用していますのでブラウザの設定で JavaScript が利用できる事をご確認ください。
- ※ 3. 推奨ブラウザは Google Chrome です。
Google Chrome 以外の WEB ブラウザを使用した場合、正常に設定できない場合がありますのでご注意ください。

◆メニューフレーム 電話設定◆

▼ 電話設定
▶ 電話機登録情報
▶ 着信拒否時間の設定
▶ 発信拒否設定
▶ コールバック機能設定
▶ 留守番メール送信設定
▶ 会議通話の設定
▶ セッション制御
▶ 通録除外番号の設定

設定画面名称	概要
電話機登録情報	MOT/PBX に登録済みの電話機情報を表示します。
着信拒否時間の設定	内線番号ごとに、着信可能な時間帯を設定し、設定した時間以外を「着信拒否時間」とします。
発信拒否設定	着信拒否、発信規制の番号設定をします。
コールバック機能設定	コールバック機能の設定をします。
留守番メール送信設定	留守番電話が入った際のお知らせメール送信先の設定をします。
会議通話の設定	音声会議の設定をします。
セッション制御	通話中の通話情報を表示します。聴話・囁き操作を行います。
通録除外番号の設定	全通話録音機能をご利用中の場合、録音を除外する番号の設定が可能です。 ※PBX シリーズの v6.10.0~の場合に表示されるメニューです。

◆メニューフレーム 顧客情報◆

▼ 顧客情報
▶ 情報一覧
▶ 新規登録
▶ CSVインポート

設定画面名称	概要
情報一覧	登録済み顧客情報の一覧を表示します。
新規登録	顧客情報の新規登録画面を表示します。
CSV インポート	CSV ファイルによる顧客情報のインポート処理を行います。

◆メニューフレーム 電話機編集◆

▼ 電話機編集
▶ ナカヨ電話機設定
▶ サクサ電話機設定

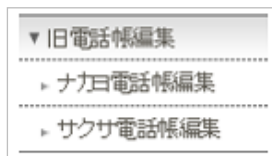
設定画面名称	概要
ナカヨ電話機設定	ナカヨ電話機の設定を編集します。
サクサ電話機設定	サクサ電話機の設定を編集します。 ※MOT/TEL プレミアム B・プラチナプランの場合、非表示です。

◆メニューフレーム 電話帳管理◆



設定画面名称	概要
電話帳の反映	MOT/Phone(Windows 版、iPhone 版)、ナカヨ電話機、サクサ電話機に電話帳を反映します。
電話帳編集	電話帳を編集します。
電話帳インポート	CSV ファイルによる電話帳のインポートをします。
電話機管理	MOT/Phone(Windows 版、iPhone 版、Android 版)、ナカヨ電話機、サクサ電話機への電話帳反映の状況を確認します。 (反映先は内線番号で表示されます。)
電話帳の移動	既存のナカヨ・サクサ電話帳を電話帳画面に移動します。 ※MOT/TEL プレミアム B・プラチナプランの場合、非表示です。

◆メニューフレーム 旧電話帳編集◆



設定画面名称	概要
ナカヨ電話帳編集	ナカヨ SIP 電話機に対応した電話帳編集を行います。
サクサ電話帳編集	サクサ SIP 電話機に対応した電話帳編集を行います。

※MOT/TEL プレミアム B・プラチナプランの場合、非表示です。

※旧電話帳をご利用されているお客様向けの電話帳管理機能です。

※ナカヨ SIP 電話機・サクサ SIP 電話機ともに共通でご利用可能な電話帳管理機能をご利用ください。

◆メニューフレーム MOT/Cha 管理◆



設定画面名称	概要
MOT/Cha ユーザ認証	MOT/Cha ユーザの追加・削除を行います。

※MOT/TEL プレミアム B・プラチナプランの場合はご利用できません。

※MOT/Cha とは MOT/PBX が提供するチャット機能の名称です。

※MOT/Cha のご利用にはソフトウェアライセンス契約が必要です。

◆メニューフレーム FAX 機能◆

▼ FAX機能
▶ MOT/Cha連動設定
▶ FAX送付状の設定

設定画面名称	概要
MOT/Cha 連動設定	MOT/Cha で FAX 通知を受ける場合に設定します。
FAX 送付状の設定	本装置に FAX の送付状ファイルを設定します。

※MOT/TEL プレミアム B・プラチナプランの場合、非表示です。

※**MOT/Cha を利用した FAX 送受信機能の設定です。**

※**ご利用には MOT/Cha の機能を有効にする必要があります、MOT/Cha のご利用にはソフトウェアライセンス契約が必要です。**

◆メニューフレーム スケジュール管理◆

▼ スケジュール管理
▶ スケジュール設定
▶ パターン設定
▶ 設定の保存・復元

設定画面名称	概要
スケジュール設定	アナウンス・留守電の自動設定を行います。
パターン設定	スケジュールパターンを設定します。
設定の保存・復元	スケジュール設定の保存・復元・初期化をします。

◆メニューフレーム 解錠機能◆

▼ 解錠設定
▶ 解錠設定
▶ 解錠インポート

設定画面名称	概要
解錠設定	解錠内線の設定を行います。
解錠インポート	解錠内線の一括登録を csv ファイルにて行います。

※MOT/TEL プレミアム B・プラチナプランの場合、非表示です。

◆メニューフレーム 保守機能◆

▼ 保守機能
▶ CSVテンプレート管理
▶ パスワード設定

設定画面名称	概要
CSV テンプレート管理	電話帳の CSV インポートで使用する電話帳用テンプレートをダウンロードします。
パスワード設定	USR 設定画面にアクセスするためのユーザ ID のパスワードを作成、管理します。

※ダウンロードした CSV テンプレートは電話帳管理の電話帳インポート機能でご利用いただけます。

◆メニューフレーム 履歴・ログ◆

▼ 履歴・ログ
▶ 通話履歴
▶ FAX送受信履歴
▶ 解錠履歴
▶ アラートコール履歴

設定画面名称	概要
通話履歴	通話履歴の表示、および CSV ファイルでの出力が行えます。
FAX 送受信履歴	FAX 送受信の履歴を表示します。 ※MOT/TEL プレミアム B・プラチナプランの場合、非表示です。
解錠履歴	解錠履歴を表示します。 ※MOT/TEL プレミアム B・プラチナプランの場合、非表示です。
アラートコール履歴	アラートコール履歴を表示します。

◆メニューフレーム 統計管理◆

▼ 統計管理
▶ 統計管理

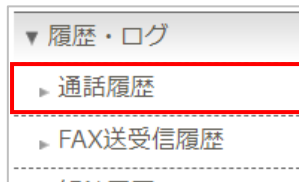
設定画面名称	概要
統計管理	通話履歴より発着信数を集計し表示します。

4. 通話履歴を確認する

MOT/PBX シリーズを利用した通話や FAX 送受信の履歴を表示します。またログファイルを取得することもできます。

1. 通話履歴を確認する

1. 設定画面内「履歴・ログ」の「**通話履歴**」をクリックします。



2. 「通話履歴」画面を開きます。

発信者	通話日	時間	着信者	外線番号	呼出時間	通話時間
031 (オフィス24)	2015/02/09	20:32:50	301	031	00:00:02	00:00:03
031 (オフィス24)	2015/02/09	20:11:20	301	031	00:00:03	00:00:07

- ① 検索条件を入力します。
- ② [表示]ボタン：下の欄に、対象日付の通話履歴リストを表示します。
- ③ [出力]ボタン：対象日付の通話履歴リストを CSV 形式のファイルで出力します。
- ④ [全て出力]ボタン：最大 40 日分の通話情報を CSV 形式のファイルで出力します。

※MOT/mini および MOT/PBX S-V1 は最大 7 日分となります。

項 目	説 明
対象内線	表示する内線番号を選択します。「指定無し」を選択すると全ての内線番号の履歴を表示します。
番号検索(先頭一致)	表示する電話番号を入力します。先頭一致で通話履歴を表示します。
対象日付	表示する日付を選択します。「全て」を選択すると全てのログ情報が表示されます。 ※最大日数分までが選択可能です。
不応答/不在履歴	チェックすると、不応答/不在を履歴に表示します。

【「全て出力」について】

「全て出力」ボタンを押した場合は、ボタンを押した日付からさかのぼって最大日数分の通話履歴を CSV ファイルに出力します。

例：4月25日にボタンを押した場合は3月17日までの通話履歴を CSV ファイルに出力します。

※最大日数が40日の場合。

※3月16日以前（最大日数より前）の通話履歴は確認できません。

■通話履歴の表示項目

対象内線	指定なし ▼
番号検索(先頭一致)	
対象日付	2月9日 ▼
不応答/不在履歴	☐ 表示する

表示 出力 全て出力

履歴 2015年02月09日 2件

発信者	通話日	時間	着信者	外線番号	呼出時間	通話時間
031 (オフィス24)	2015/02/09	20:32:50	301	031	00:00:02	00:00:03
031 (オフィス24)	2015/02/09	20:11:20	301	031	00:00:03	00:00:07

項 目	説 明
発信者	着信履歴と発信履歴で、表示内容が異なります。 ・着信履歴：電話を掛けてきた相手の番号（名称）を表示します。 ・発信履歴：MOT/Phone で電話を掛けた方の番号（名称）を表示します。
通話日 時間	通話の日付と時間を表示します。
着信者	着信履歴と発信履歴で、表示内容が異なります。 ・着信履歴：MOT/Phone で電話を受けた方の番号（名称）を表示します。 ・発信履歴：電話を掛けた相手の番号（名称）を表示します。 ※アナウンスサービスなどに転送された場合は、「グループ内線（アナウンスサービスなどの特番）」が表示されます。 ※IVR アナウンス中に電話を切断した場合は、「IVR 特番」が表示されます。 ※IVR アナウンス後に番号を選択し、呼出しコール中に電話を切断した場合は、「呼出し先のグループ内線」が表示されます。 ※MOT/Phone+ の「着信拒否設定」で着信拒否の設定/解除を行った場合、プレフィックス番号（*280～*287 のいずれか）が表示されます。
外線番号	着信履歴と発信履歴で、表示内容が異なります。 ・着信履歴：着信した外線番号を表示します。 ・発信履歴：発信した外線番号を表示します。
呼出時間	電話の呼出し時間を表示します。 ※発信/着信時の対応によって表示される内容が異なります。 詳細は次ページの＜発信/着信時の対応別表＞をご覧ください。
通話時間	電話の通話時間を表示します。 ※発信/着信時の対応によって表示される内容が異なります。 詳細は次ページの＜発信/着信時の対応別表＞をご覧ください。

「発信者」「着信者」項目に表示する名称は、以下の優先順で表示します。

1. CTI 顧客情報の名称
2. [内線一覧](#)の「内線名称」に登録している名称
※VALTEC PCを導入、またはMOT/TELプレミアムB・プラチナプランご利用の方のみ
3. [PBX 電話帳](#)の「名前」に登録している名称

＜発信/着信時の対応別表＞

発信/着信時の対応によって、「呼出時間」「通話時間」項目に表示される内容が異なります。
表示内容の詳細は、以下の対応別表をご覧ください。

■ 発信時の対応

発信時の対応	「呼出時間」	「通話時間」項目
発信放棄 (電話を掛けて、相手が出なかった場合)	コール時間	「不応答」
発信応答 (電話を掛けて、相手が出た場合)	コール時間	通話時間

■ 着信時の対応

着信時の対応	「呼出時間」項目	「通話時間」項目
着信放棄 (掛かってきた電話に出なかった場合)	コール時間	「不在/通話中」
着信拒否 (掛かってきた電話を拒否した場合)	「0:00」	「不在/通話中」
※MOT/Phone+のみ対象 着信拒否の設定および解除 (掛かってきた電話を MOT/Phone+の「着信拒否設定」で拒否設定および解除をした場合)	「0:00」	着信拒否を設定/解除した際のアナウンス(『設定しました』『解除しました』)が流れた時間
話し中 (電話が掛かってきた際、電話中だった場合)	「0:00」	「不在/通話中」
着信応答 (掛かってきた電話に応答した場合)	コール時間	通話時間
着信応答後、転送 (掛かってきた電話に応答し、保留をして他の方に転送した場合)	コール時間	初めに応答した方の通話時間 + 転送先の通話時間 = 合計時間 (すべての通話時間の合計)
掛かってきた電話をアナウンスサービスなどに、コール無しで転送した場合 (不在転送)	「0:00」	アナウンスが流れた時間
掛かってきた電話をアナウンスサービスなどに、コール後に転送した場合 (不応答転送)	コール時間	アナウンスが流れた時間

■IVR 経由 着信時の対応

※IVR とは、かかってきた電話に対し、指定のアナウンスを再生、または「〇〇に関するお問い合わせは△番を押してください」などの音声案内を流し、選択された番号によって対応先へ振り分けを行い、決められた部署や個人宛に転送するシステムです。

着信時の対応	「呼出時間」項目	「通話時間」項目
IVR アナウンス時に切断 (IVR アナウンス中に電話を切断された場合)	「0:00」	IVR アナウンスが流れた時間
IVR 着信呼出後に放棄 (番号選択後、呼出しコール中に電話を切断された場合)	コール時間 ※1	「不応答」
IVR 着信呼出後に応答 (番号選択後、呼出しコールに応答した場合)	コール時間 ※1	通話時間
IVR 内線アナウンス転送 (番号選択後、呼出し先で「本日の営業は終了いたしました…」などのアナウンスサービスに転送した場合)	「0:00」	IVR アナウンスが流れた時間+呼出し先で流れたアナウンス=合計時間

※1：IVR アナウンスが流れた時間は「呼出時間」に含まれません。

■ 通話履歴から発信/電話帳の登録

○ 通話履歴

対象内線

番号検索(先頭一致)

対象日付

不応答/不在履歴 ☐ 表示する

履歴 2022年04月01日 4件

発信者	通話日	時間	着信者	外線番号	呼出時間	通話時間
314	2022/04/01	09:44:24	090	05054453719	00:00:09	00:00:03
090	2022/04/01	09:42:12	314	05054453719	00:00:05	00:00:09
314	2022/04/01	09:05:43	080	05054453719	00:00:19	00:00:14
080	2022/04/01	09:04:53	314	05054453719	00:00:04	00:00:08

通話履歴の発信者、または着信者の番号をクリックすると、以下のような「電話番号操作」の画面を表示します。

電話番号操作

電話番号(314)

①

②

① **【発信する】**ボタンをクリックすると、以下を表示します。

【OK】をクリックすると該当の電話番号へ発信します。

※発信機能を利用する場合は、Windows 版 MOT/Phone のインストールが必要です。

発信機能の内容

314へ発信します。よろしいですか？

② **【電話帳登録する】**ボタンをクリックすると、以下を表示します。

【OK】をクリックすると共通電話帳に登録します。

共通電話帳の内容

共通電話帳へ登録しますか？

！ 注意事項

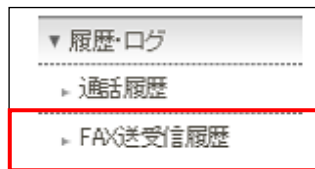
※ **【電話帳登録する】**ボタンでの電話帳登録は、新規登録の場合にご利用ください。
すでに電話帳に登録している番号に対して編集を行いたい場合は、通常通り「[電話帳](#)」から編集を行ってください。

2. FAX 送受信履歴

MOT/FAX を利用した送受信履歴を表示します。

※FAX 機や複合機を利用した FAX 送受信履歴は、「[通話履歴](#)」に表示されます。

1. 設定画面内「履歴・ログ」の「**FAX 送信履歴**」をクリックします。



2. 「FAX 送受信履歴」画面を開きます。

時間	送信/受信	送信者	受信者	送受信状態
10:59:14	送信	MOT/Chaユーザー	株式会社A(032.....)	送信成功
19:10:52	受信	株式会社A(032.....)	0311.....	MOT/Cha: 通知成功(再取得: ☐) メール: 通知成功(再取得: ☐)

①検索条件を入力します。

②[表示]ボタン：ボタンを押すと下の欄に FAX 送受信履歴リストを表示します。

③[再取得]ボタン：蓄積しているデータを再取得する場合は、右下の（再取得：☐）にレ点を入れ、[再取得]ボタンを押します。

※送信者・受信者番号を、CTI 顧客情報や共通電話帳に登録している場合、その名称を表示します。
名称は、CTI 顧客情報の FAX 番号→CTI 顧客情報の電話番号→共通電話帳の電話番号の優先順位で検索します。

※内部エラー等のエラーが発生した場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

※FAX データはおよそ 200MB 分保持します、200MB を超えると古いファイルより削除され再取得できなくなります。（500KB のファイルを 1 日 10 個受信した場合におよそ 40 日分となります）

※再取得を同時に複数チェックして実行すると、正しく取得できない場合があるため、1 件ずつ順番に再取得を実行して下さい。

5. 留守番電話や転送を設定する

MOT/PBX では、着信に対し、留守電や転送など着信時の応答内容を設定することが可能です。
例)



1. アナウンスや留守番電話を電話機から手動設定する

電話機から、特定の番号をダイヤルすることで（注）アナウンスや留守番電話、転送設定を行うことができます。次の手順で設定します。

※電話機からの操作になります。

【設定を行う場合】

1. 受話器を置いた状態で特定の番号（注）をダイヤルします。



2. 受話器を上げます。



3. 音声ガイダンスを確認し、受話器を置きます。

【マルチライン番号の留守電転送を行う場合】

マルチライン番号に対して留守電転送を行う場合は以下のダイヤル番号で設定を行います。

例：ラインキー番号●●●●番～●●●▲番に対し、留守番応答を設定する場合

※電話機により、*の数が違います。

お使いのMOT/PBXの設定により、*の数が異なる場合があります。

動作	開始時のダイヤル番号
設定後、留守電にする（不在時） （ナカヨ）	「*21」+「*91」+「留守応答番号」+「***●●●●」+「*****●●●▲」
話中時に留守電応答する（ナカヨ）	「*22」+「*91」+「留守応答番号」+「***●●●●」+「*****●●●▲」
不応答時に留守電応答する（ナカヨ）	「*23」+「*91」+「留守応答番号」+「***●●●●」+「*****●●●▲」

※通常は「留守応答番号」を301に読み替えてください。

動作	開始時のダイヤル番号
設定後、留守電にする（不在時） （サクサ）	「*21」+「*91」+「留守応答番号」+「**●●●●」+「***●●●▲」
話中時に留守電応答する（サクサ）	「*22」+「*91」+「留守応答番号」+「**●●●●」+「***●●●▲」
不応答時に留守電応答する（サクサ）	「*23」+「*91」+「留守応答番号」+「**●●●●」+「***●●●▲」

※通常は「留守応答番号」を301に読み替えてください。

【マルチライン番号の転送設定を行う場合】

マルチライン番号に対して特定の番号に転送を行う場合は以下のダイヤル番号で設定を行います。

例：ラインキー番号●●●●番～●●●▲番に対し、転送番号■ ■ ■を設定する場合

※電話機により、*の数が違います。

お使いのMOT/PBXの設定により、*の数が異なる場合があります。

動作	開始時のダイヤル番号
設定後、転送先番号に転送する （不在時）（ナカヨ）	「*21」+「■ ■ ■」+「***●●●●」+「*****●●●▲」
話中時に転送先番号に転送する （ナカヨ）	「*22」+「■ ■ ■」+「***●●●●」+「*****●●●▲」
不応答時に転送先番号に転送する （ナカヨ）	「*23」+「■ ■ ■」+「***●●●●」+「*****●●●▲」
動作	開始時のダイヤル番号
設定後、転送先番号に転送する （不在時）（サクサ）	「*21」+「■ ■ ■」+「**●●●●」+「***●●●▲」
話中時に転送先番号に転送する （サクサ）	「*22」+「■ ■ ■」+「**●●●●」+「***●●●▲」
不応答時に転送先番号に転送する （サクサ）	「*23」+「■ ■ ■」+「**●●●●」+「***●●●▲」

【グループ番号の留守電転送を行う場合】

グループ番号に対して留守電転送を行う場合は以下のダイヤル番号で設定を行います。

例：グループ番号▲▲▲▲番に対し、留守番応答を設定する場合

※電話機により、*の数が違います。

お使いの MOT/PBX の設定により、*の数が異なる場合があります。

動作	開始時のダイヤル番号
設定後、留守電にする（不在時） （ナカヨ）	「*21」+「*91」+「留守応答番号」+「***▲▲▲▲」
話中時に留守応答する（ナカヨ）	「*22」+「*91」+「留守応答番号」+「***▲▲▲▲」
不応答時に留守応答する（ナカヨ）	「*23」+「*91」+「留守応答番号」+「***▲▲▲▲」
圏外時に留守応答する（ナカヨ）	「*24」+「*91」+「留守応答番号」+「***▲▲▲▲」

※通常は「留守応答番号」を 301 に読み替えてください。

動作	開始時のダイヤル番号
設定後、留守電にする（不在時） （サクサ）	「*21」+「*91」+「留守応答番号」+「**▲▲▲▲」
話中時に留守応答する（サクサ）	「*22」+「*91」+「留守応答番号」+「**▲▲▲▲」
不応答時に留守応答する（サクサ）	「*23」+「*91」+「留守応答番号」+「**▲▲▲▲」
圏外時に留守応答する（サクサ）	「*24」+「*91」+「留守応答番号」+「**▲▲▲▲」

※通常は「留守応答番号」を 301 に読み替えてください。

【グループ番号の転送設定を行う場合】

グループ番号に対して特定の番号に転送を行う場合は以下のダイヤル番号で設定を行います。

例：グループ番号▲▲▲▲番に対し、転送番号■ ■ ■を設定する場合

※電話機により、*の数が違います。

お使いのMOT/PBXの設定により、*の数が異なる場合があります。

動作	開始時のダイヤル番号
設定後、転送先番号に転送する (不在時) (ナカヨ)	「*21」 + 「■ ■ ■」 + 「* * * ▲ ▲ ▲ ▲」
話中時に転送先番号に転送する (ナカヨ)	「*22」 + 「■ ■ ■」 + 「* * * ▲ ▲ ▲ ▲」
不応答時に転送先番号に転送する (ナカヨ)	「*23」 + 「■ ■ ■」 + 「* * * ▲ ▲ ▲ ▲」
圏外時に留守応答する (ナカヨ)	「*24」 + 「■ ■ ■」 + 「* * * ▲ ▲ ▲ ▲」
動作	開始時のダイヤル番号
設定後、転送先番号に転送する (不在時) (サクサ)	「*21」 + 「■ ■ ■」 + 「* * ▲ ▲ ▲ ▲」
話中時に転送先番号に転送する (サクサ)	「*22」 + 「■ ■ ■」 + 「* * ▲ ▲ ▲ ▲」
不応答時に転送先番号に転送する (サクサ)	「*23」 + 「■ ■ ■」 + 「* * ▲ ▲ ▲ ▲」
圏外時に留守応答する (サクサ)	「*24」 + 「■ ■ ■」 + 「* * ▲ ▲ ▲ ▲」

【設定を解除する場合】

1. 受話器を置いた状態で特定の番号※解除用（注）をダイヤルします。



2. 受話器を上げます。



3. 音声ガイダンスを確認し、受話器を置きます。

【設定を解除する場合】

1. 受話器を置いた状態で特定の番号※解除用（注）をダイヤルします。

例：P18 の例にて設定した留守電を解除したい（※ナカヨの場合）

⇒ラインキー番号 9501、9502、9503 の留守電を解除する場合

「*21」 + 「***9501」 + 「****9503」の順にダイヤルします。

↑
*が3個

↑
*が4個

2. 受話器を上げます。



3. 音声ガイダンスを確認し、受話器を置きます。

（注）次ページの対応表を確認し、対応する番号を手順 1 にてダイヤルし転送設定を行ってください。

【マルチライン番号の留守電または転送設定の解除を行う場合】

マルチライン番号に対して留守電または転送設定の解除を行う場合は以下のダイヤル番号で設定を行います。

例：ラインキー番号●●●●番～●●●▲番に対し、それぞれの設定を解除する場合

※電話機により、*の数が違います。

お使いの MOT/PBX の設定により、*の数が異なる場合があります。

動作	開始時のダイヤル番号
不在時設定を解除する（ナカヨ）	「*21」+「***●●●●」+「*****●●●▲」
話中時応答を解除する（ナカヨ）	「*22」+「***●●●●」+「*****●●●▲」
不応答時応答を解除する（ナカヨ）	「*23」+「***●●●●」+「*****●●●▲」
動作	開始時のダイヤル番号
不在時設定を解除する（サクサ）	「*21」+「**●●●●」+「***●●●▲」
話中時応答を解除する（サクサ）	「*22」+「**●●●●」+「***●●●▲」
不応答時応答を解除する（サクサ）	「*23」+「**●●●●」+「***●●●▲」

【グループ番号の留守電または転送設定の解除を行う場合】

グループ番号に対して留守電または転送設定の解除を行う場合は以下のダイヤル番号で設定を行います。

例：グループ番号▲▲▲▲番に対し、それぞれの設定を解除する場合

※電話機により、*の数が違います。

お使いの MOT/PBX の設定により、*の数が異なる場合があります。

動作	開始時のダイヤル番号
不在時設定を解除する(ナカヨ)	「*21」+「***▲▲▲▲」
話中時応答を解除する(ナカヨ)	「*22」+「***▲▲▲▲」
不応答時応答を解除する(ナカヨ)	「*23」+「***▲▲▲▲」
圏外時時応答を解除する(ナカヨ)	「*24」+「***▲▲▲▲」
動作	開始時のダイヤル番号
不在時設定を解除する（サクサ）	「*21」+「**▲▲▲▲」
話中時応答を解除する（サクサ）	「*22」+「**▲▲▲▲」
不応答時応答を解除する（サクサ）	「*23」+「**▲▲▲▲」
圏外時時応答を解除する（サクサ）	「*24」+「**▲▲▲▲」

2. 留守番電話に吹き込まれたメッセージを確認する（留守録再生）

電話機から、「再生特番」 + 「内線番号」をダイヤルすることで留守番電話に吹き込まれたメッセージを確認します。次の手順で確認します。

※電話機からの操作になります。

【留守番電話に吹き込まれたメッセージ（留守録）を確認する場合】

1. 受話器を置いた状態で「再生特番」 + 「内線番号」をダイヤルします。



2. 受話器を上げます。



3. 応答メッセージに従い、内線番号とパスワードを入力します。
（※内線番号によっては応答メッセージが再生されません。）



4. 応答メッセージに従い再生ボタンを押します。
留守番電話に吹き込まれたメッセージを確認します。
確認後、再度再生/保存/削除のいずれかを実行します。

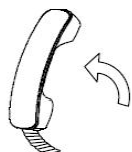
【留守番電話に吹き込まれたメッセージ（留守録）を確認する場合】

※本例では内線 301 を留守電メッセージ保存先に設定しており、内線 302 からの操作を説明しています。

1. 受話器を置いた状態で「再生特番」＋「内線番号」をダイヤルします。

例：再生特番に「92」、内線「301」を留守電メッセージ保存先に利用している場合
（※通常は上記の初期値にてご利用いただいています）
「92」＋「301」の順にダイヤルします。

2. 受話器を上げます。



3. 音声ガイダンスが流れた場合は音声ガイダンスに従って「内線番号」とパスワードを入力します。

（録音に利用している内線番号（通常は内線 301）からの操作の場合は手順 4 にお進みください。）

例：本例では内線 302 からの操作のため

内線番号：301、パスワード：301 を入力します。

（※通常は上記の初期値にてご利用いただいています。）

入力エラー時は、再度内線番号とパスワードの入力が求められます。

再入力回数は設定できます（初期値は 3 回です）。

4. 認証された後、音声で新しい録音の件数と操作メニューが流れます。

留守電メッセージを確認後、再度再生/保存/削除のいずれかを実行します。

- ・録音された日付の古い順から再生されます。
- ・1 件再生する毎に、サブメニューで、再度再生/保存/削除を促すメッセージが流れます。
- ・すべての新しいメッセージを再生した後で保存されたメッセージを引き続き再生します。
同じく古い順から再生します。

※再生中に電話を切る場合、その録音メッセージは未再生として保存されます。

再生していない録音メッセージはそのままになります。

メニュー名	動作選択項目
メインメニュー	再生/パスワード修正/終了
再生のサブメニュー	再度再生/保存/削除/スキップ

3. 指定した時間にアナウンスや留守番電話を自動設定する

スケジュール管理を設定することで、指定した日時にアナウンスや留守番電話、転送設定を行うことができます。

スケジュール管理は MOT/PBX のユーザー設定画面より、次の手順で設定します。

1. パターン設定

1 日に行うアナウンス・留守電の設定パターンを作成します。

※平日用、休業日用、長期休暇用など複数のパターンを利用する場合は、各パターンをそれぞれ作成します。



2. 基本設定

各曜日、および祝日に適用する基本の設定パターンを割り当てます。

※自動的に継続する基本パターンの設定です（基本設定の継続設定が必要です）。
パターンは、後からカレンダーより 1 日毎に個別で設定を変える事が可能です。



3. スケジュール設定

カレンダーへ基本設定を反映すると一括で設定が反映します。

その後、指定した日にちに対し、設定を個別調整します。

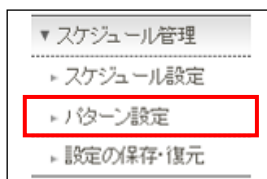
例：第 3 月曜日は休み、3 連休後の土曜日は営業、など
基本設定と異なる設定が必要な場合は個別で設定を調整します。

3-1. パターン設定

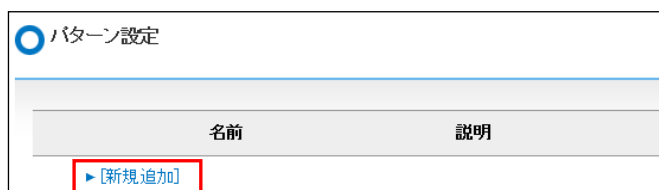
時刻や、アナウンス・留守電の設定パターンを作成します。

- 例) ・毎週月曜～土曜は 08：30-17：30 の営業時間帯で、17：30 以降は、留守電のアナウンスを流し、翌日 08：30 以降は、留守電のアナウンスを解除して通常着信に戻す。
- ・毎週日曜は休日専用のアナウンスを流す。
- ⇒上記の場合、月～土曜と日曜でアナウンスを流す時間帯のパターンを登録します。

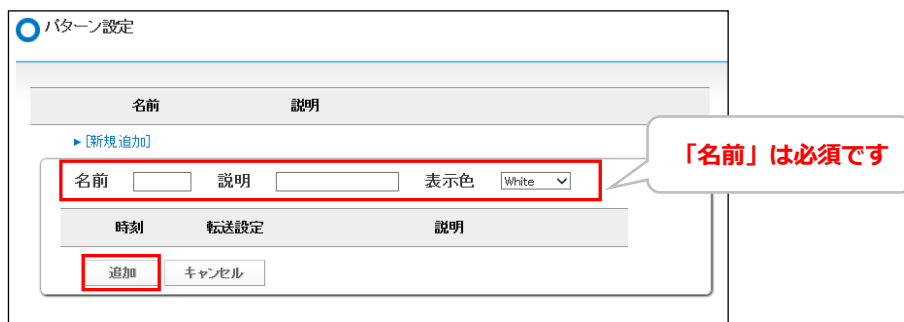
1. 設定画面内「スケジュール管理」の「**パターン設定**」をクリックします。



2. 表示する「パターン設定」画面で、「**新規追加**」をクリックします。



3. 追加するパターンの「名前」「説明」「表示色」を入力して、**[追加]**ボタンをクリックします。



4. 「追加しました。」と表示され、パターンが登録されます。
次に、登録したパターンに対して、時刻や動作を設定します。
登録パターン内の「**新規追加**」をクリックします。



5. 画面が下に展開するので、「開始時間」および「終了時間」に対し、それぞれどのような動作を行うか、設定します。

まず、開始時間を登録します。

時刻、転送先、転送種類、転送元、説明の各項目で設定内容を選択および入力をしてください。

※以下は、「時刻 17 : 30 以降、ラインキー（9501-9503）宛てに掛かってきた着信は、留守電に繋がる」設定を入力した場合を例とします。

設定画面名称	概要
時刻	スケジュール動作を行う時刻を設定します。
転送先	留守録サービス・アナウンスサービス・外出先の携帯など、着信をどこへ転送するかを設定、もしくは解除を選択します。
転送種類	不在：着信が入ったら即時に[転送先]へ転送します。 不応答：予め決められた秒数（初期 30 秒）が経過して、応答しなかった場合に転送します。 ※秒数変更は工事担当者の設定が必要です。
転送元	どの外線番号に着信が入った際に動作を行うかを指定します。

手動設定
留守電開始
アナウンス
設定解除(全種)
設定解除

【転送先】

手動設定 : コマンド欄に手動で入力します。
留守電開始 : 留守番電話メッセージが流れ、相手がメッセージを残す事ができます。（初期値：*91301）
アナウンス : 留守番電話メッセージが流れた後、通話を切断します。（初期値：701）
設定解除（全種） : 現在動作中の転送動作を不在・不応答両方解除します。
設定解除 : 現在動作中の転送動作を[転送種類]で選択したモードの解除を行います。

※コマンドについての詳細は、
[「転送時の特番（コマンド）について」](#) もあわせてご確認ください。

不在
不応答

【転送種類】

不在 : 即時転送、または留守応答（1 コールもしません）。
不応答 : 数コール後に転送、または留守応答に切り替わります。（3 秒～ ※1 コール約 3 秒）

6. **[追加]**ボタンをクリックします（編集の場合は、**[更新]**ボタン）。

○ パターン設定

名前	説明
通常	通常営業 [編集][削除]

▶ [新規追加]

名前 通常 説明 通常営業 表示色 Green

時刻	転送設定	説明
▶ [新規追加]		

時刻 17 : 30 転送先 留守電開始 *91301
 転送種類 不在 転送元 9501 - 9503
 説明 17:30から留守電開始/8:30まで

追加 キャンセル

7. 「追加しました。」と表示され、開始時間が設定されました。

続いて、終了時間を登録します。

登録パターン内の「**新規追加**」をクリックします。

○ パターン設定 **追加しました。**

名前	説明
通常	通常営業 [編集][削除]

▶ [新規追加]

名前 通常 説明 通常営業 表示色 Green

時刻	転送設定	説明
17:30	[不在][*91301][9501-9503]	17:30から留守電開始/8:30まで [編集][削除]

登録した時間設定が表示

▶ [新規追加]

時刻 17 : 30 転送先 留守電開始 *91301
 転送種類 不在 転送元 9501 - 9503
 説明 17:30から留守電開始/8:30まで

更新 キャンセル

8. 終了時間を登録します。

時刻、転送先、転送種類、転送元、説明の各項目で設定内容を選択および入力をしてください。

※以下は、「時刻 08 : 30 以降、留守電設定を解除する」設定を入力した場合を例とします。

名前 通常 説明 通常営業 表示色 Green

時刻	転送設定	説明
17:30	[不在][*91301][9501-9503]	17:30から留守電開始/8:30まで [編集][削除]

▶ [新規追加]

時刻 08 : 30 転送先 設定解除(全種)
 転送種類 不在 転送元 9501 - 9503
 説明 8:30留守電終了/17:30まで

設定内容を入力します

追加 キャンセル

9. **[追加]**ボタンをクリックします（編集の場合は、**[更新]**ボタン）。

○ パターン設定

名前	説明
通常	通常営業 [編集][削除]

▶ [新規追加]

名前 通常 説明 通常営業 表示色 Green

時刻	転送設定	説明
17:30	[不在][*91301][9501-9503]	17:30から留守電開始/8:30まで [編集][削除]

▶ [新規追加]

時刻 08 : 30 転送先 設定解除(全種)

転送種類 不在 転送元 9501 - 9503

説明 8:30留守電終了/17:30から

追加 キャンセル

10. 「追加しました。」と表示され、終了時間が設定されました。

これで、開始時間および終了時間に対し、それぞれどのような動作を行うか、設定完了です。

○ パターン設定 **追加しました。**

名前	説明
通常	通常営業 [編集][削除]

▶ [新規追加]

名前 通常 説明 通常営業 表示色 Green

時刻	転送設定	説明
08:30	[全種][解除][9501-9503]	8:30留守電終了/17:30から [編集][削除]
17:30	[不在][*91301][9501-9503]	17:30から留守電開始/8:30まで [編集][削除]

▶ [新規追加]

時刻 08 : 30 転送先 設定解除(全種)

転送種類 不在 転送元 9501 - 9503

説明 8:30留守電終了/17:30から

更新 キャンセル

※平日用、休業日用、長期休暇用など、複数のパターンを登録する場合は手順 1～10 を繰り返し、パターンを追加登録します。

以上でパターンの設定が完了です。

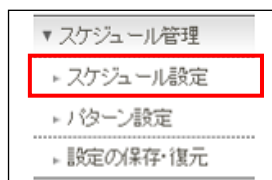
引き続き、基本設定を行います。

3-2. 基本設定

各曜日や祝日に適用する基本の設定パターンを割り当てます。

※基本設定の登録を行うには、事前に「[パターン設定](#)」にて各パターンを作成する必要があります。

1. 設定画面内「スケジュール管理」の「[スケジュール設定](#)」をクリックします。



2. 「スケジュール設定」画面を開きます。

「基本設定」が未登録の場合は、以下の基本設定画面を表示します。

基本設定

曜日	パターン名	説明
月	未設定▼	
火	未設定▼	
水	未設定▼	
木	未設定▼	
金	未設定▼	
土	未設定▼	
日	未設定▼	
祝	未設定▼	

保存

[\[スケジュール設定\]](#)

※すでに「基本設定」が登録済の場合は、以下のカレンダー画面を表示しますので、画面下部の「基本設定」を押して、基本設定画面を表示してください。

スケジュール設定 更新しました。

初期化 << 2022年04月 >> 基本設定

日	月	火	水	木	金	土
					1 通常	2 通常
3 定休日A	4 通常	5 通常	6 通常	7 通常	8 通常	9 通常
10 定休日A	11 通常	12 通常	13 通常	14 通常	15 通常	16 通常
17 定休日A	18 通常	19 通常	20 通常	21 通常	22 通常	23 通常
24 定休日A	25 通常	26 通常	27 通常	28 通常	29 昭和の日 定休日B	30 通常

未設定 何もいません
 通常 通常営業 (08:30 アナウンス解除 / 17:30)
 定休日A アナウンスA (00:00 定休日用アナウンス)
 定休日B アナウンスB (00:00 xxx用アナウンス)

スケジュール機能 実行中
 基本設定の経路 実行中

[\[基本設定\]](#) [\[パターン設定\]](#)

3. 基本設定画面では、各曜日や祝日に適用する基本の設定パターンを割り当てます。

○ 基本設定

曜日	パターン名
月	通常 ▼ ①
火	通常 ▼
水	通常 ▼
木	通常 ▼
金	通常 ▼
土	通常 ▼
日	未設定 ▼
祝	未設定 ▼ 通常 定休日A 定休日B

保存 ②

[スケジュール設定]

①「パターン名」項目にて、「[パターン設定](#)」で登録したパターンを選択してください。

②選択後、**[保存]**ボタンをクリックしてください。



「保存しました。」と表示され、基本設定の登録が完了です。

○ 基本設定

保存しました。

基本設定の登録完了

曜日	パターン名	説明
月	通常 ▼	通常営業
火	通常 ▼	通常営業
水	通常 ▼	通常営業
木	通常 ▼	通常営業
金	通常 ▼	通常営業
土	通常 ▼	通常営業
日	定休日A ▼	アナウンスA
祝	定休日B ▼	××××用アナウンス

保存

[スケジュール設定]



以下の場合、パターン名ではパターンを選択せず、「未設定」のままにします。

例) 毎週日曜日がお休みで、

土曜日の夜に留守電を開始して、日曜日はそのまま留守電が流れる状態、

月曜日の朝に留守電の設定を解除する場合

⇒日曜日は「未設定」

基本設定 保存しました。

曜日	パターン名	説明
月	通常	通常営業
火	通常	通常営業
水	通常	通常営業
木	通常	通常営業
金	通常	通常営業
土	通常	通常営業
日	未設定	何もしません
祝	定休日B	××××用アナウンス

「パターン」未選択

保存

[スケジュール設定]

上記のように「未設定」にすると、「スケジュール設定」画面（カレンダー上）では、「未設定」と表示されてわかりにくい場合がございます。

スケジュール設定

初期化

日	月	火
3	4	5
未設定	通常	通常
10	11	12
未設定	通常	通常
17	18	19

その場合、時刻や動作は設定せずに「定休日」などパターン名だけでパターンを登録し、基本設定で選択すると、カレンダー上ではパターン名「定休日」が表示されるため、定休日の判断がしやすくなります。

パターン設定

パターン名のみ登録

名前	説明
定休日	動作なし

[編集] [削除]

名前 定休日 説明 動作なし 表示色 Pink

時刻 転送設定

時刻や動作は、設定なし

[新規追加] 更新 キャンセル

スケジュール設定

初期化

日	月	火
3	4	5
定休日	通常	通常
10	11	12
定休日	通常	通常
17	18	19

※日曜日は、お休み専用のアナウンスを流すなど、通常のパターンと動作が違う場合は、通常とは別でパターンを登録し、選択する必要があります。

以上で基本設定が完了です。

引き続き、スケジュール設定を行います。

3-3. スケジュール設定

「[基本設定](#)」で、各曜日や祝日に適用する基本のパターンを割り当てた情報を「スケジュール設定」(カレンダー上)に反映します。

また、長期休暇など基本設定とは異なる設定が必要な場合、個別の調整を行うことができます。

1. 以下、いずれかの方法で「スケジュール設定」画面を開きます。

①スケジュール管理> スケジュール設定

②基本設定の「スケジュール設定」

①

②

2. 「スケジュール設定」画面に、「[基本設定](#)」で設定した各曜日や祝日のパターンを反映させることで、スケジュール設定が完了します。

画面右上の[[基本設定](#)]ボタンをクリックし、「基本設定」の内容を即時反映します。



「基本設定を反映してよろしいですか」というメッセージが表示されますので、**[OK]**をクリックします。

3. **[OK]**をクリックすると、各曜日や祝日に対し、「基本設定」で設定したパターンを即時反映します。

スケジュール設定 更新しました。

初期化 << 2022年04月 >> 基本設定

日	月	火	水	木	金	土
					1 通常	2 通常
3 定休日A	4 通常	5 通常	6 通常	7 通常	8 通常	9 通常
10 定休日A	11 通常	12 通常	13 通常	14 通常	15 通常	16 通常
17 定休日A	18 通常	19 通常	20 通常	21 通常	22 通常	23 通常
24 定休日A	25 通常	26 通常	27 通常	28 通常	29 昭和の日 定休日B	30 通常

未設定 何もいません
 通常 通常営業 (08:30 アナウンス解除 / 17:30)
 定休日A アナウンスA (00:00 定休日用アナウンス)
 定休日B アナウンスB (00:00 ××××月アナウンス)

スケジュール機能 実行中
 基本設定の継続 実行中

[基本設定] [パターン設定]

「基本設定」の内容が即時反映されます

4. 長期休暇など「基本設定」パターンでは設定できない個別の調整を行う場合は、対象日の設定部分をクリックし、パターンを選択し直します。

※「スケジュール設定」画面で個別に選択したパターンは、即時反映されます。

スケジュール設定 更新しました。

初期化 << 2022年04月 >> 基本設定

日	月	火	水	木	金	土
					1 通常	2 通常
3 定休日A	4 通常	5 通常	6 通常	7 通常	8 通常	9 通常
10 定休日A	11 通常	12 通常	13 通常	14 通常	15 通常	16 通常

6

通常
 未設定
 通常
 定休日A
 定休日B

個別でパターンを選択し直します

スケジュール設定

初期化 << 2022年04月 >> 基本設定

日	月	火	水	木	金	土
					1 通常	2 通常
3 定休日A	4 通常	5 通常	6 定休日B	7 通常	8 通常	9 通常
10 定休日A	11 通常	12 通常	13 通常	14 通常	15 通常	16 通常

「スケジュール設定」画面で選択したパターンは、即時反映します

※「スケジュール設定」画面で個別にパターンを選択する処理が、1 番優先されます。
 そのため、個別でパターンを選択した日は、その後[基本設定]ボタンをクリックしても、「基本設定」のパターンが適用されません。

以上でスケジュール設定が完了です。

- スケジュール設定の画面では、「スケジュール設定」(カレンダー上)で設定したスケジュールを動作させるか、「基本設定」の翌月への継続(自動反映)を有効とするかの設定が行えます。

※1. [基本設定]ボタンについて

[実行中]ボタンを押下すると、[停止中]ボタンに切り替わります。
押下の繰り返すことで、切り替えが可能です。

【スケジュール機能】

実行中	初期値は「実行中」になっています。 「実行中」になっている場合は、「スケジュール設定」(カレンダー上)で設定したスケジュールが動作します。
停止中	「停止中」になっている場合は、「スケジュール設定」(カレンダー上)で設定したスケジュールが動作しません。

【基本設定の継続】

実行中	初期値は「実行中」になっています。 「実行中」になっている場合は、 <u>毎月 27 日～月末までの毎日 23 : 55 に、翌月のカレンダー設定をチェックし、「基本設定」の設定パターンを自動で反映させます。</u> ※自動反映の前に、すでに[基本設定]のボタンが押されている場合は動作しません。
停止中	「停止中」になっている場合は、翌月のカレンダーに基本設定が自動反映しません。

※1. [基本設定]ボタンについて

「スケジュール設定」(カレンダー上)に「基本設定」のパターン設定を反映した後に「基本設定」のパターン設定を変更した場合、[基本設定]ボタンを押下しないと変更後の「基本設定」のパターンは「スケジュール設定」に反映されませんのでご注意ください。

設定に誤りがあると、思わぬ動作(ずっと留守電になり着信しない等)になることがございます。設定後、必ず設定内容を見直ししてください。

また、月ごとに設定が必要です。「未来日の設定がされていない」、「仮の予定で設定していて、修正し忘れていた」、などで思わぬ動作になることを防ぐため、**定期的に設定内容をご確認いただけますようお願いいたします。**

4. 各種応答メッセージの内容を設定・変更する

各種応答メッセージの内容を設定（変更）する場合は、以下の 2 パターンの設定方法のいずれかにて設定を行います。

※それぞれ電話機からの操作が必要です。

■方法 1：標準音声を設定する

MOT/PBX に内蔵している標準音声を
応答メッセージに使用します。

■方法 2：録音を設定する

留守電メッセージを吹き込み
応答メッセージに使用します。

■方法 1：標準音声を設定する

標準音声用の番号にダイヤルし、標準音声を設定します。

1. 標準音声用の番号にダイヤルし、標準音声を設定する

- ① 受話器を置いたまま、標準音声用の番号にダイヤルします。（注）
例：留守番メッセージ 1 の標準音声を設定する場合は
「*」「2」「7」「*」「1」「1」「1」とダイヤルします。
- ② 受話器を上げます。



- ③ガイダンスが流れます。
- ④受話器を置くと設定が完了します。

（注）次ページの対応表を確認し、対応する番号を手順 1 にてダイヤルして設定を行ってください。

【留守番電話の標準音声を設定する場合】

留守番電話 1	【標準音声】 *27*111
	本日の業務は終了しました。ピーと言う音の後に、お名前とご用件をお話ください。
留守番電話 2	【標準音声】 *27*121
	只今、電話に出ることができません。 ピーと言う音の後に、お名前とご用件をお話ください。
留守番電話 3	【標準音声】 *27*131
	お掛けになった電話は現在でることができません。 “ピー”となったら、メッセージを録音してください。
留守番電話 4	【標準音声】 *27*141
	"ピー"と鳴ったら、メッセージを録音してください。
留守番電話 5	【標準音声】 *27*151
	只今、留守にしております。 ご用件をピーと言う音の後に話し下さい。

【アナウンスサービスの標準音声を設定する場合】

アナウンスサービス 1	【標準音声】 *27*211
	本日の業務は終了しました。 恐れ入りますが営業時間内にお掛け直してください。
アナウンスサービス 2	【標準音声】 *27*221
	お電話ありがとうございます。本日の営業は終了致しました。 恐れ入りますが営業時間内にお掛け直してください。
アナウンスサービス 3	【標準音声】 *27*231
	ただいま留守にしております。のちほどおかけ直してください。
アナウンスサービス 4	【標準音声】 *27*241
	只今、電話に出ることができません。恐れ入りますが改めてお電話をいただけますようお願いいたします。
アナウンスサービス 5	【標準音声】 *27*251
	お掛けになった番号は電波が届かない場所か、 電源が入っていないため掛かりません。

■方法 2：録音を設定する

1. メッセージを吹き込む（録音する）



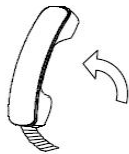
2. メッセージを確認する（録音内容を確認する）



3. メッセージを保存する（録音内容を適用する）

1. メッセージを吹き込む（録音する）

- ① 受話器を置いたまま、「*」「2」「5」とダイヤルします。
- ② 受話器を上げます。



- ③ ガイダンスが流れます。「ピー」という発信音の後に、メッセージを録音してください」
- ④ 「ピー」という発信音の後に、受話器に向かって、録音するメッセージを吹き込みます。
- ⑤ 吹き込み後、通話を切断します。
※ 受話器を置くとガチャと音が入るので、手でフックを押して切断して下さい。
※ メッセージは最長 120 秒間、吹き込むことが可能です。

2. メッセージを確認する（録音内容を確認する）

- ① 受話器を置いたまま、「*」「2」「6」とダイヤルします。
- ② 受話器を上げます。



- ③ 吹き込んだメッセージが受話器から再生されます。
※ メッセージの吹き込みをやり直す場合は、再度「1. メッセージを吹き込む」からやり直してください（上書きされます）。

3. メッセージを保存する（録音内容を適用する）

①受話器を置いたまま、録音内容を適用する際の番号をダイヤルします。(注)

例：アナウンスサービス 1 に録音を適用するときは「*」「2」「7」「*」「2」「1」「0」とダイヤルします。

留守番メッセージ 1 に録音を適用するときは「*」「2」「7」「*」「1」「1」「0」「1」となります。

②受話器を上げます。



③ガイダンスが流れます。「メッセージは保存されました」

④受話器を置くと設定が完了します。

(注) 次ページの対応表を確認し、対応する番号をダイヤルして録音メッセージを適用してください。

【留守番電話に録音する場合】

留守番電話 1	【相手が録音する際にピー音あり】 * 27 * 1101
	【ピー音なし】 * 27 * 1100
留守番電話 2	【相手が録音する際にピー音あり】 * 27 * 1201
	【ピー音なし】 * 27 * 1200
留守番電話 3	【相手が録音する際にピー音あり】 * 27 * 1301
	【ピー音なし】 * 27 * 1300
留守番電話 4	【相手が録音する際にピー音あり】 * 27 * 1401
	【ピー音なし】 * 27 * 1400
留守番電話 5	【相手が録音する際にピー音あり】 * 27 * 1501
	【ピー音なし】 * 27 * 1500

※相手方が録音を開始する際のピー音（ピーという音の後に録音を開始する）については、

【ピー音あり】または【ピー音なし】を選択できます。

「ピーという音の後に・・・」と吹き込んだのに【ピー音なし】に設定すると、ピー音が鳴りません。

実際に吹き込むメッセージの内容と、【ピー音あり】または【ピー音なし】の設定を合わせてください。

【アナウンスサービスに録音する場合】

アナウンスサービス 1	* 27 * 210
アナウンスサービス 2	* 27 * 220
アナウンスサービス 3	* 27 * 230
アナウンスサービス 4	* 27 * 240
アナウンスサービス 5	* 27 * 250

設定例：年末年始休暇などの長期休暇の際に、留守番メッセージを録音応答させる場合

年末年始休暇やゴールデンウィークなどの長期休暇の際には、休暇に入る前に留守番メッセージを吹き込みます。また、休暇明けに留守番メッセージを休暇前のメッセージに戻します。

例：以下の例では、下記の条件にて設定を行っています。

【パターン設定にて、夕方の 18 時から留守応答、朝の 9 時に留守応答を解除する設定】

【パターン設定にて、留守番メッセージ 1 での応答を設定】

【12 月 28 日まで営業で、12 月 29 日から休業、翌年 1 月 4 日から営業を開始する】

【12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まではパターン設定を未設定（留守電のままにする）】

この例の場合 12 月 28 日朝の、留守電解除～夕方の留守電開始までに、以下の手順にて電話機より留守番メッセージを録音し、留守番メッセージ 1 に保存します。

1.メッセージを吹き込む（録音する）※この例の場合は 12/28 の日中に実施

- ① 受話器を置いたまま、「*」「2」「5」とダイヤルします。
- ② 受話器を上げます。



- ③ ガイダンスが流れます。「ピー」という発信音の後に、メッセージを録音してください」
- ④ 「ピー」という発信音の後に、受話器に向かって、録音する応答メッセージを吹き込みます。

録音例：本年の営業は終了しました。誠に恐れ入りますが、営業時間内におかけ直してください。

ご用件のある方は、ピーという音の後に、メッセージを録音してください。

なお、冬期休業は 12 月 29 日から、翌年 1 月 3 日となります。

お預かりしましたメッセージの確認、および対応は、1 月 4 日以降順次対応となりますので、あらかじめご了承ください。

お電話ありがとうございました。

※この後の手順で「ピー音あり」で設定することを前提にしています。

※あくまで一例となります。お客様にて録音内容をご用意ください。

- ⑤ 吹き込み後、通話を切断します。

※受話器を置くとガチャと音が入るので、手でフックを押して切断して下さい。

※メッセージは最長 120 秒間、吹き込むことが可能です。

2.メッセージを確認する（録音内容を確認する）

- ①受話器を置いたまま、「*」「2」「6」とダイヤルします。
- ②受話器を上げます。



- ③吹き込んだメッセージが受話器から再生されます。
- ※メッセージの吹き込みをやり直す場合は、再度「1.メッセージを吹き込む」からやり直してください（上書きされます）。

3.メッセージを保存する（録音内容を適用する）

- ①受話器を置いたまま、「*」「2」「7」「*」「1」「1」「0」「1」とダイヤルします。
※本例はパターン設定にて留守番メッセージ 1 をご利用いただいている場合のダイヤル番号です。
※「ピー音あり」で設定しています。
- ②受話器を上げます。



- ③ガイダンスが流れます。「メッセージは保存されました」
- ④受話器を置くと設定が完了します。
（この後、休暇中となります。
休暇中は録音したメッセージが流れ、ピー音の後に相手が用件を吹き込みます。）

4.休暇明けにメッセージを解除する（留守番メッセージを再度変更する）※1/4 の日中に実施 メッセージが変更されているため、通常設定しているメッセージに、設定を戻す必要があります。

■メッセージを吹き込みしなおして留守番メッセージを変更する場合

本手順の 1～3 を再度実施し、留守番メッセージを変更して下さい。

■標準音声を利用する場合

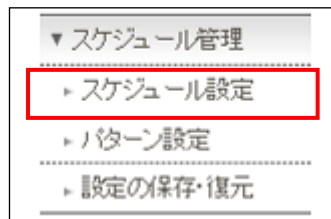
- ①受話器を置いたまま、「*」「2」「7」「*」「1」「1」「1」とダイヤルします。
※本例はパターン設定にて留守番メッセージ 1 をご利用いただいている場合のダイヤル番号です。
- ②受話器を上げます。
- ③ガイダンスが流れます。
- ④受話器を置くと設定が完了します。

5. スケジュール設定を初期化する

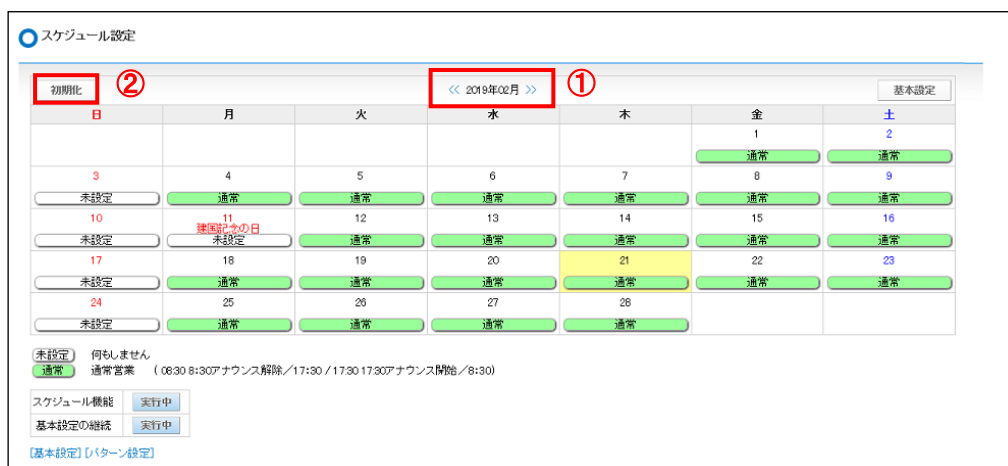
「スケジュール設定」(カレンダー上) で設定したスケジュールを月単位で初期化します。

※スケジュール設定を削除します。削除後の復活はできませんのでご注意ください。

1. 設定画面内「スケジュール管理」の「**スケジュール設定**」をクリックします。



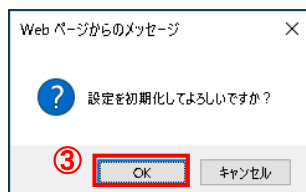
2. 「スケジュール設定」画面を表示します。



- ①初期化を行いたい月を選択し、カレンダーを表示します。

- ②【初期化】ボタンをクリックします。

- ③「設定を初期化してよろしいですか」メッセージを表示します。【OK】ボタンをクリックします。



以上でスケジュール設定の初期化が完了となります。

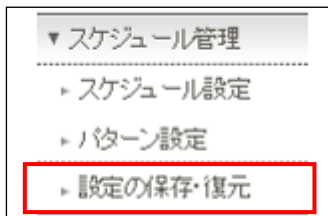
改めてスケジュールを設定する場合は「[指定した時間にアナウンスや留守番電話を自動設定する](#)」の項から設定をやり直して下さい。

6. スケジュール設定を保存・復元する

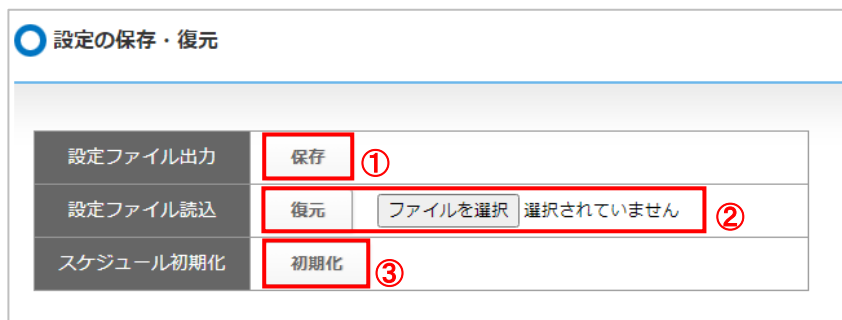
設定したスケジュールパターンを保存しておくことができます。

長期休暇・催事などで一時的にパターンを変更する場合、パターンを保存しておくことで簡単に元のパターンに復元ができます。

1. 設定画面内「スケジュール管理」の「**設定の保存・復元**」をクリックします。



2. 設定ファイルの出力および復元と、スケジュールの初期化が行えます。



■ 設定ファイル出力および復元

- ① **[保存]** ボタンをクリックすると基本設定、パターン設定のファイルが出力されるので、保存をします。
- ② **[ファイルを選択]** をクリックし、保存した設定ファイルを選択して **[復元]** ボタンをクリックすると設定を復元します。

■ スケジュールの初期化

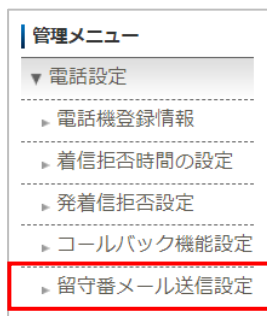
- ③ **[初期化]** ボタンをクリックすると、「設定を初期化してよろしいですか？」のメッセージを表示します。
[OK] をクリックすると、すべてのスケジュール設定を初期化します。
 ※誤って必要な設定を消してしまわないように操作にはご注意ください。

6. 留守番メール送信設定を行う

1. 留守電をメールで通知する

留守番が入った際、メールで通知を行いたい場合に利用します。

1. 設定画面内「電話設定」の「留守番メール送信設定」をクリックし、「留守番送信設定」画面を開きます。



2. 「留守番送信設定」画面では、内線毎に設定を行います。
内線番号の一覧より、設定したい内線番号の **[編集]** をクリックします。

留守番送信設定				
内線番号	通知先メールアドレス	送信設定	音声の添付	操作
301	test@webjapan.co.jp	使用中	無し	[編集] 留守録全削除
302		未使用	無し	[編集] 留守録全削除
303		未使用	無し	[編集] 留守録全削除

3. 留守番送信設定の画面を表示します。

留守番送信設定

内線番号	301
パスワード	...
通知先メールアドレス	test@webjapan.co.jp
送信設定	使用中 ▼
音声ファイルの添付	無し ▼

保存

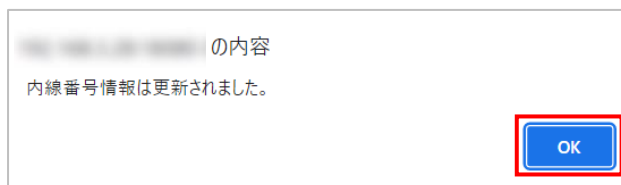
- ①留守番電話を再生する際に入力するパスワードを入力します。
- ②通知先メールアドレスを設定します。
- ③「送信設定」は「**使用中**」を選択します。
- ④メール通知をする際に、通知と併せて録音された音声ファイルを添付する場合は、「音声ファイルの添付」で「**有り**」を選択します。
メール通知後に、自動で留守電データを削除する場合は、「**有り (削除)**」を選択します。
- ⑤**[保存]** ボタンをクリックします。

■ 項目一覧

項 目	説 明
パスワード	留守番電話用のパスワードを入力します。 ※留守電メッセージ保存先に設定している内線番号以外から留守番電話を再生する際に、パスワードの入力を求められます。 パスワード入力は電話端末でのダイヤルになるため、パスワードは <u>数字</u> で設定してください。
通知先メールアドレス	留守番電話が登録された際に、メール通知する宛先アドレスを入力します。
送信設定	留守録された場合の通知をするかどうか選択します。
音声ファイルの添付	実際に録音された音声データをメールに添付するかどうか選択します。 ・無し：通知メールのみで、音声ファイルの添付なし ・有り：通知メールに、音声ファイルを添付 ・有り（削除）：通知メールに、音声ファイルを添付 + 通知後、留守電メッセージのデータを自動で削除
保存	設定を反映します。

4. **【OK】**をクリックすると「留守番メール送信設定」画面に戻ります。設定内容をご確認ください。

※内線毎に設定が必要です。ほかの内線番号に設定を行う場合は手順 1～4 を繰り返します。



以上で設定は完了です。

留守電が入ると、登録されたメールアドレス宛てに通知を行います。

【留守録通知メール】

登録されたメールアドレスには、以下の内容で通知されます。

(例)

件名：【MOT/PBX】 留守録通知メール

このメールは留守録通知メールです。

留守録日時：2020-01-06 08:21:51

発信者番号：090XXXXXXXXX

2. 留守録（相手が録音したメッセージ）を一括削除する

留守録を確認された後、蓄積されている留守録を一括削除します。

※電話機からの削除は 1 件毎の削除となります。留守録の一括削除はこちらをご利用ください。

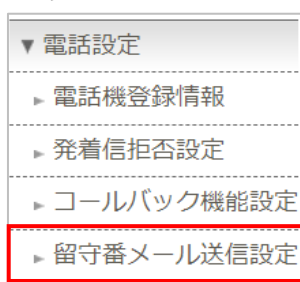
※全件削除となります。削除後の復活はできませんのでご注意ください。

留守電の最大保存件数に達すると、新しい留守録メッセージを録音することができません。
最大保存件数を超えないよう、メッセージの削除を行ってください。

【最大保存件数】

- ・ MOT/PBX S-V2、M-V3 : 60 件
- ・ MOT/PBX L-V2、MOT/PRO : 99 件

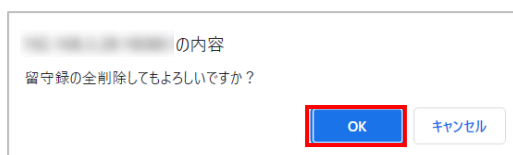
1. 設定画面内「電話設定」の「留守番メール送信設定」をクリックし、「留守番送信設定」画面を開きます。



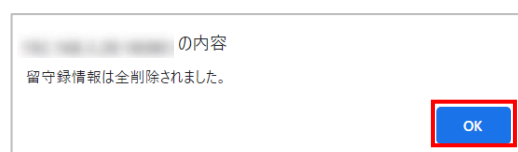
2. 「留守番送信設定」画面に表示する内線番号の一覧より、留守録を削除したい保存先の内線番号の「留守録全削除」をクリックします。

留守番送信設定				
内線番号	通知先メールアドレス	送信設定	音声の添付	操作
301	test@webjapan.co.jp	使用中	無し	[編集] [留守録全削除]
302		未使用	無し	[編集] [留守録全削除]
303		未使用	無し	[編集] [留守録全削除]

3. 削除の確認メッセージを表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。※全削除となります。



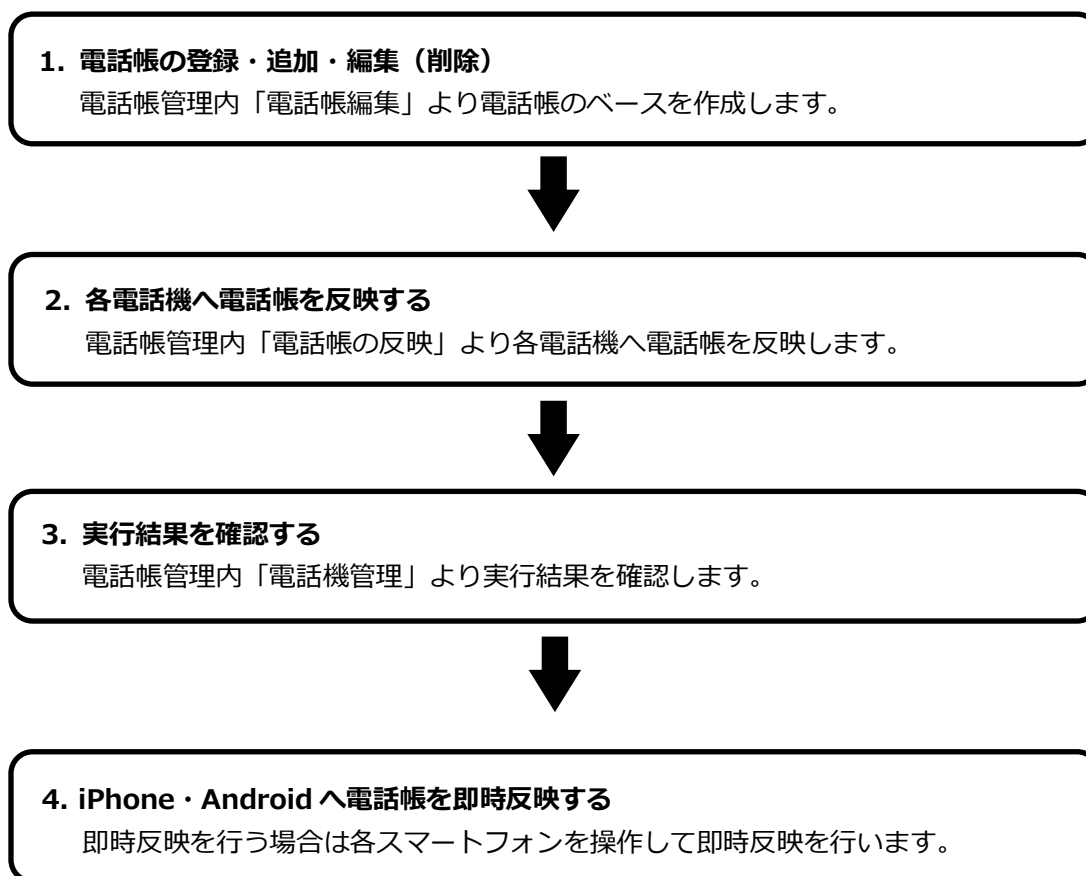
4. 「留守録情報は全削除されました。」と表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



以上で留守電（相手が録音したメッセージ）が全削除されます。

7. 電話帳を登録、反映する

各電話機に電話帳を反映します。



別サービス「MOT/HG」の電話帳と同期する場合の注意事項

「MOT/HG」の電話帳と同期する運用の場合、「MOT/HG」側で登録した電話帳情報が本画面に反映します。**電話帳の登録・編集・削除については、大元となる「MOT/HG」側で行い、本画面では行わないようにしてください（本画面は閲覧のみ）。**

※「名前」「カナ」は、半角なら 32 文字、全角なら 16 文字まで同期し、それ以降の文字は表示されません。

※自動更新を有効にしている場合、「MOT/HG」から本画面への同期は、毎晩 AM1～4 時の間に更新処理が行われます。

※本画面で電話帳の登録・編集・削除処理を行った場合、毎晩行われる自動更新の際に、「MOT/HG」側の情報に上書きされるため、本画面での処理内容は保持されません。

※「MOT/HG」の電話帳で登録している「外線」「内線」「FAX」すべての区分が、本画面の PBX 電話帳に同期します。

「MOT/HG」電話帳の詳細については、別紙「MOT/HG マニュアル」をご参照ください。

1. 電話帳の追加登録・編集・削除

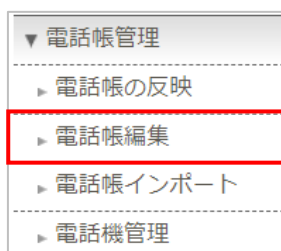
電話帳を登録します。

電話帳の登録方法は、[手動登録](#)と[CSV インポート](#)の2通りございます。

また、追加した電話帳は、編集や削除を行うことができます。

■ 電話帳を手動で登録する

1. 設定画面内「電話帳管理」の「[電話帳編集](#)」をクリックし、「電話帳編集」画面を開きます。



2. 「電話帳編集」画面で、[\[新規登録\]](#)をクリックします。

3. 表示する「電話帳編集-共通電話帳」画面で、登録する電話帳の情報を入力し、[\[設定保存\]](#)ボタンをクリックして、設定内容を保存します。

項 目	説 明
電話帳番号	電話帳番号を入力します。000～499 までの数字（最大 500 個）のいずれかを設定します。※数字の重複利用はできません。
名前	名前を入力します。 ・入力文字数：半角なら 20 文字、全角なら 10 文字まで ・入力可能文字：制限なし
フリガナ	名前のフリガナを入力します。 ・入力文字数：全角 15 文字まで ・入力可能文字：全角半角の英数字、カタカナ（ひらがな・記号は入力不可）
電話番号	電話番号を入力します。
短縮	※登録した短縮は、サクサ電話機と Windows 版 MOT/Phone でのみ利用可能です。 00-99 までの数字（最大 100 個）のいずれかを設定します。 数字の重複利用はできません。
ワンタッチ	※登録したワンタッチは、サクサ電話機のみ利用可能です。 サクサ電話機の設定時に利用します。 01-24 までの数字（最大 24 個）のいずれかを設定します。 数字の重複利用はできません。
グループ番号	※登録したグループ番号は、ナカヨ電話機のみ利用可能です。 グループ番号を登録します。
[設定保存]ボタン	設定を保存します。
[戻る]ボタン	電話帳編集画面に戻ります。

4. 「電話帳編集」画面に、登録した内容が表示されます。

電話帳編集 - 共通電話帳 共通範囲 0 ~ 449 設定保存

登録件数 1 件 新規登録 初期化 電話帳エクスポート

☐ 詳細表示 1 / 1 ページ目, No. 0 ~ 0

先頭へ 戻る 次へ 最後へ 1 ページ目 (No. 0 ~ 0)

ナカヨ・サクサに反映される範囲を で表示しています。 : No. 0 ~ 449

No.	名前	フリガナ	電話番号	機能
000	オフィス花子	オフィスハナコ	09011111111	編集/削除

1. 設定画面内「電話帳管理」の「電話帳編集」をクリックし、「電話帳編集」画面を開きます。

- ▼ 電話帳管理
 - ▶ 電話帳の反映
 - ▶ 電話帳編集
 - ▶ 電話帳インポート
 - ▶ 電話機管理

- 電話帳編集 - 共通電話帳

共通範囲 0 ~ 449

設定保存

登録件数 0 件

新規登録

初期化

電話帳エクスポート

☐ 詳細表示

1 / 1 ページ目, No. ~

先頭へ

戻る

次へ

最後へ

1 ページ目 (No. ~) ▼

ナカヨ・サクサに反映される範囲を

で表示しています。: No.0 ~ 449

No.	名前	フリガナ	電話番号	機能

dial.csv

▲

- ※環境依存文字は対応していません。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	MOTPHONEBOOK Version=01.00						
3	電話番号	名前	フリガナ	電話番号	短縮	ワンタッチ	グループ番号
4	0						
5	1						
6	2						
7	3						

項 目	説 明
電話帳番号	電話帳番号を入力します。000～499 までの数字（最大 500 個）のいずれかを設定します。※数字の重複利用はできません。
名前	名前を入力します。
フリガナ	名前のフリガナを入力します。
電話番号	電話番号を入力します。 ※CSV ファイルは、頭の数値が 0 の場合、0 を表示しません。 電話番号の項目は、「セルの書式設定」で「文字列」にしてから入力をしてください。
短縮	サクサ電話機の設定時に利用します。00-99 までの数字（最大 100 個）のいずれかを設定します。※数字の重複利用はできません。
ワンタッチ	サクサ電話機の設定時に利用します。01-24 までの数字（最大 24 個）のいずれかを設定します。※数字の重複利用はできません。
グループ番号	ナカヨ電話機の設定時に利用します。 グループ番号を登録します。

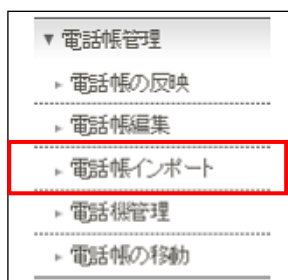


入力後、CSV ファイルを保存します。

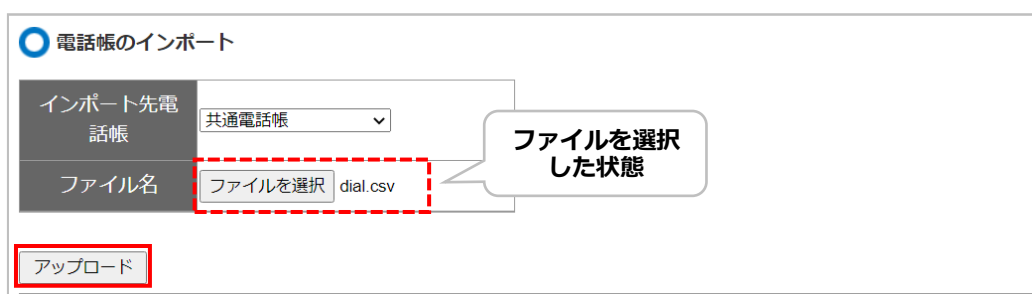
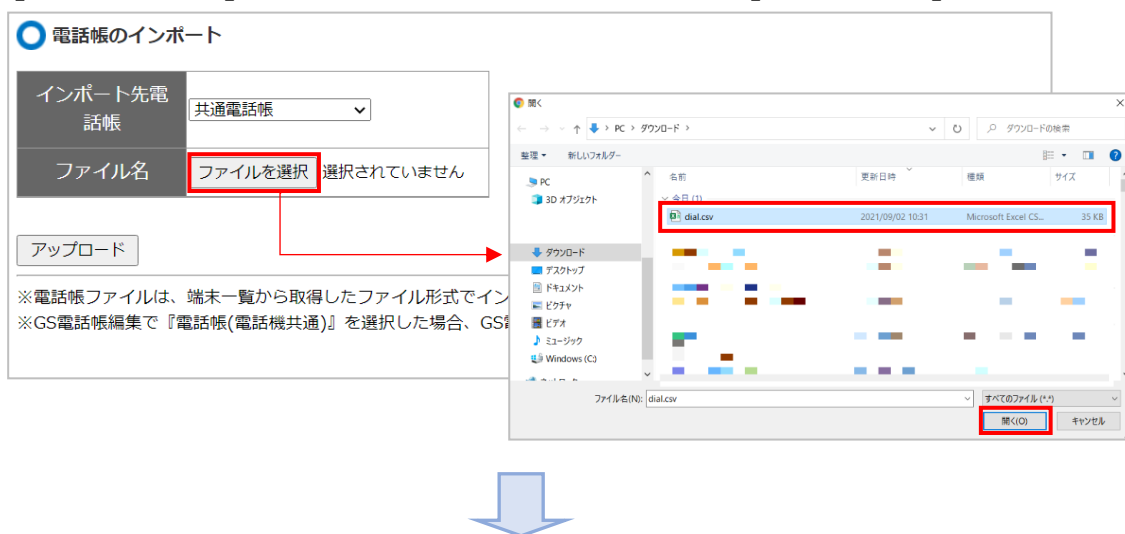
	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	MOTPHONEBOOK Version=01.00						
3	電話帳番号	名前	フリガナ	電話番号	短縮	ワンタッチ	グループ番号
4	0	オフィス花子	オフィスハナコ	09011111111			
5	1	オフィス太郎	オフィスタロウ	09000000000			
6	2	株式会社テスト	カブシキガイシャテスト	03000000000			
7	3	株式会社ABC	カブシキガイシャエービーシー	03111111111			
8	4						
9	5						

入力

4. 設定画面内「電話帳管理」の「電話帳インポート」をクリックします。

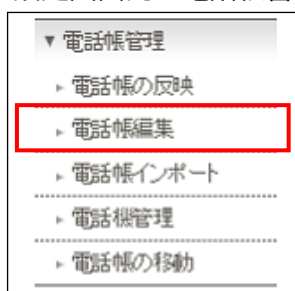


5. **[ファイルを選択]**をクリックし、CSV ファイルを選択後、**[アップロード]**をクリックします。



インポートが正常に完了すると、「インポートを正常に完了しました」と表示されます。

6. 設定画面内「電話帳管理」の「**電話帳編集**」をクリックします。



7. インポートした電話帳が表示されます。



■電話帳を編集、削除する

1. 編集する電話帳の**編集**をクリックします。

電話帳編集 - 共通電話帳 共通範囲 0 ~ 449 設定保存

登録件数 4 件 新規登録 初期化 電話帳エクスポート

□ 詳細表示 1 / 1 ページ目, No. 0 ~ 3

先頭へ 戻る 次へ 最後まで 1ページ目 (No. 0 ~ 3) ▼

ナカヨ・サクサに反映される範囲を で表示しています。: No.0 ~ 449

No.	名前	フリガナ	電話番号	機能
000	オフィス花子	オフィスハナコ	09011111111	編集/削除
001	オフィス太郎	オフィスタロウ	09000000000	編集/削除
002	株式会社テスト	カブシキガイシャテスト	03000000000	編集/削除
003	株式会社ABC	カブシキガイシャエービーシー	03111111111	編集/削除

2. 「電話帳編集」画面が表示されますので、内容を編集し、**[設定保存]**ボタンをクリックします。

電話帳編集 - 共通電話帳

電話帳番号 1

名前 オフィス太郎

フリガナ オフィスタロウ

電話番号 09000000000

短縮

ワンタッチ

グループ番号 1 ▼

設定保存 戻る

3. 削除する場合は、削除する電話帳の**削除**をクリックし、削除処理を行います。

No.	名前	フリガナ	電話番号	機能
000	オフィス花子	オフィスハナコ	09011111111	編集/削除
001	オフィス太郎	オフィスタロウ	09000000000	編集/削除
002	株式会社テスト	カブシキガイシャテスト	03000000000	編集/削除
003	株式会社ABC	カブシキガイシャエービーシー	03111111111	編集/削除

■「電話帳編集」の画面説明

電話帳の一覧を表示します。

また、電話帳に割り当てる範囲指定や、電話帳の初期化が行えます。

項 目	説 明
①共通範囲	ナカヨ、サクサ電話機専用の設定項目です。 電話機へ電話帳を登録できる最大件数 500 件のうち、共通電話帳に割り当てる範囲を設定します。0 から設定した範囲までが共通電話帳、残りが個別電話帳となります。 共通範囲を 0～449 件に設定した場合、共通電話帳は 0～449 の範囲、個別電話帳件数は 450～499 の範囲になります。 電話帳最大件数 500 件（ナカヨコードレス SW101A は 300 件まで登録可）
②初期化	電話帳のデータを初期化します（登録データをすべて削除します）。

電話帳の最大登録件数

機種	件数	備考
MOT/Phone (iPhone 版)	3000 件	共通電話帳
MOT/Phone+ (iPhone 版)		のみの件数
MOT/Phone (Android 版)	3000 件	共通電話帳のみの件数
MOT/Phone (Windows 版)	3000 件	共通電話帳のみの件数
MOTBrowser Phone+	3000 件	共通電話帳のみの件数
ナカヨ製電話機	500 件	個別・共通合わせての件数。
サクサ製電話機	500 件	個別・共通合わせての件数。

【注意事項】

電話機から直接電話帳を入力することは推奨しておりません。

サーバー側から電話機一括反映を行う場合、電話機のデータを上書き更新するため、MOT/PBX からの設定を行ってください。

また、電話機のみに登録されている電話番号は追加登録を行えるように、事前に書き留めていただきますようお願いいたします。

2. 電話機へ電話帳を反映する

■ SIP 電話機を利用している場合

SIP 電話機は、端末側から電話帳情報を取得する機能がありません。

そのため電話帳を編集した際は、本メニューの「電話帳の反映」を実行し、SIP 電話機側に反映させる必要があります。

■ MOT/Phone を利用している場合

MOT/Phone 端末側で「自動更新の設定」が ON になっている場合は、電話帳の情報は、毎日 AM2:00～AM5:00 の間に自動で更新されます。

電話帳を編集後、全端末にすぐに反映させたい場合は、本メニューの「電話帳の反映」を実行してください。

※iPhone 端末（MOT/Phone、MOT/Phone+）、MOT/Browser Phone+ は、本メニューの「電話帳の反映」は対象外です。

すぐに反映させたい場合は、端末側で手動更新を行ってください。

詳細は、「[iPhone・Android 側で最新の電話帳に更新する](#)」ページをご参照ください。

1. 設定画面内「電話帳管理」の「電話帳の反映」をクリックし、「電話帳の反映」画面を開きます。



2. 「電話帳の反映」画面にて、以下の処理を行います。

①

②

③

選択	アクセス許可	内線番号	IPアドレス	ポート	電話機種別	アプリバージョン
☐	-	6102	192.168.1.193	5080	Windows	MOT/Phone POP-UP4.3.4(MOT/Phone Windows 6.0.4)
☐	-	6103	192.168.1.237	64752	iPhone(Push)	MOT-Phone-4.9.0/iPhone6Plus-au(iPhone OS 8.2)
☐	-	6104	192.168.1.181	5080	Windows	MOT/Phone POP-UP4.3.4(MOT/Phone Windows 6.0.4)
☐	-	6105	192.168.1.207	5090	Windows	MOT/Phone Windows 6.0.4

更新 全てチェック 共通電話帳反映 個別電話帳反映 電話帳取得 共通電話帳取得 再起動 アクセス許可

①利用する電話帳は「電話帳（電話機共通）」を選択します。

②電話機に電話帳を反映させる内線番号にチェックをつけて選択します。

③[共通電話帳反映]ボタンをクリックします。

※iPhone 端末（MOT/Phone 、 MOT/Phone+）、MOT/Browser Phone+は、本メニューの「電話帳の反映」は対象外となりますが、iPhone 端末をグローバルアカウントで利用している場合と MOT/Browser Phone+は、選択ボックスへのチェックが可能な状態です。

ただし、チェックをつけても反映はされませんのでご注意ください。

※iPhone 端末をローカルアカウントで利用している場合は、選択ボックスはチェックがつけられない状態となります。

3. 以下のような更新の確認メッセージが表示されるので、**[OK]**ボタンをクリックします。

Web ページからのメッセージ

選択項目を全て更新します。よろしいですか？

OK キャンセル

選択	アクセス許可	内線番号	IPアドレス
☒	無効	812	61.2
☐	-	6108	192.1

更新 全てチェック 共通電話帳反映 個別電話帳反映 電話帳取得 共通電話帳取得

iPhoneおよびiPhone(Push)は共通電話帳反映を行いアクセス許可した後、電話機側操作にて電話帳反映してください。
※ローカル接続の場合は電話機側操作のみで電話帳反映可能です。

3. iPhone・Android 側で最新の電話帳に更新する

共通電話帳（PBX 電話帳）の更新を「自動更新」に設定している場合、登録・変更後の翌日 AM2:00～AM5:00 の間に自動更新します。

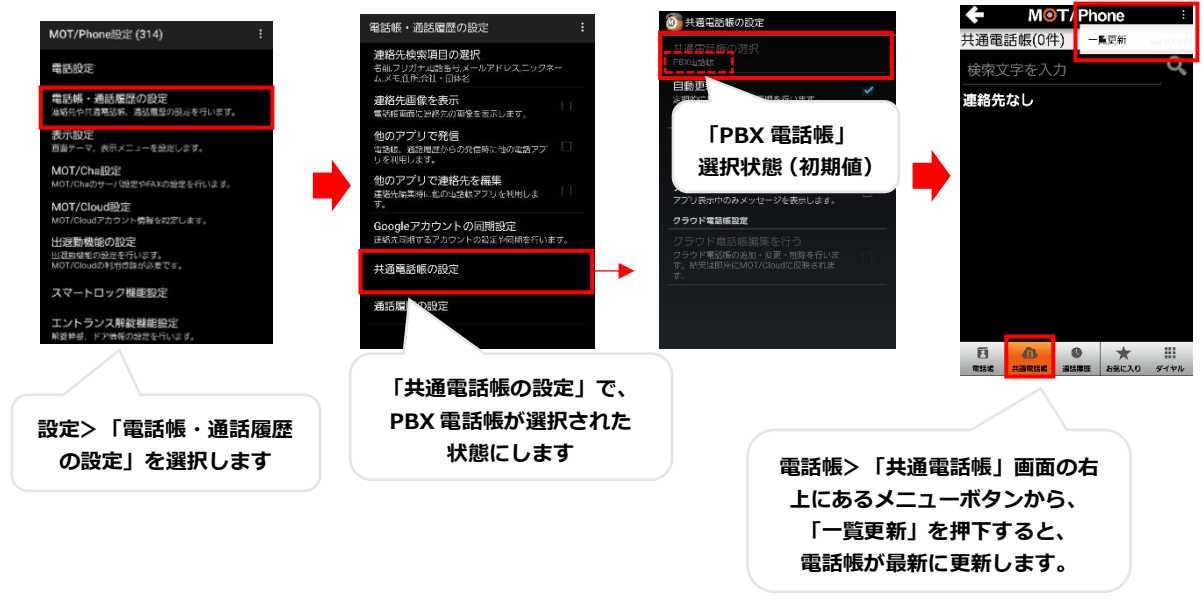
※自動更新の設定は、MOT/Phone 側の設定で共通電話帳自動更新を ON に設定する必要があります。

電話帳を変更後、即時反映させたい場合は、スマートフォン側で画面更新の処理を行うことで、即時反映を行います。

MOT/Phone+（iPhone 版）の場合



MOT/Phone（Android 版）の場合



【共通電話帳自動更新が可能な機種およびバージョン】

MOT/PBX 側

対応機種	MOT/PBX S-V1+B、MOT/PBX S-V1、MOT/PBX M-V2+B、MOT/PBX M-V2、MOT/PBX M-V1+B、MOT/PBX M-V1、MOT/Server、MOT/PRO (OS バージョン 5)
対応バージョン	外線バージョン：5.12.1 内線バージョン：2.23.4-2

アプリ	バージョン
MOT/Phone (iPhone 版)	V6.3.0 以降
MOT/Phone+ (iPhone 版)	V1.0.0 以降
MOT/Phone (Android 版)	V7.14.0 以降
MOT/Phone (Windows 版)	V4.9.0 以降

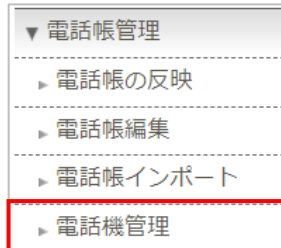
※スマートフォンで無線 LAN 経由でのグローバル接続(公衆無線 LAN 利用等)を行っている場合、電話帳を同期する事ができません。電話帳の反映がうまくいかない場合はネットワーク環境を変更して再度反映をお試ください。

以上で、電話帳の設定は完了です。

4. 反映確認

電話帳反映が成功しているかどうか、ステータスを確認します。

1. 設定画面内「電話帳管理」の「[電話機管理](#)」をクリックし、「電話機管理」画面を開きます。



2. 「電話機管理」画面で、ステータス欄が「成功」になっていることを確認します。
※「確認中」の表示は、ナカヨ・サクサの電話機のみが表示です。

電話機管理						
削除	日時	内線番号	操作	IPアドレス	利用する電話帳	ステータス
☐	2013/06/04 09:35:02	303	電話帳反映	192.168.1.237	サクサ電話帳	実行待ち
☐	2013/06/03 19:57:35	304	電話帳反映	192.168.1.160	サクサ電話帳	成功

更新 全てチェック 削除

【失敗】と表示されている場合

作業時に通話中や、電話機の受話器が上がっていたなどの原因で登録ができなかった場合、ステータスが「失敗」となります。

該当の内線番号にのみチェックをつけて、再度「[電話機への電話帳反映](#)」手順をお試しください。

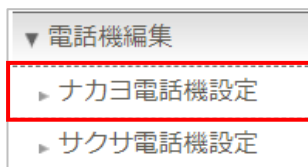
8. SIP 電話機（ナカヨ・サクサ）の設定

電話機の中の設定を呼び出し、書き換えて電話機に再度書き込む手順について説明します。

1. ナカヨ電話機の設定を変更する

内線番号毎に電話機の設定を行います。（例：転送や代理応答などの設定を行います。）

1. 設定画面内「電話機編集」の「**ナカヨ電話機設定**」をクリックします。



2. 「ナカヨ電話機設定」画面を表示します。

編集したい内線番号の**[編集]**をクリックします。

登録端末一覧

検索対象

※ :内線番号の電話機種類と一致しません。[編集]又は[詳細編集]より再度設定してください。

選択	親機	No.	内線番号	機種名称	IPアドレス	機能
☐		1	302	ST101A	192.168.10.201	[編集]
☐		2	305	SW101A	192.168.10.202	[編集]

■ 検索項目

項 目	説 明
検索対象	電話機を検索する条件を入力します。

■ 登録端末一覧

項 目	説 明
選択	設定反映を行う電話機を選択します。
親機	親機設定されている内線電話機を表示します。
No.	登録順に電話機を表示します。
内線番号	内線番号を表示します。
機種名称	電話機の名称を表示します。
IP アドレス	電話機の IP アドレスを表示します。
編集	電話機の設定画面へ移動します。

3. 以下の設定画面が表示されます。各項目を設定し、**[設定保存]**ボタンをクリックします。

端末設定管理	
ユーザID	302
時刻表示形式	12時間制
自己電話番号表示	表示する
待機画面選択	内線番号表示
コントラスト調整	2
バックライト設定	使用時点灯
送話音量	初期値(±0)
キー確認音	有効
スピーカからの保留音送出	送出する
電話帳利用区分	共通電話帳を利用する

【電話帳番号の確認方法】

1. 設定画面内「電話帳管理」の「電話帳の編集」をクリックします。
2. 電話帳編集画面で顧客を選択し、「編集」をクリックします。
3. 選択した顧客の登録情報が表示されます。「電話帳番号」を確認します。

◆プログラマブルキー設定
※本設定ではキー番号＝グループ番号の簡易設定を行うため、詳細画面設定/電話機側で設定された値が強制変更・非表示になる場合がありますのでご注意ください。

プログラマブルキー設定									
19	未使用 000	20	未使用 000	21	未使用 000	22	未使用 000	23	未使用 000
13	未使用 000	14	未使用 000	15	未使用 000	16	未使用 000	17	未使用 000
07	未使用 000	08	未使用 000	09	未使用 000	10	未使用 000	11	未使用 000
01	ラインキー 000	02	ラインキー 000	03	未使用 ワンタッチダイヤル 未使用	04	ワンタッチダイヤル 001	05	未使用 000
						06	未使用 000		

ワンタッチダイヤルを設定する際は、電話帳の電話帳番号を入力します。

設定保存 戻る

項 目	説 明
時刻表示形式	電話機画面の時刻表示形式を設定します。
自己電話番号表示	電話機画面に自己電話番号表示の有無を設定します。
待機画面選択	待機画面で表示される画面の設定をします。
コントラスト調整 ※	電話機画面のコントラスト(濃さ)を調整します。
バックライト設定 ※	電話機画面のバックライト点灯条件を設定します。
送話音量 ※	電話機の送話音量を調整します。
キー確認音	ボタン押下時の音の送出有無を設定します。
スピーカからの保留音送出	通話を保留した際、電話機のスピーカから保留音送出の有無を設定します。
電話帳利用区分	利用する電話帳区分を共通/個別から選択します。
プログラマブルキー設定	
ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤルの設定をします。

『※』は無線コードレス電話機では表示されません。

4. 以下の設定画面が表示されます。

設定を反映させる内線番号を選択し、**[設定保存]**ボタンをクリックします。

登録端末一覧

検索対象 ユーザーID

※ : 内線番号の電話機種類と一致しません。[編集]又は[詳細編集]より再度設定してください。

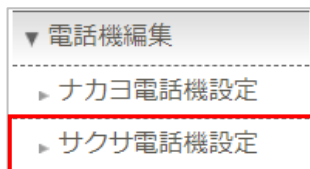
選択	親機	No.	内線番号	機種名称	IPアドレス	機能
☒		1	301	ST101B	192.168.0.91	[編集]
☐		2	304	ST101B	192.168.0.92	[編集]

以上で設定は完了です。

2. サクサ電話機の設定を変更する

内線番号毎に電話機の設定を行います。(例：転送や代理応答などの設定を行います。)

1. 設定画面内「電話機編集」の「**サクサ電話機設定**」をクリックします。



2. 「サクサ電話機設定」画面を表示します。
編集したい内線番号の**[編集]**をクリックします。

登録端末一覧

検索対象

※ :内線番号の電話機種類と一致しません。[編集]より再度設定してください。

選択	No.	内線番号	機種名称	IPアドレス	機能
☐	1	301	NP320(M)	192.168.10.203	[編集]
☐	2	304	WNP110(M)	192.168.10.204	[編集]

■ 検索項目

項 目	説 明
検索対象	電話機を検索する条件を入力します。

■ 登録端末一覧

項 目	説 明
選択	設定反映を行う電話機を選択します。
No.	登録順に電話機を表示します。
内線番号	内線番号を表示します。
機種名称	電話機の名称を表示します。
IP アドレス	電話機の IP アドレスを表示します。
編集	電話機の設定画面へ移動します。

3. 以下の設定画面が表示されます。

各項目を設定し、**[設定保存]**ボタンをクリックします。

端末設定編集

※ : NP320(SX II)に反映できない設定値

ユーザID	301
送話音量	初期値(±0) ▼
LCDバックライト	10秒 ▼
電話帳利用区分	共通電話帳を利用する ▼

フレキシブルキー設定											
19	空き ▼ 捕捉しない	20	空き ▼ 捕捉しない	21	空き ▼ 捕捉しない	22	空き ▼ 捕捉しない	23	空き ▼ 捕捉しない	24	空き ▼ 捕捉しない
13	空き ▼ 捕捉しない	14	空き ▼ 捕捉しない	15	空き ▼ 捕捉しない	16	空き ▼ 捕捉しない	17	空き ▼ 捕捉しない	18	空き ▼ 捕捉しない
07	空き ▼ 捕捉しない										
01	マルチライン 9501 61捕捉しない	02	マルチライン 9502 62捕捉しない	03	空き ▼ 空き ワンタッチ 短縮	04	ワンタッチ ▼ 1 捕捉しない	05	短縮 ▼ 02 捕捉しない	06	空き ▼ 捕捉しない

ワンタッチを設定する場合は、電話帳に登録したワンタッチ番号を入力します。

短縮を設定する場合は、電話帳に短縮登録した番号を入力します。

設定保存 戻る

項 目	説 明
送話音量	電話機の送話音量を調整します。
LCD バックライト	電話機画面のバックライト点灯条件を設定します。
電話帳利用区分	利用する電話帳区分を共通/個別から選択します。
フレキシブルキー設定	
ワンタッチ	ワンタッチの設定をします。
短縮	短縮の設定をします。

【ワンタッチ番号／短縮番号の確認方法】

1. 設定画面内「電話帳管理」の「電話帳の編集」をクリックします。
2. 電話帳編集画面で顧客を選択し、「編集」をクリックします。
3. 選択した顧客の登録情報が表示されます。
「ワンタッチ番号」／「短縮番号」を確認します。

4. 以下の設定画面が表示されます。

設定を反映させる内線番号を選択し、**[設定保存]**ボタンをクリックします。

登録端末一覧

検索対象 ユーザーID

※ : 内線番号の電話機種類と一致しません。[編集]又は[詳細編集]より再度設定してください。

選択	親機	No.	内線番号	機種名称	IPアドレス	機能
☒		1	301	ST101B	192.168.0.101	[編集]
☐		2	304	ST101B	192.168.0.102	[編集]

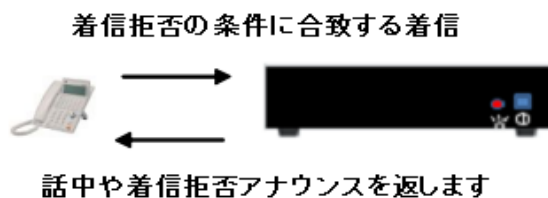
以上で設定は完了です。

9. 着信拒否/発信規制を設定する

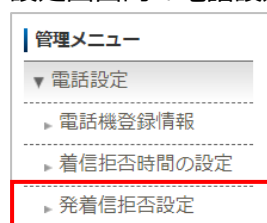
外部からの着信に対し、着信拒否を行いたい場合に設定します。

また、電話を掛けてはいけない相手に間違えて電話を掛けないように、発信を規制する設定も行えます。

例：非通知の電話は着信拒否にする、特定の番号からの着信は着信拒否にする、等



1. 設定画面内「電話設定」の「**発信拒否設定**」をクリックします。



2. 「発信番号拒否設定」画面が開きます。

「発信番号拒否設定」画面では、**着信拒否**と**発信規制**の設定が行えます。

登録件数は、最大 1,000 件まで登録が可能です。※SV-2 の場合は、最大 500 件までです。

● 発信番号拒否設定

分類	ITSP番号	①
電話番号	0319999999	
発信先番号条件	☒ 先頭一致 ☒ 完全一致 ☐ 部分一致	
発信先桁数	桁から100 桁まで	
対象発信元	☒ 全て ☐ 非通知 ☐ サービス競合 ☐ 公衆電話 ☐ 通知圏外 ☒ 番号指定 0355000000	
発信元番号条件	☒ 先頭一致 ☒ 完全一致 ☐ 部分一致	
発信元桁数	桁から100 桁まで	
着信動作	☒ 着信許可 ☐ エラーコード返送 486 ☒ アナウンス応答 着信拒否アナウンス1	

②

追加 修正 初期化 1 2 3
保存 即時反映

電話番号	発信先番号条件	発信先桁数	対象発信元	発信元番号条件	発信元桁数	着信動作	コマンド	③
0311110001	完全一致	～100	0355000000	先頭一致	～100	486	[編集][削除]	
0311110001	完全一致	～100	0355000000	先頭一致	～100	着信拒否アナウンス1	[編集][削除]	

①着信拒否や発信規制の設定の内容を入力します。

②入力した内容は[追加]、[保存]、[即時反映]ボタンにて、保存および即時反映します。
[初期化]ボタンで初期化します。

③保存した設定内容が一覧に表示します。上に位置している設定内容が優先されます。

※自分が発信する側か着信する側かで、発信先と発信元の意味が変わってきます。

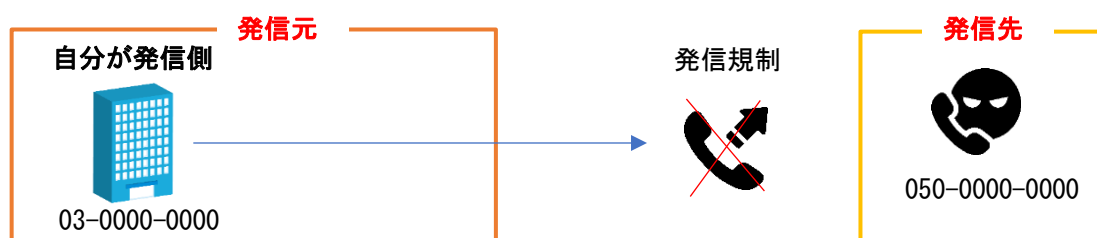
■着信拒否設定：掛かってくる電話に対して、着信拒否を設定する

この場合、「発信元」は電話を掛けてくる着信拒否をしたい相手の番号（050-0000-0000）、
「発信先」は電話を受ける自局の番号（03-0000-0000）となります。



■発信規制設定：指定した相手に、発信を行えないように発信規制を設定する

この場合、「発信元」は電話を掛ける際に利用する自局の番号（03-0000-0000）、
「発信先」は電話を掛けられないようにしたい相手の番号（050-0000-0000）となります。



「発着信番号拒否設定」画面の項目一覧

項 目	説 明
分類	分類を選択します。 ・ ITSP 番号：NTT ひかり電話や FUSION 番号、他機器との IP 通信の場合に選択します。 ・ ISDN/拠点間：PSTN（アナログ・ISDN 回線）、MOT/PBX+B での BRI 接続の場合に選択します。 ※「MOT/Bridge」は、通常利用しません。
電話番号	発信先の番号を入力します。 ■着信拒否設定の場合 着信を拒否したい自局番号を市外局番から入力してください。 空欄の場合は、ご契約のお電話番号全てに対して、着信拒否設定を適用します。 ■発信規制設定の場合 電話を掛けないようにする相手の番号を市外局番から入力してください。
発信先番号条件	「先頭一致」、「完全一致」、「部分一致」のいずれの条件で発信先番号の範囲を設定するかを選択します。 ※「先頭一致」、または「部分一致」を選択した場合は、「発信先桁数」項目も併せて設定が必要です。
発信先桁数	「発信先番号条件」項目で、「先頭一致」、または「部分一致」を選択した場合に、桁数の範囲を設定します。

対象発信元	『全て/非通知/サービス競合/公衆電話/通知圏外/番号指定』のいずれの条件で着信拒否を行うかを選択します。 1) 特定の番号を拒否したい場合は、「番号指定」を選択し、市外局番から着信を拒否したい電話番号を入力してください。 ■着信拒否設定の場合 着信を拒否したい相手の番号を市外局番から入力してください。 ■発信規制設定の場合 発信規制をする自局の番号を市外局番から入力してください。 ※「番号指定」を選択した状態で番号入力欄が未入力の場合、「全て」と同じ動作になります。 ※対象発信元として外線番号を指定する場合、6桁以下の番号を登録することはできません。 2) 非通知を拒否対象にしたい場合は、「非通知」を選択してください。 3) 公衆電話を拒否対象にしたい場合は、「公衆電話」を選択してください。
発信元番号条件	「先頭一致」、「完全一致」、「部分一致」のいずれの条件で発信元番号の範囲を設定するかを選択します。 ※「先頭一致」、または「部分一致」を選択した場合は、「発信元桁数」項目も併せて設定が必要です。
発信元桁数	「発信元番号条件」項目で、「先頭一致」、または「部分一致」を選択した場合に、桁数の範囲を設定します。
着信動作	拒否条件に該当する電話が着信した場合の動作を、選択します。 ・着信許可 拒否した番号に対して、一部のみ許可する場合に選択します。 例) 発信先：050-0000-0000 へはすべての着信を拒否する設定を登録、 ただし、「090-0000-0000」からの着信のみ許可 ※この場合、「着信許可」の設定を一覧表の一番上にして、優先順を高にします。 ・エラーコード返送 エラーコードを選択します。基本は、初期値の「486」を選択してください。 「486」を選択すると、拒否条件に該当する発信元側に、話中音が流れます。 ※「486」以外を選択した場合、回線事業者の自動ガイダンスが流れる場合があります、動作保証外となります。 ・アナウンス応答 着信拒否アナウンス 1～5 から選択します（以下、アナウンス応答表を参照）。 拒否条件に該当する発信元側に、選択したアナウンス応答が流れます。

■アナウンス応答表

着信拒否アナウンス	ガイダンス内容
着信拒否アナウンス 1	電話番号の前に 186 をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください
着信拒否アナウンス 2	貴方の番号を通知してお掛け直してください
着信拒否アナウンス 3	お客様のご都合により、通話ができなくなっています
着信拒否アナウンス 4	お客様のご要望により、おつなぎすることができません
着信拒否アナウンス 5	この電話は、お客様のご希望によりおつなぎ出来ません

3. 着信拒否や発信規制の設定内容を入力後、[追加]ボタンをクリックします。
クリックすると、一覧の一番下に表示されます。

例) 以下は、「050-0000-0000」(相手番号) から「03-0000-0000」(自局番号) に
電話が掛かってきた場合、着信を拒否する設定です。

分類	ITSP番号 ▼						
電話番号	0300000000						
発信先番号条件	☐ 先頭一致 ☒ 完全一致 ☐ 部分一致						
発信先桁数	桁から 100 桁まで						
対象発信元	☐ 全て ☐ 非通知 ☐ サービス競合 ☐ 公衆電話 ☐ 通知圏外 ☒ 番号指定 05000000000						
発信元番号条件	☐ 先頭一致 ☒ 完全一致 ☐ 部分一致						
発信元桁数	桁から 100 桁まで						
着信動作	☐ 着信許可 ☒ エラーコード返送 486 ▼ ☐ アナウンス応答 着信拒否アナウンス1 ▼						

追加
 修正
 初期化
 ↑
 ↓

保存
 即時反映

電話番号	発信先番号条件	発信先桁数	対象発信元	発信元番号条件	発信元桁数	着信動作	コマンド
0300000000	完全一致	~100	05000000000	完全一致	~100	486	[編集][削除]

発信先は、自分側
(自局番号)

発信元は、相手側
(着信を拒否する番号)

例) 以下は、「050-0000-0000」(相手番号) に電話を掛けた場合、発信を規制し、
発信できないようにする設定です。

分類	ITSP番号 ▼						
電話番号	05000000000						
発信先番号条件	☐ 先頭一致 ☒ 完全一致 ☐ 部分一致						
発信先桁数	桁から 100 桁まで						
対象発信元	☒ 全て ☐ 非通知 ☐ サービス競合 ☐ 公衆電話 ☐ 通知圏外 ☐ 番号指定						
発信元番号条件	☐ 先頭一致 ☒ 完全一致 ☐ 部分一致						
発信元桁数	桁から 100 桁まで						
着信動作	☐ 着信許可 ☒ エラーコード返送 486 ▼ ☐ アナウンス応答 着信拒否アナウンス1 ▼						

追加
 修正
 初期化
 ↑
 ↓

保存
 即時反映

電話番号	発信先番号条件	発信先桁数	対象発信元	発信元番号条件	発信元桁数	着信動作	コマンド
05000000000	完全一致	~100	全て	完全一致	~100	486	[編集][削除]

発信先は、相手側
(発信を規制する番号)

発信元は、自分側
(自局番号)

4. 設定内容を確認のうえ、**[追加]**ボタン→**[即時反映]**ボタンの順にクリックします。

※設定を反映するため、必ず**[即時反映]**ボタンもクリックしてください。

- ①**[追加]**ボタンをクリックします。
- ②「設定を保存しました。」のメッセージが表示されるので**[OK]**をクリックします。
- ③**[即時反映]**ボタンをクリックします。

以上で、着信拒否・発信規制の設定は完了です。

⚠ 注意事項

※通常、海外への発信規制の設定が初期で登録されております。

初期で登録されている以下の海外発信規制の設定3件（010、184010、186010）は削除しないようにお願いいたします。

電話番号	発信先番号条件	発信先桁数	対象発信元	発信元番号条件	発信元桁数	着信動作	コマンド
010	先頭一致	～100	全て	先頭一致	～100	486	[編集][削除]
184010	先頭一致	～100	全て	先頭一致	～100	486	[編集][削除]
186010	先頭一致	～100	全て	先頭一致	～100	486	[編集][削除]

10. 着信拒否時間を設定する

本メニューでは、内線番号ごとに、着信する曜日または時間帯の設定が可能です。

例えば、出勤形態がシフト勤務で社員ごとに勤務日や勤務時間が異なる場合に、それぞれの勤務に応じて着信する曜日および時間帯を設定することで、それ以外の時間帯は着信を拒否する時間帯とします。

また、スマートフォンアプリ側で、着信する曜日および時間帯の設定変更を可能にする設定も行えます。

※本メニュー対応アプリ：MOT/Phone(Android 版 v9.8.0 以降)、
MOT/Phone+(iPhone 版 v2.3.0 以降)

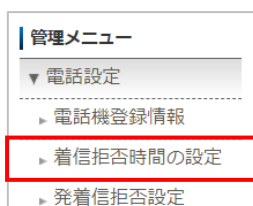
＜他機能との併用利用について＞

- ・「スケジュール管理」と併用する場合、本機能よりも「スケジュール管理」の設定が優先されます。
- ・スマートフォンの MOT/Phone アプリ側にある着信拒否設定と併用する場合、アプリ側の着信拒否設定が優先されます。

※以下、優先される順番です

MOT/Phone アプリ側にある着信拒否設定 ＞ 「スケジュール管理」 ＞ 本機能「着信拒否時間」

1. 設定画面内「電話設定」の「**着信拒否時間の設定**」をクリックします。



2. 「着信拒否時間の設定」画面を開きます。

管理メニュー

▼ 電話設定

▶ 電話機登録情報

▶ **着信拒否時間の設定**

▶ 発信拒否設定

CSVエクスポート

CSVインポート

ファイルを選択

選択されていません

CSVインポート完了(28件)

アプリからの設定変更を許可 ☒ する ☐ しない

設定

<<< 1 / 1 (総件数: 28) >>>

ページへ移動

内線番号	内線名称	現在の設定	有効・無効	着信可能時間	月	火	水	木	金	土	日	祝	時間内着信拒否	操作
811	オフィス太郎	非通知	無効	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全解除	編集
813	オフィス花子	内線	無効	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全解除	編集
820		全解除	無効	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全解除	編集

■ 項目一覧：内線番号ごとに以下の項目を表示します。

項目	説明
内線番号	PBX 管理画面側で、MOT/Phone Android 版 (Android(P)) と MOT/Phone+ (iPhone(P2)) を対応機種として登録している「内線番号」を表示します。 ※PBX 管理画面側で、MOT/Phone Android 版(Android(P))と MOT/Phone+ (iPhone(P2)) を対応機種として登録している内線番号を削除、または他機種に変更した場合は、本画面から非表示になります (即時反映)。
内線名称	PBX 管理画面側で登録している「内線名称」を表示します。
現在の設定 ※1	MOT/Phone アプリの現在の状況を表示します。

有効・無効	以下、どちらかを表示します。 ・有効：本機能を利用している状態 ・無効：本機能を利用していない状態 ※「時間内着信拒否」の設定は除く
着信可能時間	着信可能時間として設定した時間帯を表示します。
月～祝	本設定を有効としている曜日・祝日に、○を表示します。
時間内着信拒否 ※1	着信可能時間内の着信拒否設定を表示します。
操作	編集 をクリックすると、内線番号別に着信可能時間の設定画面を表示します。

※1 「現在の設定」「時間内着信拒否」項目は、以下 8 通りのいずれかで表示します。

全解除：着信拒否の設定なし、**内線拒否**：内線のみ着信拒否、

外線拒否：外線のみ着信拒否、**内線・外線拒否**：内線と外線の着信拒否、

非通知拒否：非通知のみ着信拒否、**内線・非通知拒否**：内線と非通知の着信拒否、

外線・非通知拒否：外線と非通知の着信拒否、**全て拒否**：内線/外線/非通知すべて着信拒否

3. [編集](#)をクリックすることで、該当の内線番号に対して、着信可能時間の設定が行えます。

「曜日」「着信可能時間」で設定した時間以外は、着信を受け付けない「着信拒否状態」となります。

着信拒否時間の設定

CSVエクスポート CSVインポート ファイルを選択 選択されていません CSVインポート完了(28件) アプリからの設定変更を許可 ☒ する ☐ しない 設定

<<< 1 / 1 (総件数: 28) >>> ページへ移動

内線番号	内線名称	現在の設定	有効・無効	着信可能時間	月	火	水	木	金	土	日	祝	時間内着信拒否	操作
811	オフィス太郎	非通知	無効	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全解除	編集
813	オフィス花子	内線	無効	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全解除	編集

着信可能時間を設定します

内線番号 811
内線名称 オフィス太郎
現在の設定 ☐ 有効 ☒ 無効
着信可能時間 00 : 00 ~ 00 : 00
曜日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土 ☐ 日 ☐ 祝
時間内着信拒否 ☐ 内線 ☐ 外線 ☐ 非通知
保存 戻る

■入力項目一覧

項目	説明
現在の設定	■有効 本機能を利用する場合に選択します。 「着信可能時間」「曜日」項目で設定した曜日の時間帯に着信します。 ■無効 本機能を利用しない場合に選択します。 「着信可能時間」「曜日」項目の設定内容は無効とし、通常通り着信します。 ※ただし、「時間内着信拒否」項目は、「無効」の対象外です。 有効/無効に関わらず、チェックがある場合は、対象の着信を拒否します。 ※設定を無効に切り替えた場合、5分単位の間隔で反映処理が行われます。 (例：*時 5 分、10 分、15 分・・・55 分) 即時反映ではございませんのでご注意ください。
着信可能時間	着信を可能とする時間帯を選択してください。 ※日を跨ぐ設定は行えません。 開始時間 < 終了時間となるように設定してください。

曜日	着信を可能とする曜日を選択してください。
時間内 着信拒否	「着信可能時間」、「曜日」項目で設定した着信可能時間内で、着信を拒否したい対象がある場合に選択してください。 例) 「月～金曜日」の「09:00～18:00」を着信可能時間とするが、その着信可能時間の間、「外線着信は受けないようにしたい」場合 ➡「時間内着信拒否」項目で、「外線」にチェックをつけます。 ※本項目は、「現在の設定」項目の有効/無効は対象外です。 「現在の設定」項目が無効でも、「時間内着信拒否」項目でチェックをつけている対象の着信を拒否します。

※「内線番号」と「内線名称」は、編集不可です。

※「着信可能時間」を設定しても、「曜日」に何もチェックがなく未選択の場合は、本機能は未設定と判断し、着信時間を制限しません（通常通り、どの時間でも着信する状態）。

本機能を設定する際は、必ず「曜日」にチェックを入れてください。

※「着信可能時間」の開始時間になった時点で着信状態が開始し、終了時間が終わった時点で着信状態が終了します。

例) 着信可能時間を「09:00～17:30」と設定した場合、09:00 になった時点で着信状態を開始し、17:30 が終わった時点（= 17:31 になった時点）で着信状態が終了となります。

内容を入力後、**[保存]**ボタンを押し、「保存しました。」のメッセージが表示されたら設定完了です。



保存後、**[戻る]**ボタンを押して、一覧に戻り、設定内容が表示されていることをご確認ください。

内線番号	内線名称	現在の設定	有効・無効	着信可能時間	月	火	水	木	金	土	日	祝	時間内着信拒否	操作
811	オフィス太郎	非通知	有効	09:00 - 18:00	-	○	-	○	-	-	-	-	非通知	編集
813	オフィス花子	内線	無効	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全解除	編集

«設定内容が MOT/Phone アプリ側に反映されるタイミング»

設定後に訪れる着信可能時間の「開始時間」または「終了時間」のタイミングで、設定が適用されます。

例) 着信可能時間を「09:00～17:30」、曜日を「月・水・金」の内容で設定

■パターン 1. 月曜の 10:00 に上記を設定した場合

設定した時点で「開始時間 09:00」は過ぎているため、当日月曜の「終了時間 17:30」から設定が適用されます。

■パターン 2. 金曜の 18:00 に上記を設定した場合

設定した時点で当日金曜の「終了時間 17:30」は過ぎているため、次に訪れる着信可能時間の「開始時間」= 次の週の月曜「開始時間 09:00」から設定が適用されます。

<CSV ファイルで取り込みする場合>

画面左上の[CSV エクスポート][CSV インポート]ボタンにて、「着信可能時間の設定」を CSV ファイルで出力、および CSV ファイルでの取込が行えます。

前項 3.の内線番号ごとの着信可能時間の設定を、本機能の CSV ファイルを利用することにより、一括で設定することができます。

① 着信拒否時間の設定

① CSVエクスポート ② CSVインポート ファイルを選択 選択されていません

アプリからの設定変更を許可 ☒ する ☐ しない 設定

<<< 1 / 1 (総件数: 28) >>> ページへ移動

内線番号	内線名称	現在の設定	有効・無効	着信可能時間	月	火	水	木	金	土	日	祝	時間内着信拒否	操作
811	オフィス太郎	非通知	有効	09:00 - 18:00	-	○	-	○	-	-	-	-	非通知	編集
813	オフィス花子	内線	無効	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全解除	編集
820		全解除	無効	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全解除	編集

① CSV エクスポート

[CSV エクスポート]ボタン押下で、画面に表示されている情報を CSV ファイルで出力します。

インポートする場合は、CSV ファイルに着信可能時間の設定内容を入力し、ファイルを保存します。

※CSV ファイルでの取込は、あくまでも一覧にある内線番号に対する設定で、内線番号自体の追加や削除は行えませんのでご注意ください。

※CSV ファイルでの取込は、設定対象の内線番号に対して内容を入力し、設定を行わない内線番号は、削除などをせず、そのまま CSV ファイル上に残してください。行を削除して取込をした場合、削除した内線番号の設定内容は消えて、未設定状態に戻ってしまいますのでご注意ください。

<CSV ファイル イメージ>

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA
1	内線番号 内線名称	有効・無効	着信可能時間(%)	着信可能時間(終)	月	火	水	木	金	土	日	祝	時間内着信拒否(全解除)	内線拒否(1)	外線拒否(2)	内線・外線拒否(3)	非通知拒否(4)	内線・非通知拒否(5)	外線・非通知拒否(6)	全て拒否(7)						
2	811 オフィス太郎	1	9:00	18:00			1		1																	
3	813 オフィス花子																									
4	820																									

C 列～N 列が入力項目です。

※A 列「内線番号」と B 列「内線名称」項目は、編集不可の項目です。

■ CSV ファイル項目一覧

出力した CSV ファイルに、設定する内容を入力します。 ※半角で入力

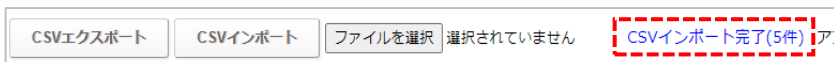
列	項目	説明
C 列	有効・無効	有効（本機能を利用）、無効（本機能を利用しない）のどちらか入力 ・有効：1 を入力 ・無効：0 を入力 ※空欄＝「0 を入力」と同じ処理
D 列	着信可能時間(始)	着信可能時間の開始時刻を HH:mm 形式、5 分単位で入力(例 08:30)
E 列	着信可能時間(終)	着信可能時間の終了時刻を HH:mm 形式、5 分単位で入力(例 17:35)
F～M 列	月～祝	・チェックあり：1 を入力 ・チェックなし：0 を入力 ※空欄＝「0 を入力」と同じ処理
N 列	時間内着信拒否	・着信可能時間内で、着信を拒否する対象の値（0～7）を選択して入力 全解除(0)、内線拒否(1)、外線拒否(2)、内線・外線拒否(3)、非通知拒否(4)、内線・非通知拒否(5)、外線・非通知拒否(6)、全て拒否(7) ※空欄＝「0 を入力」と同じ処理

②CSV インポート

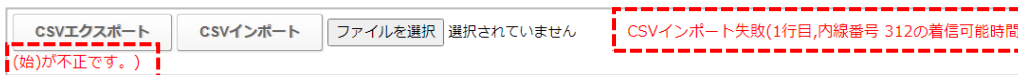
[**ファイルを選択**]ボタンを押してファイルを選択後、[**CSV インポート**]ボタンを押すことで、CSV ファイルを取り込みます。

CSV ファイルを取り込み後、インポート結果を表示します。

＜成功＞



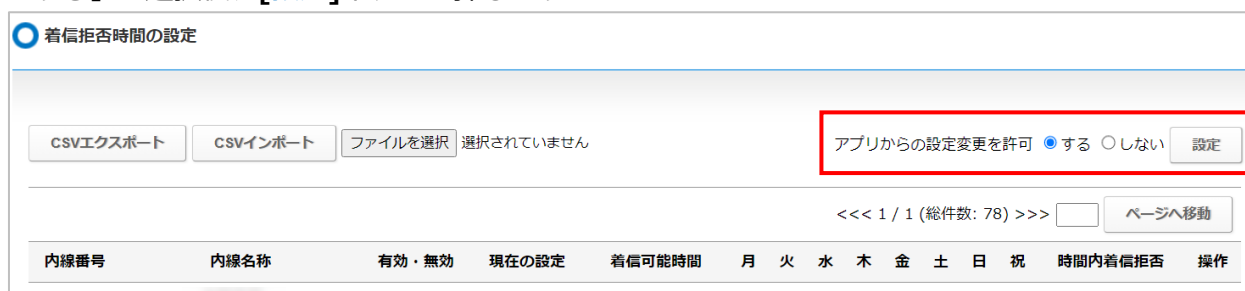
＜失敗＞ 対象の行数や内線番号を表示します（複数ある場合は、一番上の行数を表示）。



＜スマートフォンアプリ側で、着信する曜日および時間帯の設定を変更可能にする場合＞

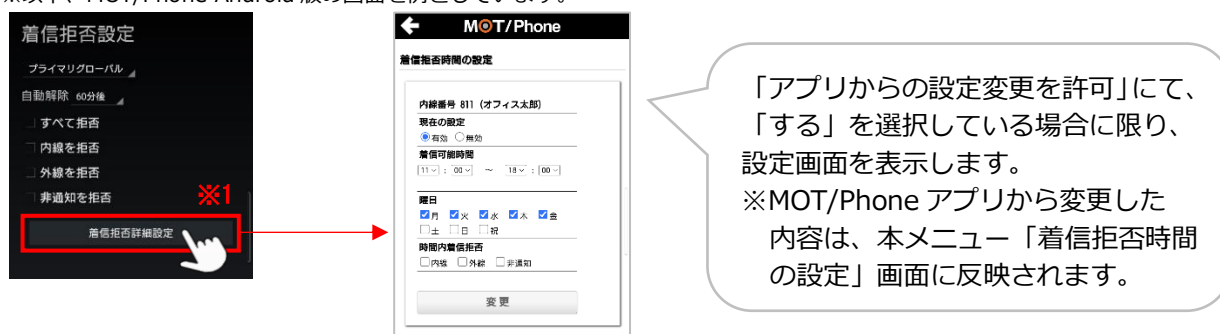
画面右上の「**アプリからの設定変更を許可**」で「**する**」を選択した場合、MOT/Phone アプリ側から本メニューで設定した着信可能時間/曜日の確認および、設定変更が可能になります。

「する」を選択後、[**設定**]ボタンを押します。



＜MOT/Phone アプリ スマートフォン画面イメージ＞

※以下、MOT/Phone Android 版の画面を例としています。



着信拒否設定画面の[着信拒否詳細設定]ボタンをタップし、「着信拒否時間の設定」画面を表示します。

※1 スマートフォンに[着信拒否詳細設定]ボタンを表示するには、MOT/Phone アプリ側で別途設定が必要です。詳細は、MOT/Phone の各ユーザーマニュアルをご参照ください。

■MOT/Phone Android 版の場合

設定＞電話設定＞着信動作設定＞着信拒否設定＞「着信拒否の処理」で「PBX で処理」を選択
＞「着信拒否設定(PBX)」＞「自動解除設定を利用」をオン

■MOT/Phone + iPhone 版の場合

設定＞着信動作設定＞「着信拒否時間の設定表示」をオン

11. コールバック機能を使って発信する

携帯電話から MOT/PBX の電話番号を利用して発信する機能です。

発信は MOT/PBX の電話番号を利用するので携帯電話の通話料金はかかりません。

予め登録した携帯電話（※）から MOT/PBX に発信し 設定した秒数以内に切断します。

自動で MOT/PBX から携帯電話に折り返しがきますので電話に出ます。

通話開始後、「プププ・・・」と音が鳴りますので、発信先の番号をダイヤルし、最後に # を押します。

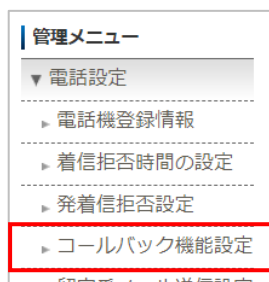
発信先は、外線番号、内線番号共に発信可能です。

※外線発信を行う場合は、あらかじめ工事者設定が必要です。

※内線へのみ発信する場合は、初期設定のままご利用いただくことができます。

※本項では、コールバックを使用する携帯電話番号の設定や、その他コールバック機能の設定を行います。

1. 設定画面内「電話設定」の「**コールバック機能設定**」をクリックします。



2. 「コールバック機能設定」画面が開きます。
未設定の場合は、全ての番号に適応されます。

呼び返しタイマ	10 秒
発信者許可番号	
コールバック用番号	
内線番号	

追加 修正 初期化 ↑ ↓

保存 即時反映

未設定の場合、全ての番号に適応されます。

3. 設定をする場合は、「コールバック機能設定」画面で、以下の設定を行ってください。

① 呼び返しタイマ 10 秒

② 発信者許可番号 09012345678

③ コールバック用番号 031

④ 内線番号 400

⑤ 追加 修正 初期化 保存 即時反映

⑥

発信者許可番号	コールバック用番号	内線番号	コマンド
09012345678	0311112222	400	[編集][削除]

未設定の場合、全ての番号に適用されます。

- ①「呼び返しタイマ」にてコールバック要請と認識するコールを何秒以内の切断とするか設定します。※10 秒以下を推奨。
- ②コールバック機能を利用する携帯電話の番号を入力します。
- ③コールバック機能用の電話番号（MOT/PBX シリーズ の電話番号）を設定します。
- ④「400」を設定します。
- ⑤[追加]ボタンをクリックします。設定内容を確認の上、[保存]ボタン、[即時反映]ボタンの順にボタンをクリックします。※設定を反映するため、必ず反映ボタンを押してください。

以上で設定は完了です。

発信者許可番号に登録された電話番号（携帯電話）より「コールバック用電話番号」に発信、呼び返しタイマの秒数内に切断すると、折り返し電話がかかります。着信後、発信先の番号をダイヤルし、最後に#を押すことで、MOT/PBX を経由して発信されます。

項 目	説 明
①呼び返しタイマ	設定された秒数以内の着信切断に対しコールバックを行います。 ※10 秒以下を推奨。
②発信者許可番号	コールバック機能を利用する携帯電話の番号を入力します。
③コールバック番号	コールバック機能用の電話番号（MOT/PBX シリーズ の電話番号）を設定します。
④内線番号	「400」を設定します。
⑤各種適用ボタン	「追加」 着信拒否の判定条件を追加します。 「修正」 設定情報を修正します。 「初期化」 コールバック機能設定を初期化します。 「保存」 コールバック機能設定を保存します。 「即時反映」 コールバック機能設定を反映させます。
⑥コールバック機能 設定一覧	登録済みのコールバック機能設定一覧を表示します。

12. 音声会議を利用する

ご利用の内線電話機で音声会議を利用することができます。

※会議通話の利用にはソフトウェアライセンス契約が必要です。

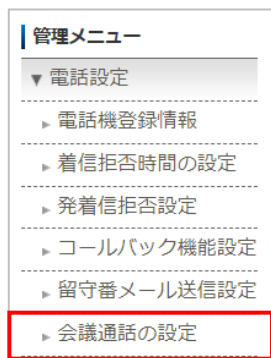
MOT/PBX シリーズ内に会議室を作成し、各内線電話から会議室番号に電話をかけると会議室に入室します。

入室中のメンバーは音声会議を行うことができます。

※会議室番号は工事者設定が必要です。

本項では MOT/PBX シリーズ内の会議室利用設定について説明します。

1. 設定画面内「電話設定」の「**会議通話の設定**」をクリックします。



2. 「会議通話の設定」画面で、以下処理を行ってください。

会議室番号	パスワード	入退室の通知	状態
411	☐ 無効 ☒ 有効 123	☒ 通知する	利用可能
	☒ 無効 ☐ 有効	☐ 通知する	利用不可
	☒ 無効 ☐ 有効	☐ 通知する	利用不可
	☒ 無効 ☐ 有効	☐ 通知する	利用不可
	☒ 無効 ☐ 有効	☐ 通知する	利用不可

① 会議通話の利用 ☒ 利用する ☐ 利用しない

④ 設定 更新

①「会議通話の利用」は、「**利用する**」を選択します。

②会議室番号に対し、「**有効**」を選択します。

また、会議への入出時に必要なパスワードを設定します。

③「入退室の通知」にて「通知する」に設定した場合は、入室時に「お名前」の録音を行います。

④[**設定**]ボタンをクリックします。

以上で MOT/PBX シリーズ内にて会議室を利用する設定が完了です。

【グループ通話の利用方法】

- 1.内線電話から会議室番号に電話を掛けます。
※上記例の場合、会議室番号は「411」なので「411」に発信します。
※会議室番号はお客様ごとに異なります。「会議通話の設定」画面にて
会議室番号をご確認ください。
- 2.パスワードを設定されている場合は、パスワードを入力します。
- 3.MOT/PBX シリーズの会議室機能が応答します。
「入退室の通知」にて「通知する」に設定した場合は、お名前の録音を促されるので、
名前を言って「#」を入力します。
- 3.以上で入室が完了します。入室済みのメンバーと多人数の会話（音声会議）ができます。

13. 聴話・囁きを利用する

聴話、囁き機能は、外線通話の内容を他の内線端末から聞く、または通話者(MOT/PBX 内線側)にのみ聞こえるように指示を出すことができる機能です。

※聴話機能を利用するためには MOT/PBX 設置時の事前設定が必要です。

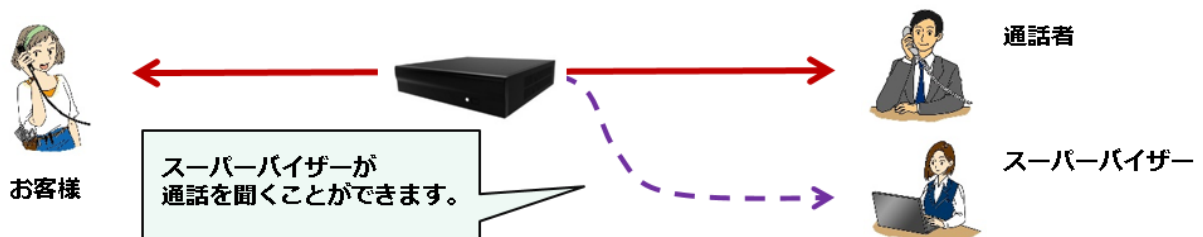
※聴話機能と通話録音機能との併用利用はできません。

併用利用する場合は、外付け通録アダプタが必ず必要です。

※S-V2、M-V3+B では利用はできません。

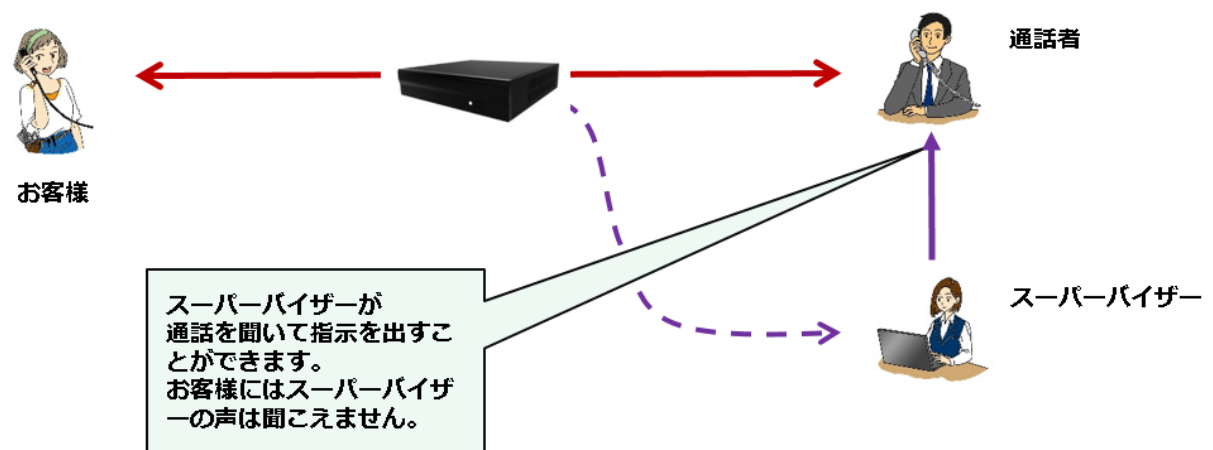
■聴話イメージ

スーパーバイザーが通話を聞く



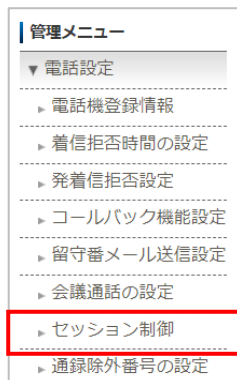
■囁きイメージ

スーパーバイザーが通話者に対して指示を出す



1. USR 画面で聴話・囁きを利用する

1. 設定画面内「電話設定」の「セッション制御」をクリックします。



2. 「セッション制御」画面では、通話中の内線番号、相手番号情報を表示します。

セッション制御			
発信者番号	着信者番号	聴話番号	操作
815 (オフィスー郎)	090	999008	聴話/囁き
080	322	999016	聴話/囁き
検索 呼び返し番号:			

- ① 発信者番号：通話中の発信者側の番号を表示します。
- ② 着信者番号：通話中の着信者側の番号を表示します。
- ③ 検索欄：検索対象の「発信者番号」、または「着信者番号」を入力し、[検索]ボタンを押下すると、該当する番号の通話中データを表示します。

例) 上図の場合、

- 1 列目は、内線番号 815 が、090*****に電話を掛けた通話中の状態を表します。
- 2 列目は、内線番号 322 が、080*****からの電話を受けた通話中の状態を表します。

＜聴話/囁きを利用する＞

3. 「セッション制御」画面では、通話中の内容を聞く「聴話機能」や、通話者へ指示を出す「囁き」機能を利用することができます。

※内線通話は、聴話/囁きは行えません。

■ 聴話/囁きの操作手順

- ① 「呼び返し番号」に、聴話、または囁きを行う内線番号を入力します。
 ※聴話/囁きを行う内線番号は、PBX に接続している電話機（MOT/Phone やナカヨ・サクサ 電話機）が対象です。
- ② 聴話と囁き、動作を実行する方を選択します。
 - ・聴話：通話の内容を聞くことができます。
 - ・囁き：通話の内容を聞き、さらに通話者（内線側）に対して指示を出すことができます。
 ※通話相手のお客側には、声は聞こえません。
- ③ 聴話/囁き、どちらかをクリックすると、「呼び返し番号」に入力した内線番号宛てに「0311111111」から着信します。
 着信に応答することで、聴話、または囁きを開始します。

例) 上図の場合、
 内線番号 814 (Windows 版 MOT/Phone 利用) のユーザーが、
 通話中の内線番号 815 の通話に対して、聴話、または囁きを行います。

※通話が終了しても聴話または、囁きを行っていた内線端末は自動で通話終了にならないため、
 手動で通話終了ボタンをクリックして聴話、または囁きを終了してください。

2. 特番ダイヤルで聴話・囁きを利用する

内線端末から特番を利用して聴話または、囁きを利用することも可能です。

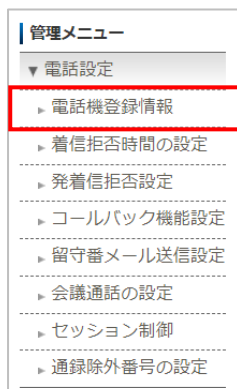
内線端末から聴話・囁きを行う場合	
聴話	* 1 1 + 聴話をする内線番号
囁き	* 1 2 + 囁きをする内線番号
利用例 内線番号 3 0 1 の通話で聴話を利用する場合 * 1 1 + 3 0 1 決定/発信ボタン押下 内線番号 8 0 1 の通話で囁きを利用する場合 * 1 2 + 8 0 1 決定/発信ボタン押下	

14. 内線の登録状況を確認する

MOT/PBX に登録されている内線電話機情報を確認できます。

また、端末側でサーバ登録が成功し、利用状態になっている内線番号も確認することができます。

1. 設定画面内「電話設定」の「電話機登録情報」をクリックします。



2. MOT/PBX に登録されている内線番号の電話機情報を表示します。

- ① **[更新]** ボタンをクリックすると、表示情報を更新します。

※電話機端末の電源が落ちている場合でも、しばらくの間、内線番号が残っていることがあります（端末によって画面から削除されるまでの時間は異なります）。

- ② **[CSV 出力]** ボタンをクリックすると、表示している電話機登録情報を CSV 出力します。

- ③ 複数ページがある場合、表示したいページ数を入力し、**[ページへ移動]** ボタンをクリックすると、入力したページに移動します。

電話機登録情報				
更新		CSV出力		内線数: 29 <<< 1 / 1 >>> ページへ移動
内線番号	名称	電話機種類	最終登録日時	User-Agent
303		NAKAYO ST101C	2023/03/27 16:14:44	CT013-SIP/3.0
304	オフィス一郎	MOT/iPhone(Push2)	2023/03/16 17:56:49	MOT-Phone-2-2.6.1/iPhone8-docomo(16.0.2)
305	オフィス太郎	MOT/Phone	2023/03/24 18:10:26	MOT/Phone Windows 6.12.1
306	オフィス花子	NAKAYO ST101A	2023/03/14 18:59:15	CT013-SIP/3.0
307		saxa NetPhoneSX II		

項目	説明
内線番号	内線番号を表示します。
名称	内線名称が登録されている場合は、内線名称を表示します。
電話機種類	MOT/PBX にて設定している電話機種別を表示します。
最終登録日時	端末側でサーバ登録が成功した最終日時を表示します。
User-Agent	端末側でサーバ登録が成功し、内線が利用できる状態になっている内線番号を対象に、システムの内部的な電話機の名前、アプリケーションバージョン、OS のバージョンを表示します。

1. 顧客情報を登録する

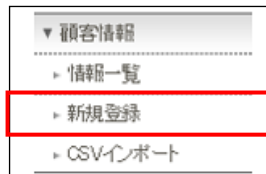
顧客情報を 1 件ずつ登録する場合は、以下の手順にて登録を行います。

※以下の設定を実施後、即時に反映されます。

※顧客情報は最大 10,000 件まで登録できます。

※顧客情報をまとめて登録する場合は「[顧客情報を CSV ファイルで一括取り込みする](#)」の項をご確認ください。

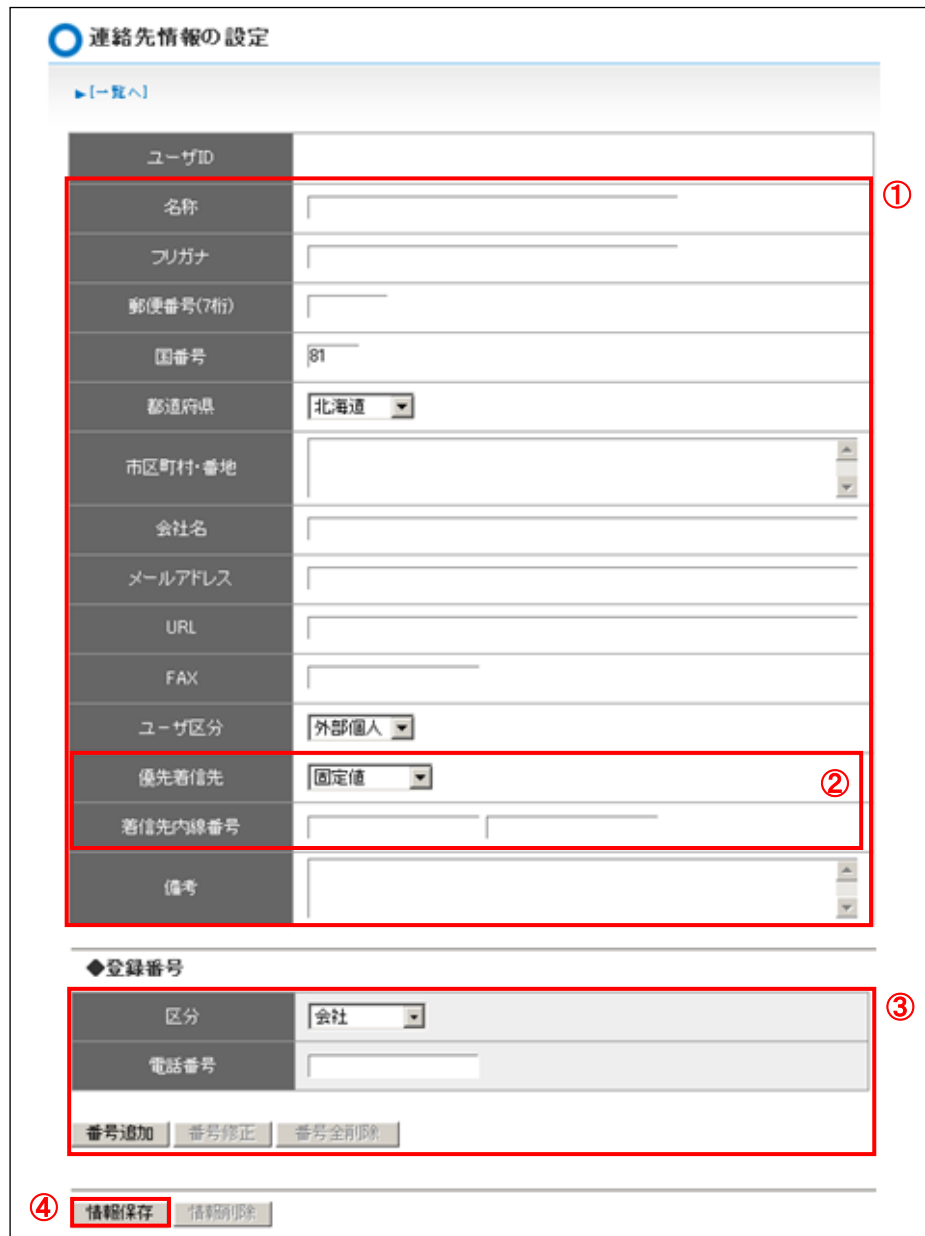
1. 設定画面内「顧客情報」の「**新規登録**」をクリックします。



▼ 顧客情報

- ▶ 情報一覧
- ▶ **新規登録**
- ▶ CSVインポート

2. 「連絡先情報の設定」画面で、以下の設定を行ってください。



○ 連絡先情報の設定

▶ [一覧へ](#)

ユーザID	
名称	
フリガナ	
郵便番号(7桁)	
国番号	81
都道府県	北海道
市区町村・番地	
会社名	
メールアドレス	
URL	
FAX	
ユーザ区分	外部個人
優先着信先	固定値
着信先内線番号	
備考	

◆登録番号

区分	会社
電話番号	

番号追加 番号修正 番号全削除

④ 情報保存 情報削除

- ①顧客情報を入力します。
- ②「優先着信先」項目を設定すると、誰に優先的に着信するか設定できます。
特に指定がない場合は「優先着信先：固定値」、「着信先内線番号：空欄」にて設定します。
- ③「区分」「電話番号」を入力後、**[番号追加]**ボタンをクリックします。
複数個の電話番号（例：固定電話と携帯電話など）を登録する場合は、
次の「区分」「電話番号」を入力後に、**[番号追加]**ボタンをクリックすることで複数登録が可能です。
- ④顧客情報を入力し、「区分」「電話番号」を入力後、**[情報保存]**ボタンをクリックします。

以上で、顧客情報の新規登録は完了です。
登録した顧客情報は、情報一覧で確認できます。

◆顧客情報 *は入力必須項目です。

項 目	説 明	
ユーザ ID	保存時に自動的に ID が割り振られます。	
名称*	顧客名称を入力します。	
フリガナ	名称のフリガナを入力します。	
郵便番号	所在地の郵便番号（数値 7 桁）を入力します。	
国番号	所在地の国番号を入力します。（初期値：81[日本]）	
都道府県	所在地の都道府県を選択します。海外等の場合は[その他]を選択します。	
市区町村・番地	所在地の都道府県以降の住所を入力します。	
会社名	顧客の会社名を入力します。	
メールアドレス	メールアドレスを入力します。	
URL	サイトの URL を入力します。	
FAX	FAX 番号を入力します。	
ユーザ区分	顧客の区分を選択します。	
	外部会社	取引先等、自社以外の組織の場合に選択します。
	外部個人	社外の個人の情報の場合に選択します。
	内部会社	自社の関連会社等の場合に選択します。
	内部個人	社内の個人の情報の場合に選択します。
優先着信先	優先着信先の設定を行います。	
	固定値	[着信先番号]に入力した内線番号に優先着信します。
	前回着信先	最終通話した内線番号に優先着信します。 ※基本設定の最終通話者判定の設定によりキャンセルを含めます。
	自動判定	前日までの通話回数によって、優先着信する内線番号を自動判定します。
備考	備考を入力します。	
[情報保存]ボタン*	画面の入力情報をデータベースに保存します。	

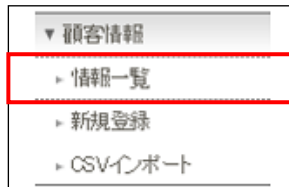
◆登録番号

項 目	説 明
区分	電話番号の区分を選択します。 会社/自宅/携帯(会社)/携帯(個人)/IP フォン/PHS
電話番号*	電話番号を入力します。
番号追加ボタン	入力した電話番号を追加します。 情報は、[情報保存]ボタンをクリックした時点で反映されます。
番号修正ボタン	一覧で指定した電話番号情報を修正します。 情報は、[情報保存]ボタンをクリックした時点で反映されます。
番号全削除ボタン	登録された電話番号情報をすべて削除します。 情報は、[情報保存]を押した時点で反映されます。
[編集]リンク	指定の電話番号情報を編集するために画面に表示します。
[削除]リンク	一覧から電話番号を削除します。 情報は、[情報保存]ボタンをクリックした時点で反映されます。
[情報保存]ボタン*	画面の入力情報をデータベースに保存します。

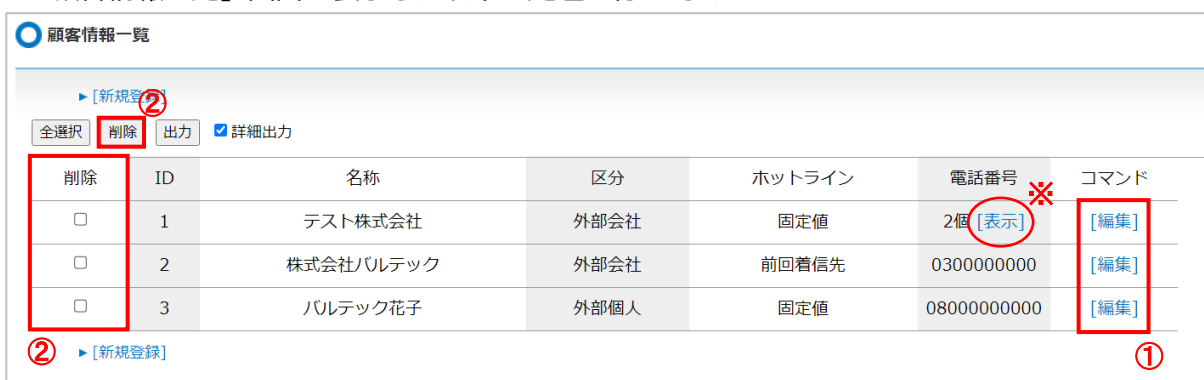
2. 登録済みの顧客情報を確認・編集・削除/CSV 出力する

MOT/PBX シリーズに登録済みの顧客情報を確認・編集（修正／削除）・出力します。

1. 設定画面内「顧客情報」の「**情報一覧**」をクリックします。



2. 「顧客情報一覧」画面を表示し、以下の処理を行ってください。



- ①各顧客の **[編集]** をクリックすると、当顧客の情報編集画面へ移動します。
- ②削除したい顧客情報を **チェック** し、**[削除]** ボタンをクリックすると一斉削除します。

■ 情報一覧画面の項目

項 目	説 明
削除	削除したい顧客情報をチェックし、 [削除] ボタンを押すと一斉削除します。
出力	顧客情報に登録されている情報を CSV 出力します。
詳細出力	顧客情報に入力されている全情報を CSV 出力します。
名称	顧客の登録名称を表示します。
区分	ユーザ区分を表示します。 外部会社・外部個人・内部会社・内部個人
ホットライン	優先着信の設定を表示します。 固定値・前回着信先・自動判定
電話番号	登録電話番号を表示します。 複数登録がある場合はその個数と、番号表示用の [表示] リンクを表示します。 ※ [表示] をクリックすると、その顧客の登録電話番号をすべて表示します。 2個 [表示] → 2個 [表示] 03000000001,090000000001,
[編集]リンク	当顧客の情報編集画面へ移動します。
[新規登録]リンク	顧客情報の新規登録画面へ移動します。

3. 顧客情報を CSV ファイルで一括取り込みする

CSV ファイル取込にて、顧客情報を一括で取り込むことができます。

※MOT/Cloud との外部連携を行っている場合、インポート（取込）機能はご利用いただけません。

※顧客情報は最大 10,000 件まで登録可能です。

取込の結果、10,000 件目以降の顧客情報は保存されません。

1. CSV のテンプレートを設定する

保守機能内「CSV テンプレート管理」よりテンプレートを設定します。



2. CSV のテンプレートをダウンロードする

電話帳管理内「電話帳の反映」より各電話機へ電話帳を反映します。



3. 顧客情報の CSV ファイルを作成する

ダウンロードしたテンプレートファイルを開き、お客様情報を入力します。



4. 顧客情報の CSV ファイルを取り込む（インポートする）

顧客情報内「CSV インポート」より CSV ファイルを取り込みます。

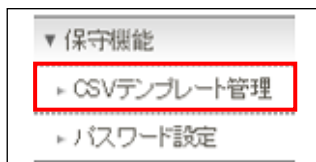
手順 1. CSV のテンプレートを設定する

保守機能内「CSV テンプレート管理」よりテンプレートを設定します。

【テンプレートを新規設定し、顧客情報を登録する場合】

（顧客情報 CSV ファイルをエクセルに手打ちして作成する場合）

1. 設定画面内「保守機能」の「**CSV テンプレート管理**」をクリックします。



2. 「CSV テンプレート管理」画面で、システム設定、CSV 列番号設定（ユーザ情報）、CSV 列番号設定（電話番号情報）の各項目を入力し、**【新規登録】**ボタンをクリックします。

CSVテンプレート管理

No.	システム名	コマンド
1	GMail	[編集][削除] [テンプレートファイル出力]
100	CTIバックアップファイル	

◆システム設定

システム名	顧客データ新規登録
CSV文字コード	SJIS
データ開始行	1

◆CSV列番号設定(ユーザ情報) ※最左列を1とする。

1 ユーザID	1	7 会社名	7
2 名称	2	8 メールアドレス	8
3 フリガナ	3	9 URL	9
4 郵便番号	4	10 FAX	10
5 国番号	5	11 備考	11
6 住所	6		

◆CSV列番号設定(電話番号情報) ※最左列を1とする。

1 電話番号(優先度1)	12	携帯(個人)
2 電話番号(優先度2)	13	会社
3 電話番号(優先度3)	14	自宅
4 電話番号(優先度4)		会社
5 電話番号(優先度5)		会社
6 電話番号(優先度6)		会社
7 電話番号(優先度7)		会社
8 電話番号(優先度8)		会社
9 電話番号(優先度9)		会社
10 電話番号(優先度10)		会社

※優先度の低い順に最大5番号をインポートします。

新規作成 設定

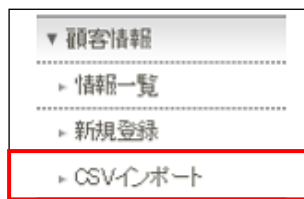
3. テンプレートが登録されます。

CSVテンプレート管理

No.	システム名	コマンド
1	GMail	[編集][削除] [テンプレートファイル出力]
3	顧客データ新規登録	[編集][削除] [テンプレートファイル出力]
100	CTIバックアップファイル	

手順 2. CSV のテンプレートをダウンロードする

1. 設定画面内「顧客情報」の「CSV インポート」をクリックします。



2. 「CSV データインポート」画面を表示します。インポート元システムを選択し、**【テンプレートファイル出力】**ボタンをクリックします。

 A screenshot of the 'CSV データインポート' (CSV Data Import) screen. The screen has a title bar with a blue circle icon and the text 'CSVデータインポート'. Below the title bar, there are several sections. The first section, 'インポート元システム' (Import Source System), contains a dropdown menu with '顧客データ新規登録' (Customer Data New Registration) selected and a 'テンプレートファイル出力' (Template File Output) button. The second section, 'CSVファイル' (CSV File), contains a text input field and a '参照...' (Reference...) button. The third section, '優先着信先設定' (Priority Call Forwarding Setting), contains a dropdown menu with '固定値' (Fixed Value) selected. At the bottom left, there is an '実行' (Execute) button. A red rectangular box highlights the 'インポート元システム' section.

※この例では、「手順 1. CSV のテンプレートを設定する」で設定した顧客情報 CSV ファイルをエクセルに手打ち

項 目	説 明	
インポート元システム	インポートする CSV ファイルがどのシステムからエクスポートしたものかを選択します。本装置は、選択されたシステムのテンプレートに従って各列の情報を顧客情報へ変換して登録します。 列番号と情報の対応は[保守機能]-[CSV テンプレート管理]で変更が行えます。	
テンプレートファイル出力	選択中のインポート元システムからエクスポートされる CSV ファイルのテンプレートを出力します。	
CSV ファイル	インポートする CSV ファイルを入力します。	
優先着信先設定	固定値	[着信先番号]に入力した内線番号に優先着信します。
	前回着信先	最終通話した内線番号に優先着信します。 ※基本設定の最終通話者判定の設定によりキャンセルを含めます。
	● 自動判定	前日までの通話回数によって、優先着信する内線番号を自動判定します。
[実行]ボタン	インポートを行います。	

3. ファイル名「template.csv」がダウンロードされます。
(※ダウンロード時の動作はご利用のブラウザの設定によります。保存を行ってください。)

手順 3. 顧客情報の CSV ファイルを作成する

1. ダウンロードしたテンプレートファイルを開き、お客様情報を入力します。

入力後、上書き保存します。

※名前やファイル形式の変更できません。変更するとファイルが破損する恐れがあるため必ず同名で上書き保存を行ってください。

※環境依存文字は対応していません。

template.csv [読み取り専用]															
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	#ユーザID	名称	フリガナ	郵便番号	国番号	住所	会社名	メールアドレス	URL	FAX	備考	携帯(会社)	会社	自宅	
2		オフィス花	オフィスハ	929-1177	81	石川県かほ	オフィス24	xxxx@xxxxxx.jp				090-1111-076-1111			
3															
4															
5															

【設定値の制限】

インポートファイルのデータ、および顧客情報登録画面からの入力データは以下の制限があります。インポートファイルのデータが制限文字数を超える場合、先頭から制限文字数までの部分が登録されます。

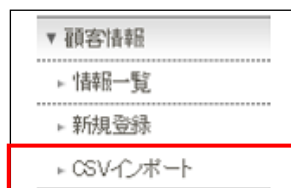
項 目	CSV ファイル	画面入力	備考
ユーザ ID	半角数値	(自動設定)	
名称	全半角 25 文字・環境依存文字不可(半角カナ可)	全半角 25 文字	CSV で環境依存文字を使用すると文字化けになる
フリガナ	全半角 25 文字・環境依存文字不可(半角カナ可)	全半角 25 文字	CSV で環境依存文字を使用すると文字化けになる
郵便番号	任意	半角数字 7 桁	半角数字以外は自動削除。数字 7 桁にならない場合は登録しない
国番号	半角数字 3 桁	半角数字 3 桁	入力値が不正の場合は[81]に自動設定
都道府県	(住所欄から自動設定)	1～48	
市区町村・番地 (住所)	都道府県名を除いて全半角 51 文字・環境依存文字不可(半角カナ可)	全半角 51 文字	CSV で環境依存文字を使用すると文字化けになる
会社名	全半角 51 文字・環境依存文字不可(半角カナ可)	全半角 51 文字	CSV で環境依存文字を使用すると文字化けになる
メールアドレス	半角 64 文字	半角 64 文字	'@'必須
URL	半角 128 文字	半角 128 文字	
FAX	半角数字 20 桁	半角数字 20 桁	
備考	全半角 25 文字・環境依存文字不可(半角カナ可)	全半角 51 文字	CSV で環境依存文字を使用すると文字化けになる
電話番号	半角数字 20 桁	半角数字 20 桁	1 顧客につき 5 番号まで

- ・画面から住所、備考に『改行』を入力すると、CSV出力、インポートに影響を与える為、入力しないで下さい。

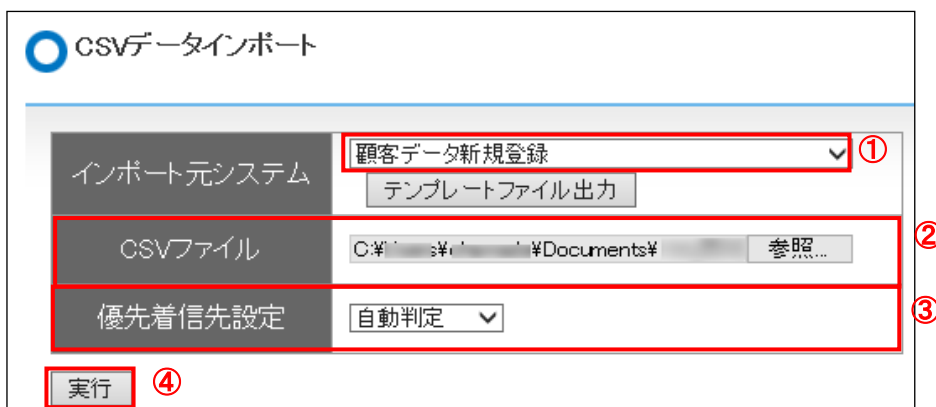
・MOT/Cloudとの外部連携を行っている場合、インポート機能はご利用できません。

手順 4. 顧客情報の CSV ファイルを取り込む（インポートする）

1. 設定画面内「顧客情報」の「CSV インポート」をクリックします。



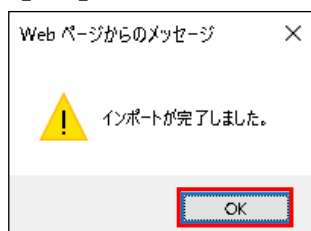
2. 「CSV データインポート」画面を表示します。



- ①あらかじめ用意した CSV ファイルにあわせてインポート元システムを選択します。
※この例では、「1. CSV のテンプレートを設定する」で設定したテンプレートを選択しています。
- ②[参照]ボタンをクリックします。CSV ファイルを参照します。
- ③優先着信先を設定します。
- ④[実行]ボタンをクリックします。

3. インポートが正常に完了すると、「インポートが完了しました」と表示されます。

[OK]ボタンをクリックします。



【インポート完了時の画面表示メッセージ】

インポートが正常に完了すると、「インポートが完了しました」と表示されます。

1 件以上の顧客情報がデータベースに保存できなかった場合、「不正なデータが含まれています」と表示されます。

インポートの結果、登録件数が最大件数(10,000 件)を超える場合はその旨が表示されます。
10,000 件目以降の顧客情報は保存されません。

以上で顧客情報のインポートが完了しました。

16. チャット機能（MOT/Cha）を利用する

MOT/PBX の機能を利用して、チャット機能を利用することができます。

※「MOT/Cha」はチャット機能の名前です。

※ **MOT/Cha のご利用にはソフトウェアライセンス契約が必要です。**

本項では、チャット機能（MOT/Cha）を利用するために必要な設定について説明します。

1. チャットを利用するユーザを登録する

チャット機能（MOT/Cha）を利用するユーザを登録します。次の手順で設定します。

1. 設定画面にて代表番号を設定する（※初回設定済みの場合は表示されません）
チャット機能（MOT/Cha）と MOT/PBX シリーズを連動するための設定です。

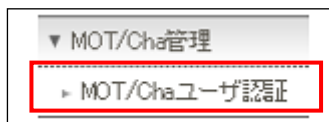


2. 仮ユーザ登録を行う
設定画面にて仮ユーザ登録（MOT/Cha ユーザ認証登録）を行います。



3. 各電話機側より本登録を行う
各電話機側を操作し、本ユーザ登録（認証登録）を行います。

1. 設定画面内「MOT/Cha 管理」の「**MOT/Cha ユーザ認証**」をクリックします。



※初回設定済みの場合はこの手順 2 を飛ばして、手順 3 へお進みください。

2. 「MOT/Cha ユーザ認証」画面を表示します。

初回設定が行われていない場合、以下の画面が表示されるので、MOT/Cha と連動するための設定を行います。

管理メニュー

- 電話設定
- 顧客情報
- 電話機編集
- 電話帳管理
- ▼ MOT/Cha 管理
 - ▶ MOT/Cha ユーザ認証
- ▶ FAX機能
- ▼ 機能メニュー

MOT/Cha ユーザ認証

現在のチャットサーバ設定: サーバー1 代表番号

◆ MOT/CHA と連動するための設定を行います。

代表番号 **設定する**

※MOT/PBXに設定された代表番号を登録します。

※以前のMOT/Cha情報を復元する場合は[こちらから登録](#)してください。

①MOT/PBX に設定された代表番号を入力します。

②[**設定する**]ボタンをクリックします。

3. 「MOT/Cha ユーザ認証」画面で、以下の処理を行ってください。

MOT/Cha ユーザ認証

現在のチャットサーバ設定: サーバー1 代表番号

① 選択	内線番号	内線名称	電話機種別	パスワード	登録状況	コマンド
☐	311		Android(P)	*****	更新済み	[確認] [編集] [認証解除]
☐	312		Android(P)	*****	更新済み	[確認] [編集] [認証解除]
☒	313		iPhone(P)		未登録	
☐	314		Android(P)		未登録	

② **認証登録**

①ユーザの内線番号が一覧で表示されるので、チャット機能（MOT/Cha）を利用するユーザの内線番号にチェックを入れます（登録状況が「未登録」の内線番号のみチェックが可能です）。

②[**認証登録**]ボタンをクリックします。

4. チェックをした内線番号の登録状況が「認証待ち」に変わります。

MOT/Chaユーザ認証							
現在のチャットサーバ設定: サーバー1 代表番号 [REDACTED]							
選択	内線番号	内線名称	電話機種別	パスワード		登録状況	コマンド
	311		Android(P)	*****	👁	更新済み	[確認] [編集] [認証解除]
	312		Android(P)	*****	👁	更新済み	[確認] [編集] [認証解除]
	313		iPhone(P2)	*****	👁	認証待ち	[確認] [編集] [認証解除] [再认证] [番号移行]
☐	314		Android(P)		👁	未登録	

①[確認]をクリックし、MOT/Phone 端末に登録する

代表番号、内線番号、パスワードを確認してください。

※パスワードは 👁 マークをクリックすることで確認可能です。

認証情報

代表番号 [REDACTED]

内線番号 313

パスワード ☆☆☆☆☆☆ 👁

👁 のクリックを繰り返して、パスワードの表示/非表示状態を切り替えることができます。

OK

<MOT/Phone>

MOT/Phone アプリの MOT/Cha 認証画面に、

上記で確認した代表番号、内線番号、パスワードを入力し、認証を行います。

MOT/Phone+ iPhone 版

プロフィール

ログインアカウント

代表番号

内線番号

パスワード

携帯番号の登録 >

MOT/Phone Android 版

ログインアカウント設定

代表番号 代表番号

内線番号 内線番号

パスワード パスワード

PBXアカウント登録

携帯番号の登録

MOT/Phone Windows 版

MOTChaログイン Ver 3.1[004]

MOT/Cloud MOT/PBX CallCenter その他ユーザー 設定

ログイン

代表番号

内線番号

パスワード

☐ パスワード保存

☐ Windows起動時に自動ログイン

ログイン

※MOT/Phone アプリ側の設定詳細については、それぞれのマニュアルをご参照ください。

端末	マニュアル
Android の場合	MOTPHONE_Android 版ユーザマニュアル
iPhone の場合	MOTPHONE+_iPhone 版ユーザマニュアル
PC の場合	MOTCha_Windows 版ユーザーマニュアル

5. MOT/Phone アプリ側の認証が完了すると、内線番号の登録状況が「更新済み」に変わります。

MOT/Chaユーザ認証							
現在のチャットサーバ設定: サーバー1 代表番号							
選択	内線番号	内線名称	電話機種別	パスワード		登録状況	コマンド
	311		Android(P)	*****		更新済み	[確認] [編集] [認証解除]
	312		Android(P)	*****		更新済み	[確認] [編集] [認証解除]
	313		iPhone(P2)	*****		更新済み	[確認] [編集] [認証解除]
☐	314		Android(P)			未登録	

以上で、MOT/Cha のユーザ登録は完了です。

2. チャット利用設定の解除、パスワードの変更をする

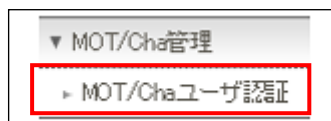
退職などでチャットを利用されなくなった場合の、設定の解除方法、またパスワードの変更を行う方法を説明します。

【利用設定の解除方法】

※認証解除を行うと、MOT/Cha のチャット履歴がすべて削除されます。

※MOT/Cha の利用解除のみで、ユーザ情報のすべてが削除されるわけではありません。

1. 設定画面内「MOT/Cha 管理」の「**MOT/Cha ユーザ認証**」をクリックします。



2. 「MOT/Cha ユーザ認証」画面で、以下処理を行ってください。

MOT/Cha ユーザ認証							
現在のチャットサーバ設定: サーバー1 代表番号 [REDACTED]							
選択	内線番号	内線名称	電話機種別	パスワード		登録状況	コマンド
	311		Android(P)	*****	👁	更新済み	[確認] [編集] [認証解除]
	312		Android(P)	*****	👁	更新済み	[確認] [編集] [認証解除]
	313		iPhone(P2)	*****	👁	更新済み	[確認] [編集] [認証解除] ①

- ① 設定を解除したい内線番号の **[認証解除]** をクリックします。
- ② 以下のメッセージを確認のうえ、**[OK]** ボタンをクリックします。

の内容

この番号はすでに利用開始されています。
認証情報を削除しますか？

② **[OK]** キャンセル

- ③ 認証済のユーザの場合、以下のメッセージが表示されます。
確認のうえ、**[OK]** ボタンをクリックします。

の内容

過去の利用データがすべて削除されます。
本当に認証情報を削除しますか？

③ **[OK]** キャンセル

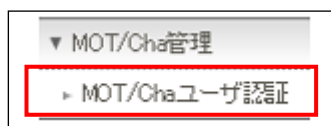
過去データが
すべて削除されます

3. 認証が解除され、登録状況が「未登録」に戻ります。

MOT/Cha ユーザ認証							
現在のチャットサーバ設定: サーバー1 代表番号 [REDACTED]							
選択	内線番号	内線名称	電話機種別	パスワード		登録状況	コマンド
	311		Android(P)	*****	👁	更新済み	[確認] [編集] [認証解除]
	312		Android(P)	*****	👁	更新済み	[確認] [編集] [認証解除]
☐	313		iPhone(P2)		👁	未登録	

【パスワードの変更方法】

1. 設定画面内「MOT/Cha 管理」の「**MOT/Cha ユーザ認証**」をクリックします。



2. 「MOT/Cha ユーザ認証」画面で、以下処理を行ってください。

MOT/Cha ユーザ認証							
現在のチャットサーバ設定: サーバ-1 代表番号 [REDACTED]							
選択	内線番号	内線名称	電話機種別	パスワード		登録状況	コマンド
	311		Android(P)	*****	👁	更新済み	[確認] [編集] [認証解除]
	312		Android(P)	*****	👁	更新済み	[確認] [編集] [認証解除]
	313		iPhone(P2)	*****	👁	更新済み	[確認] [編集] [認証解除]
☐	314		Android(P)		👁	未登録	①

- ①パスワードを変更したい内線番号の【**編集**】をクリックします。
- ②表示する以下の「認証情報」画面にて、パスワードを入力します。
※パスワードは 👁 マークをクリックすることで表示できます。

認証情報

代表番号 03 [REDACTED]

内線番号 313

パスワード [REDACTED]

👁

変更する

Cancel

👁 のクリックを繰り返して、パスワードの表示/非表示状態を切り替えることができます。

- ③変更パスワードを入力したら、【**変更する**】ボタンをクリックします。

認証情報

代表番号 03 [REDACTED]

内線番号 313

パスワード [REDACTED]

👁

③ 変更する

Cancel

- ④【**OK**】ボタンをクリックします。

[REDACTED] の内容

パスワードを更新しますか？

④ OK

キャンセル

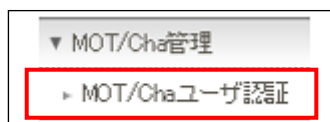
以上でパスワード変更は完了です。

3. 番号の移行（チャット携帯認証ユーザを PBX 認証へ移行する）

旧認証方法（スマートフォンの電話番号）で登録したユーザと、現在の認証方法（「代表番号」+「内線番号」）で登録したユーザの間ではチャットができないため、新旧のユーザが混在する場合は、旧ユーザを新ユーザへ番号移行します。

※ユーザと管理者でやり取りが必要な手順です。あらかじめユーザとこの作業を行うことをご相談の上、作業を実施してください。

1. 管理者にて、設定画面内「MOT/Cha 管理」の「**MOT/Cha ユーザ認証**」をクリックします。



2. 「MOT/Cha ユーザ認証」画面で、以下の設定を行ってください。

- ①新ユーザへ番号移行したい内線番号の「**移行確認**」をクリックします。
- ②携帯番号移行確認画面を表示します。
作業を行うスマートフォンの電話番号を入力し、「**通知する**」ボタンをクリックします。
該当内線番号のユーザの携帯電話に MOT/Cha に暗証番号が送信されます。

3. 手順 2 で入力した携帯電話番号の MOT/Cha（ユーザ側）に暗証番号が通知されます。
ユーザ側から、**携帯電話番号**と**暗証番号**を管理者に伝えます。



4. 管理者にて、再度「MOT/Cha ユーザ認証」画面を開き、以下処理を行ってください。

MOT/Cha ユーザ認証

選択	内線番号	内線名称	電話機種別	登録状況	コマンド
☐	311		iPhone(P)	更新済み	[確認] [編集] [認証解除]

MOT/Cha ユーザ移行処理 [X]

代表番号 0311-XXXX-XXXX

☐ 内線番号 312

☐ 携帯番号 0901-XXXX-XXXX

暗証番号 3799 移行する ②

Cancel

[確認] [編集] [認証解除]

[移行確認] 番号移行 ①

- ① 新ユーザへ番号移行したい内線番号の **【番号移行】** をクリックします。
- ② 「MOT/Cha ユーザ移行処理」画面を表示します。
作業を行うスマートフォンの電話番号と暗証番号を入力し、**【移行する】** ボタンをクリックします。

17. チャット機能で FAX を利用する

MOT/Cha の機能を利用して、FAX の送受信を行うことができます。

本項では、FAX データを利用するために必要な設定について説明します。

※**あらかじめ FAX 受信用の MOT/Cha グループ登録が必要です。登録は工事の際に行います。**

1. FAX 受信用の MOT/Cha グループにユーザを追加する

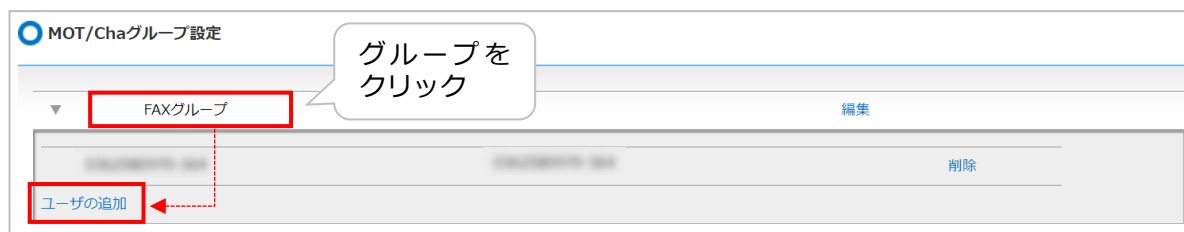
※グループに追加するユーザは、あらかじめ MOT/Cha ユーザとして登録しておく必要があります。

1. 管理者にて、設定画面内「MOT/Cha 管理」の「**MOT/Cha 連動設定**」をクリックします。



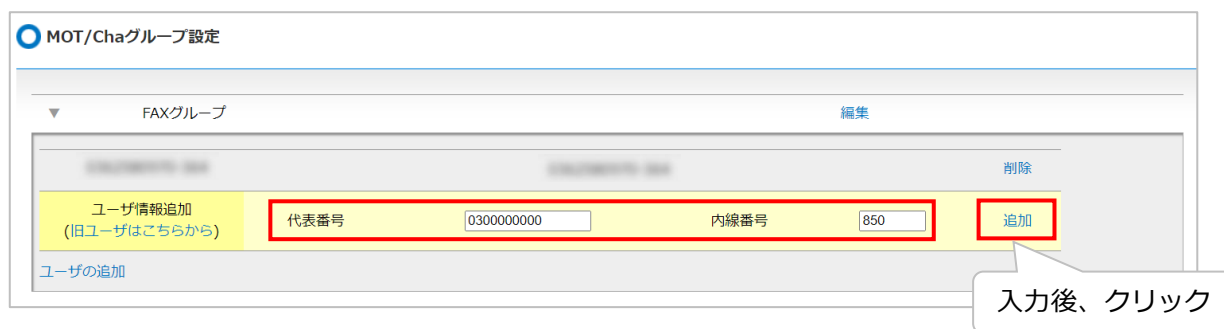
2. 「MOT/Cha 連動設定」画面が開きます。

ユーザを追加するグループをクリックすると表示される**ユーザの追加**をクリックします。



3. 表示する「ユーザ情報追加」欄に、MOT/Cha で FAX 機能を利用するユーザの電話番号、内線番号を入力後、**追加**をクリックします。

(ユーザの電話番号・内線番号は、[MOT/Cha 管理]-[**MOT/Cha ユーザ認証**]画面の**確認**をクリックすることで確認できます)



<MOT/Phone> MOT/Cha 画面イメージ



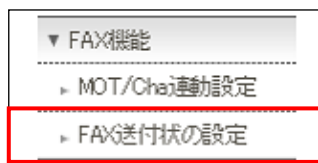
登録したユーザの MOT/Cha 画面に、FAX グループが表示されます。

2. FAX で利用する送付状を設定する

MOT/FAX で送信する FAX データの送付状の設定方法です。

※あらかじめ送付状データ（A4 縦、PDF ファイル）をお客様にてご準備ください。

1. 設定画面内「FAX 機能」の「**FAX 送付状設定**」をクリックします。



2. 「FAX 送付状の設定」画面で、送付状を登録する No の **【変更】** をクリックします。

FAX送付状の設定		
No.	説明	コマンド
01	-	[変更] [削除]
02	-	[変更] [削除]

3. 「FAX 送付状の更新」画面が開くので、以下の処理を行ってください。

- ① 送付状の説明を入力します。

送付状を複数登録する場合、どの送付状か判断しやすいような説明や名称を入力してください。

- ② **【ファイルを選択】** ボタンをクリックし、あらかじめご準備いただいた送付状データを選択します。

- ③ **【更新】** ボタンをクリックします。

4. 保存が完了すると、以下のように「保存しました。」のメッセージが表示されます。

5. 保存後、「FAX 送付状設定」をクリックして「FAX 送付状の設定」画面に戻り、画面の下部にて**【許可】**ボタンをクリックします。

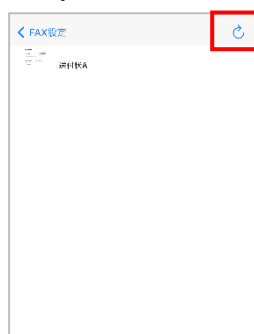
【許可】ボタンをクリックすると、アクセス許可状態が**「許可中」**に変わります。

※本操作後、素早く 3 分以内に、登録した送付状を利用する MOT/Phone 側で必要な操作が
ございます。あらかじめ MOT/Phone 端末をご準備の上、本作業を実施してください。



6. 送付状を許可したら、各ユーザの MOT/Phone 側で送付状の更新処理が必要となります。
各端末で以下の処理を行ってください。※3 分以内、更新処理を行ってください。
更新処理を行うと、送付状が表示されます。

MOT/Phone+ iPhone 版



設定＞FAX 設定＞送付状
＞画面右上の更新ボタン
をタップ

MOT/Phone Android 版



MOT/Cha 画面の右上メニュー＞FAX 送信＞「送付状：添付なし」を
タップ＞画面右上の**【リスト更新】**をタップ

※MOT/Cha 画面の右上メニュー＞FAX 送信は、
設定＞MOT/Cha 設定＞「MOT/FAX 設定」が未設定の場合、表示されな
いメニューです。事前に「MOT/FAX 設定」の設定を行ってください。

MOT/Phone Windows 版



「送付状」をクリック> 送付状の選択で
「PBX 内の送付状利用」を選択することで、画面更新

以上で送付状の設定は完了です。

3. 設定した送付状を削除する

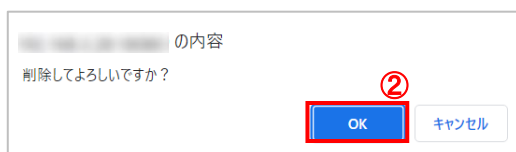
1. 設定画面内「FAX 機能」の「FAX 送付状設定」をクリックします。



2. 「FAX 送付状の設定」画面が開くので、**[削除]**をクリックします。

FAX送付状の設定		
No.	説明	コマンド
01	送付状A	[変更] [削除]
02	送付状B	[変更] [削除] ①
03	-	[変更] [削除]

- ① **[削除]** をクリックします。
- ② 表示されるメッセージを確認し、**[OK]** ボタンをクリックします。



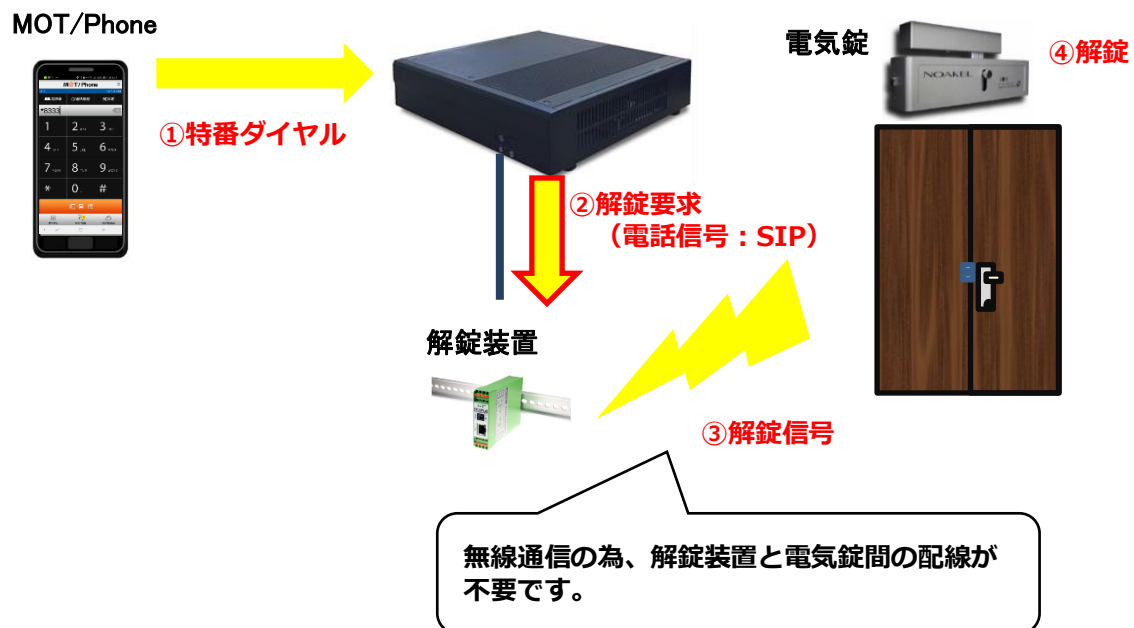
以上で、FAX 送付状の削除は完了です。

18. 解錠機能について

MOT/PBX に登録された電話機より、解錠特番をダイヤルすることで、電気錠の解錠操作を行います。MOT/Phone アプリのワンタッチ機能を利用するとユーザ操作においても簡単に解錠を行うことができます。

また、内線番号ごとに解錠権限を付与し、MOT/PBX ユーザ画面より、入退室履歴の閲覧が可能です。

<イメージ図>

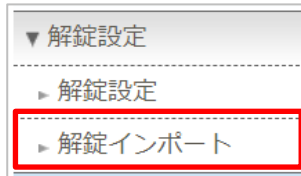


1. 解錠ユーザの登録方法

電気錠を設置したドアへの開錠を許可する内線番号を設定します。

■ 解錠ユーザの登録を行う

設定画面内「解錠設定」の「**解錠設定**」をクリックします。



1. 対象のドアの[**解錠内線の登録**]をクリックし、解錠ユーザを登録する画面へ移動します。

○ 解錠設定

割当内線	名称	操作
661	総務側	[解錠内線の登録]
662	正面	[解錠内線の登録]
663	営業側	[解錠内線の登録]

割当内線は最大16個まで割り当てることができます。

<項目一覧>

項 目	説 明
割当内線	解錠装置への割当て内線番号（エントランス番号）を表示します。
名称	解錠装置へ割り当てる表示名です。

2. 「解除ユーザの追加」画面で、解錠を許可するユーザ（内線番号）を設定します。
解錠ユーザに登録されていない内線番号からは開錠できません。

663 (営業側)

解錠ユーザの追加

ユーザ(内線)	作成数(最大100)
日時	2020/01/20 08:00 ▼ 日時 ~ 2020/01/20 08:00 ▼
☐ 無期限	

追加 初期化 戻る

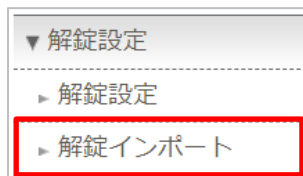
ユーザ（内線）、日時を設定し、
[追加]ボタンをクリックします

<項目一覧>

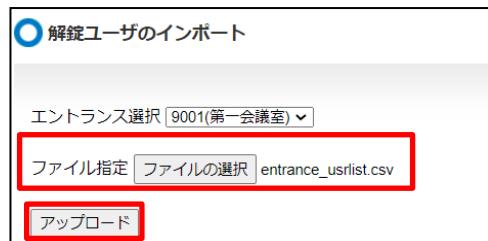
項 目	説 明
ユーザ（内線）	解錠を許可する内線番号を入力します。
作成数（最大 100）	ユーザ（内線）の登録を連番で行います。 一度に登録できる最大内線数は 100 内線です。
日時	解錠を許可する日時を設定します。
無期限	「無期限」にチェックすると、上記日時に関係なく解錠を許可します。
[追加]	追加を行います。
[初期化]	設定を初期化します。
[戻る]	ドアへの割り当て内線の一覧へ戻ります。
[削除]	ユーザ（内線）を削除します。

■ 解錠ユーザのインポートを行う

設定画面内「解錠設定」の「**解錠インポート**」をクリックします。



1. **[ファイルの選択]**にてインポートしたいファイルを選択し、**[アップロード]**をクリックします。



※インポートしたい解錠内線の[解錠内線の登録]の出力ボタンで出力した CSV ファイルを必要に応じて編集してインポートしてください。



	A	B	C	D	E
1	割当内線	内線番号	期限開始	期限終了	無期限
2	9001	301	2000/1/1 0:00	2000/1/1 0:00	1
3	9001	302	2000/1/1 0:00	2000/1/1 0:00	1
4	9001	303	2000/1/1 0:00	2000/1/1 0:00	1
5	9001	304	2020/10/2 9:00	2020/10/2 23:00	
6	9001	305	2020/10/2 9:00	2020/10/2 23:00	
7	9001	306	2020/10/2 9:00	2020/10/2 23:00	
8					

entrance_usrlist.csv

無期限：「1」を入力
期限を指定する場合：入力しない

2. 解錠履歴を閲覧する

1. 設定画面内「履歴・ログ」の「**解錠履歴**」をクリックします。



2. 「解錠履歴」画面にて、解錠ダイヤルの実行履歴を閲覧します。

解錠履歴

日付 年 / 月 / 日 ~ 年 / 月 / 日 内線番号 検索

[3530件] << 1 / 36 >>

日付	内線番号	部屋番号	内容
2020/01/16 07:39:39	9323	MOTシステム(665)	解錠を行いました。
2020/01/16 07:39:41	9323	営業側(663)	解錠を行いました。
2020/01/16 08:16:53	8735	営業側(663)	解錠を行いました。
2020/01/16 08:19:19	8735	営業側(663)	解錠を行いました。
2020/01/16 08:21:42	7627	営業側(663)	解錠を行いました。
2020/01/16 08:23:25	9322	MOTシステム(665)	解錠を行いました。
2020/01/16 08:27:07	9325	MOTシステム(665)	解錠を行いました。

日付、内線番号で検索が可能です

<項目一覧>

項 目	説 明
日付	解錠を実行した日時を表示します。
内線番号	解錠を行った内線番号を表示します。
部屋番号	解錠対象のドアを表示します。
内容	解錠の内容を表示します。

19. 退勤アラートコール履歴を確認する

退勤アラートコールは、MOT/PBX と勤怠管理システムが連携した機能です。

退勤時間になっても退勤していない社員の内線番号に業務時間終了のアナウンスを行う機能です。

※別途、勤怠管理システムの契約が必要です。

1. 設定画面内「履歴・ログ」の「アラートコール履歴」をクリックします。



2. 「アラートコール履歴」画面で、履歴を閲覧します。

○ アラートコール履歴

日付 yyyy/mm/dd ~ yyyy/mm/dd 内線番号 検索

[117件] << 1 / 2 >>

日付	内線番号	内容
2020/10/02 18:09:04	6199	不応答 (鳴動時間[00:00])
2020/10/02 17:30:01	6199	応答済 (鳴動時間[00:04])
2020/10/02 17:00:02	6199	応答済 (鳴動時間[00:04])
2020/10/01 20:28:03	6199	応答済 (鳴動時間[00:03])
2020/10/01 19:58:04	6142	応答済 (鳴動時間[00:02])
2020/10/01 19:28:03	6142	不応答 (鳴動時間[00:00])
2020/10/01 18:49:04	6142	応答済 (鳴動時間[00:02])
2020/10/01 18:09:04	6199	応答済 (鳴動時間[00:03])
2020/10/01 17:30:01	6142	応答済 (鳴動時間[00:05])

日付、内線番号で検索が可能です

<項目一覧>

項 目	説 明
日付	アラートコールが行われた日時を表示します。
内線番号	アラートコールが行われた内線番号を表示します。
内容	アラートコールへの応答・不応答を表示します。

20. メッセージ、コード一覧

1. 留守番電話アナウンス一覧

電話端末からリモート操作によって設定可能な「留守番電話アナウンス」について、設定可能なメッセージ内容の一覧を以下に示します。

アナウンス	内容
留守番電話 1	本日の業務は終了しました。ピーと言う音の後に、お名前とご用件をお話ください。
留守番電話 2	只今、電話に出ることができません。ピーと言う音の後に、お名前とご用件をお話ください。
留守番電話 3	お掛けになった電話は現在でることができません。 "ピー"となったら、メッセージを録音してください。
留守番電話 4	"ピー"と鳴ったら、メッセージを録音してください。
留守番電話 5	只今、留守にしております。 ご用件をピーと言う音の後に話し下さい。

2. アナウンスサービスメッセージ一覧

アナウンスサービスとして設定可能なメッセージ内容を以下に示します。

アナウンス	内容
アナウンスサービス 1	本日の業務は終了しました。 恐れ入りますが営業時間内にお掛け直してください。
アナウンスサービス 2	お電話ありがとうございます。本日の営業は終了致しました。 恐れ入りますが営業時間内にお掛け直してください。
アナウンスサービス 3	ただいま留守にしております。のちほどおかけ直してください。
アナウンスサービス 4	只今、電話に出ることができません。恐れ入りますが改めてお電話をいただけますようお願いいたします。
アナウンスサービス 5	お掛けになった番号は電波が届かない場所か、 電源が入っていないため掛かりません。

3. 着信拒否アナウンス一覧

アナウンス	内容
着信拒否 アナウンス 1	電話番号の前に 186 をつけてダイヤルするなど、 あなたの電話番号を通知しておかけ直してください。
着信拒否 アナウンス 2	貴方の番号を通知してお掛け直してください。
着信拒否 アナウンス 3	お客様のご都合により、通話ができなくなっています。
着信拒否 アナウンス 4	お客様のご要望により、おつなぎすることができません。
着信拒否 アナウンス 5	この電話は、お客様のご希望によりおつなぎ出来ません。

4. エラーコード内容

エラーコード	内容
403	SIP ドメインの間違い、ユーザ ID が無効になっている可能性があります。
404	発信先の相手が見つかりません。発信した番号を確認してください。
406	相手が着信等を拒否している可能性があります。
408	何らかの原因でタイムアウトが起きています。
480	相手が着信拒否をしている、存在しない番号等で一時的に利用不可の状態です。
486	相手が話中です。
488	=406 相手が着信等を拒否している可能性があります。
600	PBX 配下の電話機話中です。
603	端末で拒否されています。

21. 転送時の特番（コマンド）について

パターン設定や、電話機から転送設定を行う際の特番（コマンド）について説明します。

特番とは？

電話機、またはMOT/PBXからダイヤルする際に、あらかじめ特定の動作をするように設定されているダイヤル番号です。プレフィックスと呼ぶ場合もあります。

■ 転送については以下の特番が割り当てられています（※初期値）。

ダイヤル番号	特番	説明
*21	不在転送	不在の場合、全ての着信を転送先に転送します。
*22	話中転送	話中の場合、全ての着信を転送先に転送します。
*23	不在応答転送	一定時間応答がない場合、全ての着信を転送先に転送します。
*24	圏外転送	圏外の場合、全ての着信を転送先に転送します。

■ 留守電／アナウンスの開始／終了については以下の特番が割り当てられています（※初期値）。

ダイヤル番号	特番	説明
*91～*95	留守番録音	留守番ガイダンスを流し、留守番電話メッセージを録音します。
92	留守番再生	留守番電話に録音されたメッセージを再生します。
701～705	アナウンスサービス	不在、不応答時に音声アナウンスを流します。

■ 電話機から留守録の音声メッセージ吹き込み、メッセージ確認、適用を行う場合については以下の特番が割り当てられています（※初期値）。

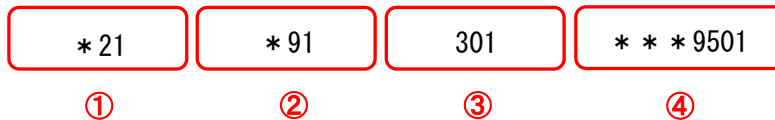
ダイヤル番号	特番	説明
*25	メッセージ吹き込み	応答メッセージの吹き込みを開始します。
*26	メッセージ確認	設定中のメッセージ内容を確認します。
*27	メッセージの適用	各種応答メッセージを適用します。

例：電話機から不在応答を設定する場合

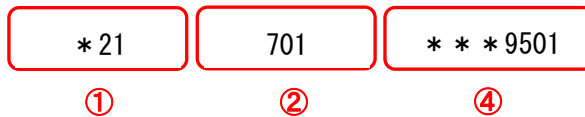
例えば、ラインキー9501に対して不在応答を設定する、または解除する場合は、電話機から以下のように設定します。

■留守番電話サービス、またはアナウンスサービスの開始

留守番電話サービスの場合（「*21*91301***9501」とダイヤル）



アナウンスサービスの場合（「*21701***9501」とダイヤル）



<ダイヤルの詳細>

- ① *21・・・不在転送。不在の場合、全ての着信を転送先に転送します。
- ②（留守電の場合）*91・・・留守電録音特番。留守番ガイダンスを流し、留守番電話メッセージを録音します。※留守電の場合は②と③はセットで設定します。
（アナウンスの場合）701・・・アナウンスサービス特番。音声アナウンスを流します。
- ③301・・・録音メッセージを保持する内線番号。通常 301 をご利用ください。
- ④上記①～③までの設定を行う内線番号を設定します。
今回の場合はラインキー9501 が不在時に留守電、またはアナウンスサービスに転送します。
- ④の転送元については転送元番号を入力します。

■留守番電話サービス、またはアナウンスサービスの停止

上記の番号ルールのうち、①と④だけの組み合わせで発信すると、サービスが停止します。

「*21*91301***9501」で留守電を開始→「*21***9501」にて解除
「*21701***9501」でアナウンスを開始→「*21***9501」にて解除

22. 統計管理について

通話履歴より発着信数を集計し、運用状況を分析することで業務効率の向上など運用業務の改善に役立てることができます。年間、月間、日間の統計情報より、回線番号や内線番号別に分析を行うことができます。

【統計管理の集計データについて】

- ※グループ着信の場合でも、外線番号ごとに集計します。
- ※アナウンスサービスなどに転送されたもの（不在転送・不応答転送）も、通話した件数（「応」項目）に含まれます。
- ※話中は、不応答の件数（「不」項目）に含まれます。
- ※IVR をご利用の場合、IVR アナウンス中に電話が切断されたもの（番号を選んでいないもの）は、統計に含まれません。
- ※当日分の集計は翌日反映されます。（反映時間は、毎夜 2 時～3 時の間）
- ※統計管理データの保存期間は、5 年間です。

設定画面内「統計管理」の「統計管理」をクリックし、年間・月間・日間の集計を確認することができます。



1. 通話集計(年間)画面

1. 集計対象を選択します。

各項目を選択後、**【集計】**ボタンをクリックすることで、対象を絞って集計結果を表示します。

【CSV 出力】ボタンをクリックすると、集計結果を CSV データにて出力します。

○ 通話集計（年間）

集計対象	着信 (Inbound) ▼
回線番号	--- -- -- -- ▼
内線番号	--- -- -- -- ▼
対象年	2022 ▼

集計 **CSV出力**

■ 項目一覧

項目名	説明
集計対象	集計対象を、着信/発信から選択します。
回線番号	集計対象の自局外線番号を選択します。 ※未選択の場合は、全ての番号を対象として集計します。
内線番号	集計対象の内線番号を選択します。
対象年	集計対象の年を選択します。

2. 集計結果は、「月ごとの集計」と「回線番号ごとの集計」が表示されます。

○ 通話集計 (年間)

集計対象: 着信 (Inbound) ▼
 回線番号: ▼
 内線番号: ▼
 対象年: 2022 ▼

集計 CSV出力

クリックすると、2022/05 の月間集計の画面に遷移します

1

年月	日	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計
2022/05	着																																0
	不																																0
2022/06	着													1	7		3				20											31	
	不													0	5		3				10											18	
	応												1	2		0				10												13	

2

回線番号	月	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	合計
03-11-1111	着						31							31
	不						18							18
	応						13							13

①月ごとの集計を表示

月ごとに、集計件数を表示します。

「合計」には、月の合計件数を表示します。

年月をクリックすると、対象月の「通話集計 (月間)」画面に遷移し、月間集計の確認が行えます。

※「通話集計 (月間)」画面の詳細は、「[通話集計 \(月間\) 画面](#)」ページをご参照ください。

■項目一覧

※「集計対象」で選択している発信/着信に関する件数を表示します。

項目名	説明
着	着信した件数を表示します。 ※検索項目「集計対象」で着信を選択した場合のみ表示
発	発信した件数を表示します。 ※検索項目「集計対象」で発信を選択した場合のみ表示
不	応答がなかった/応答できなかった件数を表示します。
応	応答件数を表示します。

②回線番号ごとの集計を表示

回線番号 (自局外線番号) ごとに、年間の集計件数を月別で表示します。

1つの回線番号を対象に、集計の詳細を確認する場合は、対象の回線番号をクリックすると、外線番号の年間集計を表示します。

回線番号	月	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	合計
03-11-1111	着						31							31
	不						18							18
	応						13							13

2. 通話集計(月間)画面

1. 「[通話集計（年間）](#)」の集計画面から、月間集計を閲覧したい対象月を選択します。

○ 通話集計（年間）

集計対象	着信 (Inbound) ▼
回線番号	--- -- -- -- ▼
内線番号	--- -- -- -- ▼
対象年	2022 ▼

集計 CSV出力

年月	日	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計
2022/05	着																															0	
	不																															0	
	応																															0	
2022/06	着													1	7		3				20										31		
	不													0	5		3				10										18		
	応													1	2		0				10										13		
	着																															0	

2. クリックした月を対象とした月間の集計結果が表示されます。

○ 通話集計（月間）

集計対象	着信 (Inbound) ▼
回線番号	--- -- -- -- ▼
内線番号	--- -- -- -- ▼
対象年月	2022 ▼ 06 ▼

集計 CSV出力

クリックすると、2022/06/13 の日間集計の画面に遷移します

1

日付	時	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合計
2022/06/01	着																									0
	不																									0
	応																									0
2022/06/13	着																			1						1
	不																			0						0
	応																			1						1

2

回線番号	日	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計
03XXXXXXXX	着													1	7		3				20											31	
	不													0	5		3				10											18	
	応													1	2		0				10											13	

①日ごとの集計を表示

日ごとに、各動作に対する件数を時間別で表示します。

「合計」には、1日の合計件数を表示します。

■項目一覧

項目名	説明
着	着信した件数を表示します。 ※検索項目「集計対象」で着信を選択した場合のみ表示
発	発信した件数を表示します。 ※検索項目「集計対象」で発信を選択した場合のみ表示
不	応答がなかった/応答できなかった件数を表示します。
応	応答件数を表示します。

対象の日付をクリックすると、対象日付の「通話集計（日間）」画面に遷移し、日間集計の確認が行えます。※詳細は「[通話集計（日間）画面](#)」ページをご参照ください。

②回線番号ごとの集計を表示

回線番号（自局外線番号）ごとに、月間の集計件数を日別で表示します。

1つの回線番号を対象に、集計の詳細を確認する場合は、対象の回線番号をクリックすると、外線番号の月間集計を表示します。

回線番号	日	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計
0345678901	着													1	7		3				20												31
	不													0	5		3				10												18
	応													1	2		0				10												13

3. 通話集計(日間)画面

1. 「通話集計 (月間)」の集計画面から、日間集計を閲覧したい対象日を選択します。

通話集計 (月間)

集計対象: 着信 (Inbound) ▼

回線番号: --- -- -- -- -- ▼

内線番号: --- -- -- -- -- ▼

対象年月: 2022 ▼ 06 ▼

集計 CSV出力

日付	時	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合計
2022/06/14	着																			1						1
	不																			0						0
	応																			1						1

2. クリックした日を対象とした 1 日間の集計結果が表示されます。

通話集計 (日間)

集計対象: 着信 (Inbound) ▼

回線番号: --- -- -- -- -- ▼

内線番号: --- -- -- -- -- ▼

対象日: 2022/06/14

集計 CSV出力

1

回線番号	発着信件数	不応答件数	応答件数	通話時間	平均通話時間
03625337	7	5	2	00:00:49	00:00:24

2

内線番号	発着信件数	不応答件数	応答件数	通話時間	平均通話時間
860	---	---	2	00:00:49	00:00:24
[G]500	---	---	0	00:00:00	00:00:00

3

時	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合計
着											3	3	1												7
不											1	3	1												5
応											2	0	0												2

① 回線番号ごとの集計を表示

回線番号 (自局外線番号) ごとに、各動作の集計件数・時間を表示します。

■ 項目一覧

項目名	説明
発着信件数	発信/着信の件数を表示します。
不応答件数	応答がなかった/応答できなかった件数を表示します。
応答件数	応答した件数を表示します。
通話時間	通話時間を表示します。
平均通話時間	平均の通話時間を表示します。

②内線番号ごとの集計を表示

内線番号ごとに、各動作の集計件数、時間を表示します。

■項目一覧

項目名	説明
発着信件数	発信/着信の件数を表示します。 ※集計対象が「着信」の場合、「---」で表示します。
不応答件数	集計対象が発信の場合：相手が応答しなかった件数を表示します。 ※集計対象が「着信」の場合、「---」で表示します。
応答件数	応答件数を表示します。
通話時間	通話時間を表示します。
平均通話時間	平均の通話時間を表示します。

※本集計機能は、着信の場合、一斉着信を想定しているため、内線番号個別での着信件数と不応答件数は集計しておりません。

そのため、「着信」を対象に集計する場合、「発着信件数」「不応答件数」の2項目は、「---」で表示されます。

③時間ごとに表示

時間ごとに、各動作に対する件数を時間別に表示します（グラフも表示）。

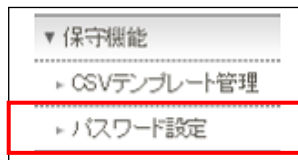
■項目一覧

項目名	説明
着	着信した件数を表示します。 ※検索項目「集計対象」で着信を選択した場合のみ表示
発	発信した件数を表示します。 ※検索項目「集計対象」で発信を選択した場合のみ表示
不	応答がなかった/応答できなかった件数を表示します。
応	応答件数を表示します。

23. ログインパスワードを変更する

本ユーザ設定画面にログインする際のパスワードを変更するメニューです。

1. 設定画面内「保守機能」の「パスワード設定」をクリックします。



2. 「パスワード設定」画面で、以下の処理を行ってください。

○ パスワード設定

ユーザ名	motuser	
現パスワード		①
新パスワード		②
新パスワード(確認)		

③

No.	ID	コマンド
1	motuser	[編集]

※『motuser』は削除及びユーザー名の変更はできません。

- ①「現パスワード」に現在のパスワードを入力します。
- ②「新パスワード」・「新パスワード（確認）」に、変更する新たなパスワードを入力します。
- ③[設定]ボタンをクリックします。

以上でパスワード変更の設定は完了です。

24. 通話録音対象から除外する

※全通話録音機能をご利用の方が対象となる設定メニューです。

本メニューは、MOT/PBX シリーズ（v6.10.0～）を対象としております。

全通話録音機能は、PBX に収容している回線すべてを録音対象としますが、本メニューでは通話録音の対象から除外したい相手番号、または自局番号を登録することができます。

■ 通録除外番号の登録

1. 設定画面内「電話設定」の「**通録除外番号の設定**」をクリックします。

▼ 電話設定

- ▶ 電話機登録情報
- ▶ 発着信拒否設定
- ▶ コールバック機能設定
- ▶ 留守番メール送信設定
- ▶ 会議通話の設定
- ▶ セッション制御
- ▶ **通録除外番号の設定**

2. 「通録除外番号の設定」画面が開きます。

通録除外番号の設定

通録除外番号
入力してください

登録電話番号リスト

削除	電話番号

3. 「通録除外番号」欄に録音を行わない相手の電話番号、または自局番号を入力し、**[追加]**ボタンをクリックします。電話番号は市外局番から入力してください。

通録除外番号の設定

通録除外番号
0311111111

登録電話番号リスト

削除	電話番号

- ・相手の番号：録音を行いたくない相手の番号を入力してください。
入力した番号との通話は、録音対象から除外します。
- ・自局番号：PBX・外線アダプタ MG シリーズに収容している番号を入力してください。
入力した番号に掛かってきた通話は、録音対象から除外します。
(自局番号は、PBX・外線アダプタ MG シリーズに収容している回線が対象です)

4. **[追加]**ボタンをクリック後、入力した電話番号が登録電話番号リストに追加されます。
リストに追加された電話番号との通話は、録音から除外されます。

通録除外番号の設定

通録除外番号
入力してください

登録電話番号リスト

削除	電話番号
☐	0311111111

⚠ 通話録音禁止設定を利用する際の注意点

- ・ 非通知着信は、録音除外できません。
- ・ 自動転送設定の転送先を外線にした場合は、録音除外ができません。
- ・ 通録除外番号に登録している番号に電話をかける際は、市外局番から入力してダイヤルしてください。
市外局番を除いてダイヤルした場合、通話除外番号に登録済の番号であっても、録音除外されませんので、ご注意ください。
- ・ 通録除外番号設定は、cloud 側に録音ファイルがアップされる前の通話が設定の対象となります。
例) 通話後～録音ファイルがアップされるまでの間に録音除外設定を行った場合、その通話も設定の対象となります。

■ 通録除外番号の削除

1. 削除したい番号にチェックし、**[削除]**ボタンをクリックします。

通録除外番号の設定

通録除外番号
入力してください

登録電話番号リスト

削除	電話番号
☒	0311111111



2. 削除すると、登録電話番号リストから削除されます。

通録除外番号の設定

通録除外番号
入力してください

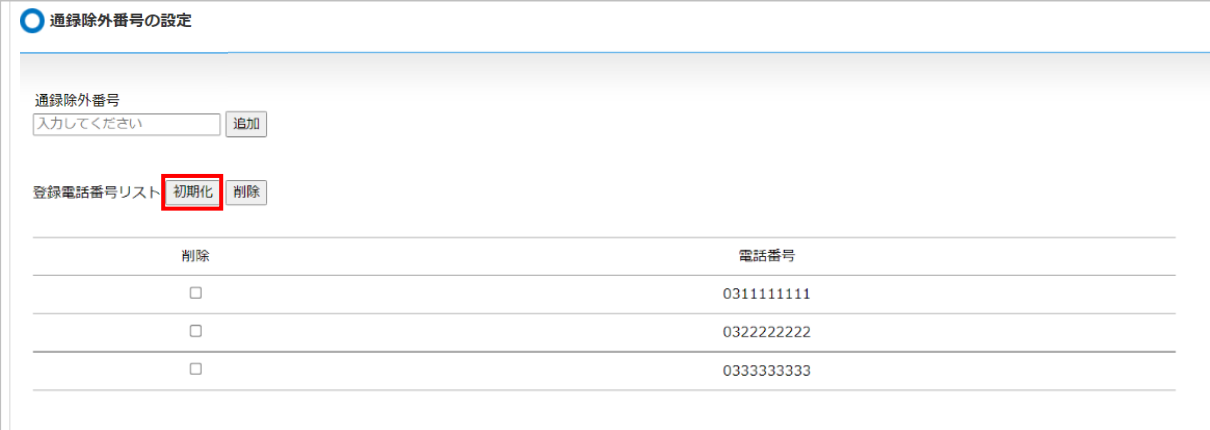
登録電話番号リスト

削除	電話番号
----	------

リストから削除

■ 通録除外番号の初期化

1. **[初期化]**ボタンをクリックすると、登録した通録除外番号を初期化します。



通録除外番号の設定

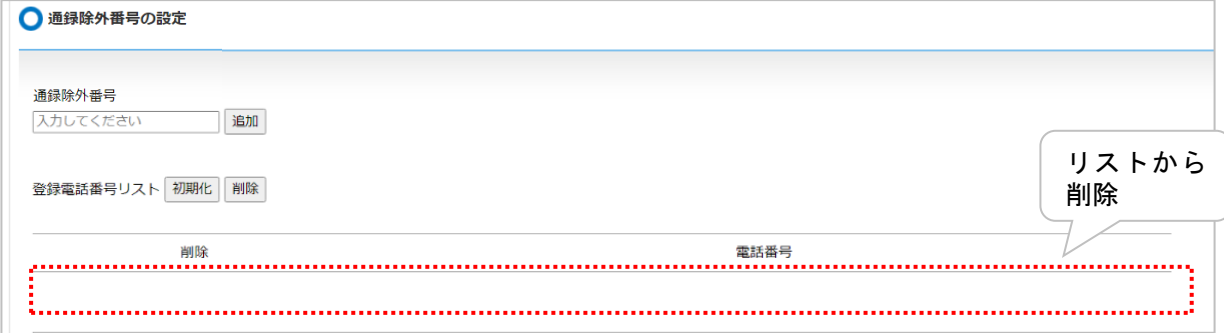
通録除外番号
入力してください

登録電話番号リスト **初期化**

削除	電話番号
☐	0311111111
☐	0322222222
☐	0333333333



2. 初期化すると、登録電話番号リストに登録されている情報がすべて削除されます。



通録除外番号の設定

通録除外番号
入力してください

登録電話番号リスト

削除	電話番号

リストから削除

25. 内線番号の一覧について ※VALTEC PC のみ閲覧可メニュー

弊社で登録作業が済んでいる『VALTEC PC』からのアクセスに限り、閲覧可能なメニューです。

「内線番号一覧」の画面では、内線番号情報の閲覧、内線パスワードと内線名称の編集、およびご利用のサーバーアドレスの確認が行えます。

空いている内線番号を利用する場合や内線番号を別の社員で使う場合は、こちらのメニューから内線パスワードと内線名称を編集し、ご利用いただくことが可能です。

1. 「内線番号一覧」画面へのアクセス

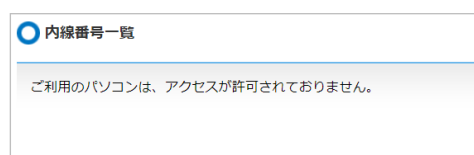
弊社で登録済の『VALTEC PC』から以下 URL にアクセスすると「内線番号一覧」画面を表示します。

[http://\(MOT/PBXのIPアドレス\):18080/ADM](http://(MOT/PBXのIPアドレス):18080/ADM)

ADM は大文字

※ADM 画面のアクセスはローカル環境のみ可能です。

※VALTEC PC 以外からアクセスをした場合、以下メッセージが表示され、「内線番号一覧」画面は表示されません。



2. 内線番号一覧の各項目

内線番号	内線名称	パスワード	電話機種別
301	オフィス太郎	***	MOT/iPhone(Push2)
311	オフィス花子	***	MOT/Android
312		***	MOT/iPhone

■内線番号一覧の項目

項目名称	概要
内線番号	内線番号を表示します。 編集は行えず、閲覧のみです。
内線名称 ※編集可能項目	内線名称を表示します。 [編集] [全編集] クリックにより、内線名称の編集が可能です。
パスワード ※編集可能項目	内線パスワードを表示します。 👁️ をクリックすることで、パスワードが非表示/表示に切り替わります。 [編集] [全編集] クリックにより、パスワードの編集が可能です。
電話機種別	各内線番号で登録されている電話機種別を表示します。 編集は行えず、閲覧のみです。

3. 内線名称、パスワードを編集する

「内線名称」と「パスワード」は、編集が行えます。

利用する社員を変更する場合や、利用していない空き内線を利用する場合にご利用ください。

1. [編集]、または[全編集]をクリックします。

- ・[編集]をクリック：対象の内線番号の編集が可能になります。
- ・[全編集]をクリック：全内線番号の編集が可能になります。

複数の内線番号を編集したい場合は、[全編集]をご利用ください。

内線番号一覧

ローカルアドレス
グローバルアドレス

<<< 1 / 1 (総件数: 30) >>> [ページへ移動](#)

[リロード](#) [保存](#)

内線番号	[全編集]	内線名称	パスワード		電話機種別
301	[編集]	オフィス太郎	***		MOT/iPhone(Push2)
311	[編集]	オフィス花子	***		MOT/Android(Push)
312	[編集]		***		MOT/iPhone(Push)

2. 「内線名称」と「パスワード」項目が編集可能な状態になりますので、内容を編集してください。

■[編集]をクリック

[リロード](#) [保存](#)

内線番号	[全編集]	内線名称	パスワード		電話機種別
301	[編集]	オフィス太郎	...		
311	[編集]	オフィス花子	***		MOT/Android

対象の内線のみ編集できる状態

■[全編集]をクリックした場合

[リロード](#) [保存](#)

内線番号	[全編集]	内線名称	パスワード		電話機種別
301	[編集]	オフィス太郎	...		
311	[編集]	オフィス花子	...		
312	[編集]		...		MOT/iPhone

全内線が編集できる状態

👁️ をクリックすることで、パスワードを非表示から表示状態に切り替えることができます。

押下 → パスワードを表示

オフィス太郎 ... 👁️ → オフィス太郎 301 🔒

3. 編集後、**[保存]**ボタンをクリックし、編集内容を保存します。

[保存]ボタンをクリックすると、即時反映します。

MOT/Phone アプリ（Android、iPhone、Windows 版）側で変更したパスワードを設定してください。

リロード						保存
内線番号	[全編集]	内線名称	パスワード		電話機種別	
301	[編集]	オフィス太郎	...	👁	MOT/iPhone(Push2)	
311	[編集]	オフィス花子	***	👁	MOT/Android	

※内線番号とパスワードが同じ場合、**[保存]**ボタンクリック時に、エラー・警告メッセージを表示します。

セキュリティ上の問題から、内線番号とパスワードは異なる値で設定してください。

※留守電メッセージの保存先に設定している内線番号のパスワードを変更した場合、再生する際に必要となるパスワードは変わりません。

留守電メッセージの再生パスワードも変更する場合は、

管理メニュー> [留守電メール送信設定](#)にて、パスワードの変更を行ってください。

※ **[編集]**をクリック後、編集内容を保存せずに画面をもとの状態に戻す場合は、**[リロード]**ボタンをクリックすると、**[編集]**をクリックする前の画面に戻ります。

リロード						保存
内線番号	[全編集]	内線名称	パスワード		電話機種別	
301	[編集]	オフィス太郎	...	👁	MOT/iPhone(Push2)	
311	[編集]	オフィス花子	***	👁	MOT/Android	

＜機種変などで、スマートフォンの電話機種別が変わる場合＞

スマートフォンの新端末でアカウント登録が完了すると、電話機種別が自動的に切り替わります。
そのため、管理画面での電話機種別の設定変更は不要です。

例) 以下、「内線 311」を利用している方が、Android から iPhone へ機種変をした場合

- 1) 新端末の iPhone に MOT/Phone アプリをインストールし、「内線 311」のアカウント登録をする

内線番号	[全編集]	内線名称	パスワード		電話機種別
301	[編集]	オフィス太郎	***	👁	MOT/iPhone(Push2)
311	[編集]	オフィス花子	***	👁	MOT/Android(Push)



- 2) 当画面の「電話機種別」が MOT/Android ➡ MOT/iPhone に自動的に切り替わります。

内線番号	[全編集]	内線名称	パスワード		電話機種別
301	[編集]	オフィス太郎	***	👁	MOT/iPhone(Push2)
311	[編集]	オフィス花子	***	👁	MOT/iPhone(Push2)

「内線 311」のアカウント登録をした
端末の電話機種別情報をデータで
取得し、自動で切り替わります。

注) 上記は、Android と iPhone のスマートフォン同士の変更に限ります。

Windows 版 MOT/Phone で利用している内線番号をスマートフォンへ変更したい場合は、
管理画面での変更が必要となります。

4. サーバーアドレスを確認する

内線番号一覧

ローカルアドレス ***.***.*.*
 グローバルアドレス **.*.***.**

<<< 1 / 1 (総件数: 30) >>> [ページへ移動](#)

[リロード](#) [保存](#)

内線番号	[全編集]	内線名称	パスワード		電話機種別
301	[編集]	オフィス太郎	***	👁	MOT/iPhone(Push2)
311	[編集]	オフィス花子	***	👁	MOT/Android(Push)
312	[編集]	テスト	***	👁	MOT/iPhone(Push)

ご利用のサーバーアドレスを表示します。

MOT/Phone 端末にアカウントを登録する際に「サーバーアドレス」の入力が必要となりますので、不明な場合は、こちらでご確認いただけます。

例) 以下、MOT/Phone+ iPhone 版のアカウント設定画面です。

MOT/Phone 端末のアカウント設定時に入力必須となる「サーバーアドレス」を、当画面で確認することができます。

← 戻る アカウント設定

アカウント設定

電話番号

パスワード

サーバーアドレス

ローカルアカウントの場合は「ローカルアドレス」、
グローバルアカウントの場合は「グローバルアドレス」を
入力します。

5. 不正発信のブロック通知・解除方法

不正アクセスにより、パスワード認証を失敗した状態で不正に発信される問題を防止するため、パスワードを1時間以内に3回間違えた場合、その内線番号は利用停止状態になります。

(パスワードを間違えてから1時間以上経過している場合は、1回目としてカウントします)
利用停止状態になった場合、指定のメールアドレス宛に以下のような通知メールが届きます。
利用停止状態の解除は、内線パスワードの変更にて解除可能です。



注意事項

※以下の通知メールが届く指定メールアドレスは、初期で弊社のアドレスが登録されております。

お客様ご自身でも通知メールの受信を希望される場合は、指定メールアドレスとして追加いたしますので、弊社サポートまでご連絡ください。

なお、追加できるメールアドレスは、1個です。

※身に覚えがない利用停止状態（パスワードロック）が発生した場合は、弊社までご連絡ください。

■ 通知メール

メール差出人：mot_detection01@mot-net.com

件名：【注意】不正ブロック通知メール

不正ブロック内容

8501 . iPhone6S-SoftBank(13.3.1)

パスワードを3回連続で間違えたため上記内線番号を利用停止しました。

IP アドレス：

MAC アドレス：

お客様名：

利用停止状態になった内線情報を記載

- ・頭の値は、対象の内線番号を表示。
- ・後ろの値は、対象の内線を利用している
電話機種類とアプリのバージョンを表示。

■ 解除方法

1) 利用停止状態となった内線番号の[編集]をクリックします。

内線番号	[全編集]	内線名称	パスワード		電話機種別
301	[編集]	オフィス太郎	***		MOT/iPhone(Push2)
311	[編集]	オフィス花子	***		MOT/Android(Push)

2) パスワードを編集し、[保存]ボタンをクリックしてください。

					[保存]
内線番号	[全編集]	内線名称	パスワード		電話機種別
301	[編集]	オフィス太郎	...		MOT/iPhone(Push2)
311	[編集]	オフィス花子	***		MOT/Android

パスワード変更が完了後、電話端末側で内線パスワードの設定を行ってください。

ご質問・お問い合わせは

よくある質問 FAQ／設定マニュアル

ホームページにてよくあるご質問や設定マニュアル、動画での解説などをご案内しております。お問い合わせいただく前に、ぜひご確認ください。

<https://www.mot-net.com/customer/manual>

本装置に関する技術的なお問い合わせ

サポートセンター窓口

TEL : 0120-863-366

受付時間: 9:00～17:30 (土日・祝日を除く)

故障の際は

別紙、取扱説明書、保証書をご参照の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。